

# 豊田厚生病院年報

令和2年度

*Toyotakosei Hospital Annual Report 2020*

## 豊田厚生病院理念

私たちはたえず  
新しい医療のあり方を追求し  
優しさと温かさを大切にして  
地域の人たちと共に歩みます



## 基本方針

私たちは、次の基本方針に基づいて患者に適切な医療・保健・福祉サービスを提供します。

1. 公的病院として、地域住民の健康増進・病気の治療と予防に努めます。
2. 患者の権利に配慮した安全で安心できる医療・保健・福祉サービスの提供を行います。
3. 常に医学の進歩に目を向け、人的・設備的な質向上に努めます。
4. 地域の医療機関との緊密な連携を図り、患者中心の地域医療体系の構築に努めます。

## 患者の権利と責任

1. 個人の尊厳  
人格が尊重され人間としての尊厳を守られる権利があります。
2. 平等な医療を受ける権利  
良質で安全な医療を平等に受ける権利があります。
3. 知る権利  
病状・検査・治療について十分な説明を受ける権利があります。
4. 自己決定の権利  
納得できるまで説明を受けた上で、自ら治療方法を選択する権利があります。また、セカンド・オピニオンを求めることができます。
5. プライバシーが守られる権利  
ご自分の情報を承諾なしに第三者に提示されない権利があります。
6. 参加と協同の責任  
患者は、これらの権利を守るため、医療従事者との信頼関係の構築に努め、医療に参加、協力する責任があります。

# 発刊にあたり

豊田厚生病院 病院長 川口 鎮



急激な少子高齢化により社会保障費の急激な上昇と労働力人口の減少により国の財政が大きく逼迫した状況が続いているなか、国は新型コロナウイルスの感染拡大に伴う景気低迷に対して緊急経済対策を実施することになり、財政再建はより一層厳しい状況になっています。

新型コロナウイルスの感染拡大により医療崩壊が危ぶまれるなかでも、国は2040年の医療提供体制の構築に向けて地域医療構想、医師・医療従事者の働き方改革、医師偏在対策の三位一体の取り組みを進めています。特に地域医療構想については議論の活性化に向けて再検証対象医療機関が公表されるなど、各地域の再編・統合等の促進が求められています。当院が所在する西三河北部医療圏においても近隣の公立病院の名前が公表され、今後の動向を注視していく必要があります。

こうしたなか、当院は西三河北部医療圏の中核病院として高度医療の提供、地域における役割を果たすとともに、地域住民に安全で安心な医療を提供するため、以下の取り組みを行いました。

- ① 感染症指定医療機関として、感染者・発熱者の動線に配慮するなど感染拡大防止対策を行い、新型コロナウイルス感染症患者の治療を行うとともに、一般の患者が安心して受診できる環境整備に努め、必要とされる医療を継続して提供できるように取り組みました。
- ② 血管の病気・不整脈・腫瘍の治療や診断をより正確に行えるよう、老朽化した血管撮影装置を更新しました。この更新に合わせ増加する手術件数に対応するため、血管撮影室の拡張を行い手術室としても使用できる設備を備えたハイブリット手術室へ改修しました。
- ③ 臨床研修医の質を確保するため、卒後臨床研修評価機構（JCEP）による更新審査を受けて認定されました。4年後の再更新に向けて更なる改善を重ね、質の高い臨床研修病院を目指します。
- ④ がんゲノム医療連携病院として、がん医療の更なる充実に向けてがん遺伝子パネル検査の実施体制を整え運用を開始しました。
- ⑤ 第69回日本農村医学会学術総会の開催病院として、新型コロナウイルス感染症の影響で史上初のWEB開催となりましたが、滞りなく学術総会を開催しました。

運営面では、外来は1日当りの患者数1,318人（予算1,432人、前年度1,336人）1人当りの診療単価26,241円（予算23,876円、前年度23,399円）となりました。入院は、1日当りの患者数513人（予算540人、前年度534人）1人当りの診療単価81,259円（予算79,600円、前年度79,090円）となりました。入院・外来ともに予算及び前年度を患者数が下回ったものの診療単価は上回りました。

外来では、新型コロナウイルス感染症の影響により患者数は減少しましたが、新しいがん治療薬の採用などにより単価は上がり、外来収入としては前年を上回ることができました。一方入院では、手術件数の増加等により単価は上がりましたが、外来と同様に患者数が減少して診療収入は前年を下回りました。

今後も診療機能の更なる向上に加え、病院経営の健全化維持に向けて職員一丸となって取り組むとともに、地域住民の健康増進に配慮した安全で安心できる医療・保健・福祉サービスを提供して参ります。

令和3年10月1日

病院長 川口 鎮



▲発熱者対応外来を設置  
2020年4月。患者との距離を保ちながら診察



▲発熱者専用の待機場所で職員が問診  
2020年4月。他の患者さんと動線分け



▲正面玄関で職員がトリアージ  
2020年4月。新型コロナウイルス感染症の疑い患者を院内に入る前にトリアージ



▲感染対策ミーティング  
2020年4月。新型コロナウイルスの動向を見て対応策を検討



▲ハイブリッド手術室新設  
2020年4月。血管の病気・不整脈・腫瘍の治療をより正確に



▲一般病棟での受け入れ開始  
2020年7月。感染症病棟のほか、新型コロナウイルス感染症患者を一般病棟でも受け入れ開始



▲感染症内科開設

2020年10月。感染症専門医が、各診療科と連携し、感染症の診療にあたる



▲日本農村医学会開催

2020年10月。当院が事務局として運営。新型コロナウイルスの影響でWEB開催となった



▲屋外検体採取稼働

2021年1月。発熱者対応外来での検体採取を屋外に設置。



▲支援品

2021年2月。豊田市をはじめ地元の中学校、企業よりご支援品及び応援メッセージを賜る



▲ワクチン接種

2021年3月。医療従事者を対象とした新型コロナウイルスワクチン接種を開始。



▲臨床研修修了証授与式

2021年3月。研修医12名全員について臨床研修修了となった

TOYOTA KOSEI 豊田厚生病院  
私たちがたどる新しい医療のあり方を追求し 獲しと温かさを大知にして 地域の人たちと共に歩みます

# カモメイト

Vol.87  
Spring



**特集** 豊田厚生病院の検査のいま  
人生100年時代の歩き方 ドックに行こう!

診療日カレンダー [Calendar de Atención] ■ 休診 (Feriado) (2020年)

5月							6月							7月							8月																																			
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土																													
					1	2	7	8	9	10	11	12	13	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

TOYOTA KOSEI 豊田厚生病院  
私たちがたどる新しい医療のあり方を追求し 獲しと温かさを大知にして 地域の人たちと共に歩みます

# カモメイト

Vol.88  
Summer



**特集** 乳がん治療・乳房再建術

診療日カレンダー [Calendar de Atención] ■ 休診 (Feriado) (2020年)

8月							9月							10月							11月																																		
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土																												
						1	6	7	8	9	10	11	12	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

TOYOTA KOSEI 豊田厚生病院  
私たちがたどる新しい医療のあり方を追求し 獲しと温かさを大知にして 地域の人たちと共に歩みます

# カモメイト

Vol.89  
Autumn



**特集** ペインクリニック

診療日カレンダー [Calendar de Atención] ■ 休診 (Feriado) (2020年・2021年)

11月							12月							1月							2月																														
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土																								
						1	7	8	9	10	11	12	13	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

TOYOTA KOSEI 豊田厚生病院  
私たちがたどる新しい医療のあり方を追求し 獲しと温かさを大知にして 地域の人たちと共に歩みます

# カモメイト

Vol.90  
Winter



**特集** 感染の予防と対策で安心な医療を

診療日カレンダー [Calendar de Atención] ■ 休診 (Feriado) (2021年 1月-4月)

1月							2月							3月							4月																																		
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土																												
						1	6	7	8	9	10	11	12	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

# 目次

豊田厚生病院理念	1
基本方針、患者の権利と責任	2
発刊にあたり	3
主な出来事	4
カモメイト院外版	6
豊田厚生病院概要	9
豊田厚生病院組織図	11
豊田厚生病院会議・委員会組織図	12
医師名簿	13
役付職員名簿	14
職員数	15
令和2年度事業計画	16

## I. 医療実績

### 1. 診療科別延患者数 及び診療収入

1) 科別延患者数	21
2) 科別診療収入	22

### 2. 市町村別利用状況

1) 市町村別外来利用状況	23
2) 市町村別入院利用状況	24

### 3. 年齢別利用状況

1) 年齢別外来利用状況	25
2) 年齢別入院利用状況	25

### 4. 救命救急センター外来利用状況

1) 診療科別患者数	26
2) 月別患者数	26
3) 救急車受入状況	27

### 5. 手術件数

29

### 6. 分娩数・死亡数・剖検数

30

### 7. 退院患者統計

1) 診療科別・月別退院患者数	31
2) 診療科別・死亡退院患者数	31
3) 地域別・年齢階層別退院患者数	32
4) 疾病別・診療科別退院患者数	34
5) 診療科別・在院期間別退院患者数	35



6) 疾病別・在院期間別退院患者数	36
7) 疾病別・年齢階層別退院患者数	37
8) 診療科別疾患順位	39
8. 剖検数	43
9. 臨床研究	44
II. 部署別業務実績	
1. 放射線技術科	51
2. 臨床検査技術科	54
3. リハビリテーション技術科	58
4. 臨床工学技術科	60
5. 栄養科	63
6. 薬剤部	65
7. 看護部	70
8. 医療安全管理部	73
9. 感染制御部	77
10. 地域医療連携課（地域医療連携係）	80
11. 地域医療連携課（在宅支援コーディネーター係）	84
12. 医療福祉相談課（兼がん相談支援センター）	86
13. 豊田厚生訪問看護ステーション	89
14. 居宅介護支援事業所（豊田厚生介護保険センター）	92
15. 豊田厚生地域包括支援センター	94
16. 健康管理室	97
III. 職員活動	
1. 研究業績	101
2. 院内研修活動	
1) 全体講演会・全体発表会	121
2) 研修会・勉強会	122
3. 市民講座・市民公開講座（一般市民対象講座）	124
IV. 委員会活動	
1. 委員会一覧	127



# 豊田厚生病院概要

令和3年3月1日現在

## ■ 名 称

愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院

## ■ 所在地

〒470-0396 愛知県豊田市浄水町伊保原500-1

TEL(0565)43-5000 FAX(0565)43-5100

## ■ 設立年月日

昭和22年5月1日（豊田厚生病院開院 平成20年1月1日）

## ■ 病床数

606床（一般600床・感染症6床）

## ■ 標榜科目 39科

内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、内分泌・代謝内科、腎臓内科、血液内科、アレルギー科、緩和ケア内科、精神科、小児科、放射線科、放射線治療科、放射線診断科、臨床検査科、病理診断科、感染症内科、外科、消化器外科、乳腺外科、血管外科、小児外科、呼吸器外科、脳神経外科、心臓外科、救急科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、麻酔科、歯科口腔外科、整形外科、リウマチ科、形成外科、皮膚科、産婦人科、リハビリテーション科、化学療法内科

## ■ 専門外来 38科

血液内科、膠原病外来、腎臓外来、糖尿病外来、脳神経内科、小児循環器科、小児神経科、小児血液科、小児アレルギー科、小児外科、ストーマ外来、内分泌外来、肝臓外来、ペースメーカークリニック、血管外科、インプラント外来、助産師外来、アレルギー外来、乳腺外来、婦人科腫瘍外来、禁煙外来、糖尿病フットケア外来、女性専門外来、小児腎臓外来、ボトックス外来、緩和ケア外来、肥満外来、セカンドオピニオン外来、ペインクリニック、胃瘻交換外来、母乳外来、耳鼻いんこう科腫瘍外来、糖尿病療養指導士外来、リウマチ外来、不整脈外来、骨粗鬆症外来、心不全外来、側弯症外来

## ■ 関連施設

豊田厚生訪問看護ステーション、豊田厚生地域包括支援センター、豊田厚生居宅介護支援事業所、加茂看護専門学校

## ■ 施設認定

救急告示病院、病院群輪番制病院（二次）、臨床研修病院（医科）、臨床研修施設（歯科）、エイズ治療協力病院、難病医療協力病院、地域がん診療連携拠点病院、地域中核災害拠点病院、肝疾患専門医療機関、救命救急センター、肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関、脳死下臓器提供施設、DMAT指定医療機関、地域医療支援病院、DPC特定病院群（旧：DPCⅡ群病院）、がんゲノム医療連携病院、第二種感染症指定医療機関、保険医療機関、労災保険指定医療機関、生活保護法指定医療機関、結核医療機関、更生・育成医療指定、養育医療指定、原爆医療指定（一般・認定疾病）、二次健康診断指定医療機関、病院機能評価認定病院、全国循環器撮影研究会認定被ばく線量低減推進施設、日本栄養療法推進協議会認定NST稼働施設、マンモグラフィ（乳房エックス線写真）検診施設、卒後臨床研修評価機構（JCEP）認定病院、人間ドック健診施設機能評価認定病院、下肢静脈瘤血管内焼灼術実施施設、医療被ばく低減施設、関連10学会構成腹部ステントグラフト実施施設、浅大腿動脈ステントグラフト実施施設、胸部ステントグラフト実施施設、日本脊椎脊髄病学会 椎間板酵素注入療法実施可能施設

## ■ 管 理 者

病院長	川口 鎮	副院長兼第1診療部長 兼保健事業部長	篠田政典	患者相談部長	平松義規
副院長兼第5診療部長 兼診療協同部長	鏡味良豊	副院長兼医療安全管理 部長兼地域医療福祉連 携部長	服部直樹	診療協同部長	中根生弥
副院長兼第4診療部長 兼感染制御部長	岩瀬 豊	副院長兼第3診療部長	久留宮康浩	薬剤部長	三宅芳男
加茂看護専門学校兼副 院長兼第2診療部長	梶田光春	副院長兼臨床研修部長	水野敬輔	看護部長	阪口浩美
				事務部長	近藤良夫

## ■ 学会認定

日本臨床腫瘍学会認定研修施設	日本消化器外科学会専門医修練施設
日本呼吸器学会認定施設	日本乳癌学会専門医制度認定施設
日本高血圧学会専門医認定施設	呼吸器外科専門医合同委員会基幹施設
日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設	日本脳神経外科学会専門医研修施設
日本循環器学会循環器専門医研修施設	日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院
日本心血管インターベンション治療学会研修施設	三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
日本肝臓学会認定施設	日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設	日本眼科学会専門医制度研修施設
日本消化器病学会専門医制度認定施設	日本麻酔科学会麻酔科標榜のための研修施設
日本神経学会専門医制度教育施設	日本ペインクリニック学会指定研修施設
日本認知症学会専門医制度教育施設	日本口腔外科学会認定研修施設
日本糖尿病学会認定教育施設	日本整形外科科学会専門医制度研修施設
日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設	日本手外科学会研修施設
日本静脈経腸栄養学会NST稼動施設	日本形成外科学会認定施設
日本甲状腺学会認定専門医施設	日本皮膚科学会認定専門医研修施設
日本透析医学会専門医制度認定施設	日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
日本腎臓学会研修施設	日本乳房オンコプラステックサージャリー学会インプラント実施施設
日本急性血液浄化学会認定指定施設	日本乳房オンコプラステックサージャリー学会エキスパンダー実施施設
日本血液学会認定血液研修施設	日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
日本リウマチ学会教育施設	日本大腸肛門病学会認定施設
日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設	日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設	日本胆道学会指導施設
日本緩和医療学会認定研修施設	日本女性医学会専門医制度認定研修施設
日本小児科学会小児科専門医研修施設	外科周術期感染管理教育施設
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関	日本輸血・細胞治療学会輸血機能評価認定制度 (I&A制度) 認定施設
日本病理学会研修認定施設 B	日本口腔科学会認定医制度研修施設
日本臨床細胞学会認定施設	日本肝胆膵外科学会肝胆膵外科高度技能専門医修練施設 B
日本臨床細胞学会教育研修施設	日本脳卒中学会一次脳卒中センター
日本外科学会外科専門医制度修練施設	日本病院会病院総合医育成プログラム認定施設

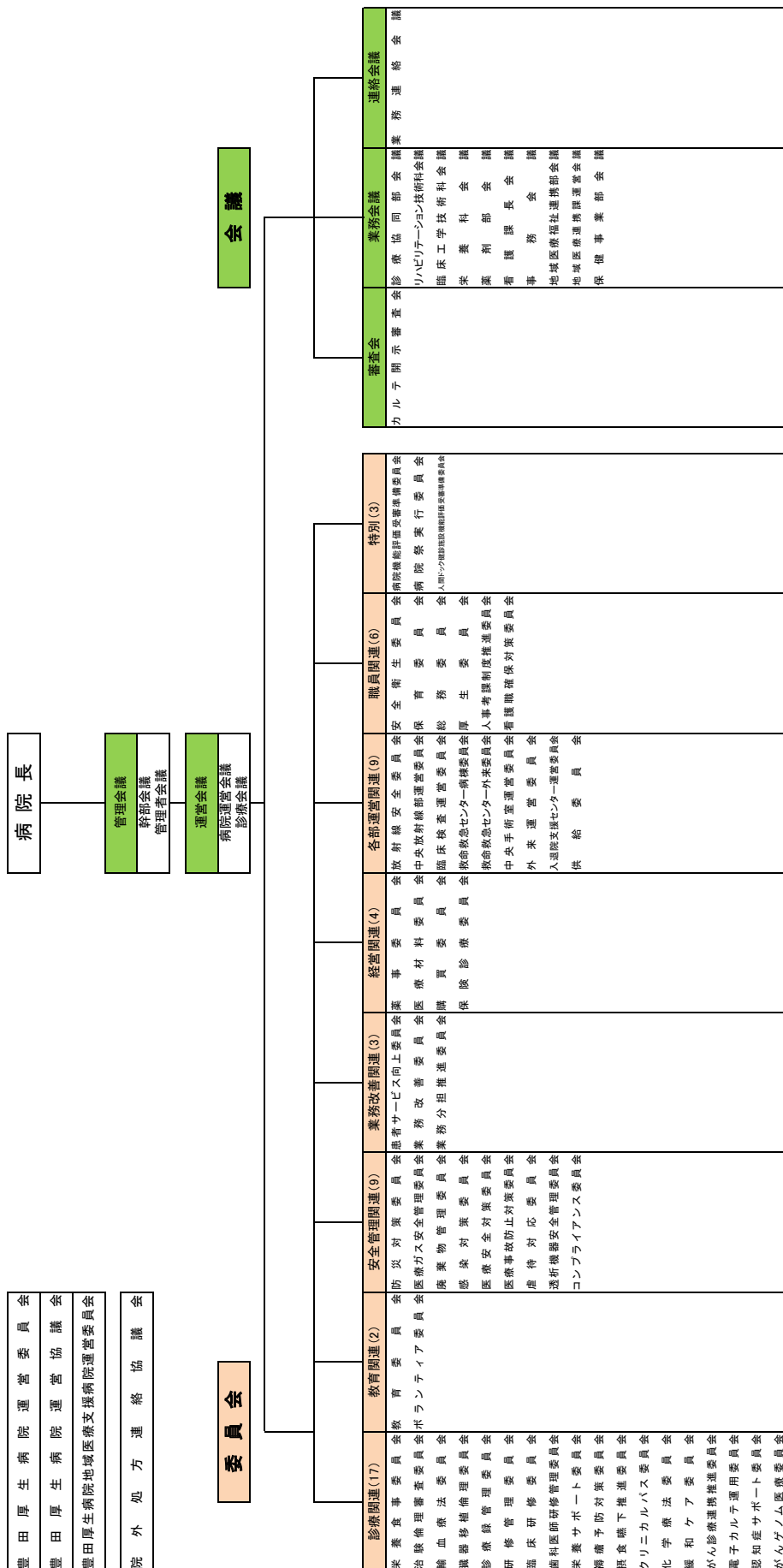
## ■ その他認定

病院機能評価認定病院	卒後臨床研修評価機構 (JCEP) 認定病院
人間ドック健診施設機能評価認定病院	医療被ばく低減施設



# 豊田厚生病院 会議・委員会 組織図

令和3年3月1日現在





# 医師名簿

令和3年3月1日現在

職名	診療科	氏名
院長	心臓外科	川口 鎮
副院長兼第5診療部長兼通院治療センター長兼化学療法内科代表部長	血液内科	鏡味 良豊
副院長兼感染制御部長	泌尿器科	岩瀬 豊
加茂看護専門学校校長兼豊田厚生病院副院長兼第2診療部長兼小児科代表部長	小児科	梶田 光春
副院長兼第1診療部長兼保健事業部長兼内科代表部長兼循環器内科代表部長	循環器内科	篠田 政典
副院長兼医療安全管理部長兼地域医療推進部長兼脳神経内科代表部長	脳神経内科	服部 直樹
副院長兼第3診療部長兼外科代表部長兼乳腺外科部長	外科	久留宮 康浩
副院長兼臨床研修部長兼入退院支援センター長兼血管外科部長	外科	水野 敬輔
呼吸器内科代表部長兼アレルギー科部長	呼吸器内科	谷川 吉政
呼吸器内科病棟部長兼アレルギー科病棟部長	呼吸器内科	青山 昌広
呼吸器内科視鏡部長	呼吸器内科	指尾 豊和
呼吸器内科医員	呼吸器内科	二村 圭祐
呼吸器内科医員	呼吸器内科	林 かずみ
循環器センター長	循環器内科	金子 鎮二
循環器内科外来部長	循環器内科	窪田 龍二
循環器内科CCU部長	循環器内科	大橋 大器
循環器内科医員	循環器内科	藤田 雅也
循環器内科病棟医員	循環器内科	豊 陽祐
循環器内科医員	循環器内科	羽賀 智明
循環器内科医員	循環器内科	堀 仁美
循環器内科医員	循環器内科	伊藤 亮太
循環器内科医員	循環器内科	白井 義憲
内視鏡センター長兼消化器内科代表部長	消化器内科	都築 義之
消化器内科視鏡部長	消化器内科	竹内 淳史
消化器内科医員	消化器内科	松井 健一
消化器内科医員	消化器内科	森島 創
消化器内科医員	消化器内科	安田 司
消化器内科医員	消化器内科	平岩 厚佑
消化器内科医員	消化器内科	高士 ひとみ
消化器内科医員	消化器内科	富田 裕
脳神経内科外来部長	脳神経内科	池田 昇平
脳神経内科医員	脳神経内科	森 悠
内分泌・代謝内科代表部長	内分泌・代謝内科	澤井 喜那
内分泌・代謝内科病棟部長	内分泌・代謝内科	加藤 大也
内分泌・代謝内科医員	内分泌・代謝内科	増田 富
内分泌・代謝内科医員	内分泌・代謝内科	久納 光皓
血液浄化センター長兼腎臓内科代表部長	腎臓内科	倉田 久嗣
腎臓内科医員	腎臓内科	吉岡 知輝
腎臓内科医員	腎臓内科	堀 貴洋
腎臓内科医員	腎臓内科	石川 稜恭
腎臓内科医員	腎臓内科	斉藤 絢恵
血液内科代表部長	血液内科	平賀 潤二
血液内科医員	血液内科	原田 靖彦
膠原病内科代表部長	膠原病内科	水野 伸宏
総合内科代表部長	総合内科	西本 泰浩
総合内科医員	総合内科	渡口 賢隆
総合内科病棟医員	総合内科	鈴木 誓子
感染症内科代表部長	感染症内科	川端 厚
緩和ケア内科代表部長	緩和ケア内科	村松 雅人
保健事業部健康管理室長兼消化器内科病棟部長兼化学療法内科部長	化学療法内科	森田 清
専攻医	内科学科	宮地 達郎
専攻医	内科学科	玉腰 丈博
専攻医	内科学科	長井 伸
専攻医	内科学科	水野 幸奈
専攻医	内科学科	伊藤 真衣
専攻医	内科学科	佐橋 智博
専攻医	内科学科	小原 史也
専攻医	内科学科	伊藤 怜花
専攻医	内科学科	櫻井 礼子
専攻医	内科学科	佐藤 萌美
専攻医	内科学科	竹中 徳子
専攻医	内科学科	関本 ちひろ
専攻医	内科学科	武重 万里子
顧問	内科学科	金山 均
顧問	内科学科	西村 大作
精神科代表部長	精神科	前川 和範
精神科医員	精神科	渡邊 周一
小児科病棟部長	小児科	生駒 雅信
小児科外来部長	小児科	武田 将典
小児科医員	小児科	高橋 ゆま
小児科専攻医	小児科	榎本 さやか
放射線科	放射線科	竹下 祥敬
放射線診断科代表部長	放射線診断科	松田 讓
放射線診断科核医学部長	放射線診断科	中村 篤史
病理診断科代表部長	病理診断科	成田 道彦
病理診断科医員	病理診断科	山下 依子
患者相談部長兼呼吸器センター長兼呼吸器外科代表部長	呼吸器外科	平松 義規
呼吸器外科病棟部長	呼吸器外科	岡阪 敏樹
呼吸器外科医員	呼吸器外科	渡邊 裕樹
呼吸器外科専攻医	呼吸器外科	今村 由人

職名	診療科	氏名
医療安全管理部医療安全管理室長兼外科外来部長	外科	世古口 英
中央手術科代表部長兼消化器外科部長	外科	菅原 元
上部消化器外科部長	外科	井上 昌也
下部消化管外科部長	外科	加藤 健宏
医員	外科	秋田 直宏
医員	外科	南 貴之
医員	外科	稲田 亘佑
専攻医	外科	関本 晃裕
専攻医	外科	緒方 誠仁
専攻医	外科	長田 祥子
専攻医	外科	若尾 聖
脳神経外科代表部長	脳神経外科	立花 栄二
脳神経外科病棟部長	脳神経外科	住友 正樹
脳神経外科外来医員	脳神経外科	圓若 幹夫
脳神経外科病棟医員	脳神経外科	松田 彰乃
専攻医	脳神経外科	竹内 一生
専攻医	脳神経外科	蜂谷 慶
心臓外科代表部長	心臓外科	荒木 善盛
心臓外科医員	心臓外科	寺田 貴史
心臓外科医員	心臓外科	小林 明裕
救命救急センター長兼救急科代表部長	救急科	小林 修一
救急科外来部長	救急科	畑田 剛
救急科医員	救急科	伊藤 貴康
第4診療部長兼泌尿器科代表部長	泌尿器科	橋本 良博
泌尿器科内視鏡部長	泌尿器科	宇佐美 雅之
泌尿器科医員	泌尿器科	野田 祐介
眼科代表部長	眼科	山田 麻里
眼科医員	眼科	富安 嵐太
眼科医員	眼科	大林 知広
眼科専攻医	眼科	湯口 貴彬
耳鼻咽喉科代表部長	耳鼻咽喉科	欄 真一郎
耳鼻咽喉科医員	耳鼻咽喉科	小栗 恵介
耳鼻咽喉科専攻医	耳鼻咽喉科	田中 伸和
耳鼻咽喉科専攻医	耳鼻咽喉科	金屋 歳三
耳鼻咽喉科専攻医	耳鼻咽喉科	鈴木 克代
麻酔科代表部長	麻酔科	土原 博和
ベインクリニック外来部長	麻酔科	小島 康裕
麻酔科医員	麻酔科	長橋 究
麻酔科医員	麻酔科	宇井野 美波
麻酔科医員	麻酔科	岩 裕
麻酔科専攻医	麻酔科	酒井 博生
麻酔科専攻医	麻酔科	川口 里奈
麻酔科専攻医	麻酔科	川口 大地
歯科口腔外科代表部長兼歯科医師臨床研修科代表部長	歯科口腔外科	兼子 隆次
歯科口腔外科医員	歯科口腔外科	河合 孝真
歯科口腔外科医員	歯科口腔外科	澤木 廉
歯科口腔外科医員	歯科口腔外科	高田 里奈
整形外科代表部長兼リウマチ科部長	整形外科	金山 康秀
脊椎脊髄センター長	整形外科	辻 太一
リハビリテーション科代表部長兼整形外科病棟部長	整形外科	稲垣 弘進
整形外科外来部長	整形外科	二村 尚久
整形外科医員	整形外科	大田 恭太郎
整形外科専攻医	整形外科	足立 維
整形外科専攻医	整形外科	渡部 拓
整形外科専攻医	整形外科	前田 健登
整形外科専攻医	整形外科	寺澤 慧
形成外科代表部長	形成外科	川端 明子
形成外科医員	形成外科	水野 玲子
形成外科医員	形成外科	茂木 公佑
形成外科専攻医	形成外科	牧野 莉央
皮膚科代表部長	皮膚科	鈴木 伸吾
皮膚科外来部長	皮膚科	足立 秀禎
皮膚科専攻医	皮膚科	馬淵 友久美
皮膚科専攻医	皮膚科	榎原 あゆみ
産婦人科代表部長	産婦人科	針山 由美
産婦人科病棟部長	産婦人科	新城 加奈子
産婦人科医員	産婦人科	安井 裕子
産婦人科医員	産婦人科	山中 浩史
産婦人科専攻医	産婦人科	神谷 知都世
産婦人科専攻医	産婦人科	宮本 絵美里

研修医 (2年次)			
等々力広菜	石川 大貴	石谷 紗希	井関 彰太
糸見百合子	岩田 恵輔	大澤 拓哉	大島 貴裕
曾我 弘直	服部 杏子	浜辺 健太	木村 侑樹
研修医 (1年次)			
秋葉 嘉将	東 凌平	足立 奈央	市川 慶
一政 瑛美	岩瀬 優	大野 由佳	加藤 真由子
桐谷 元樹	佐々木 和磨	森 浩紀	山田 崇義
吉田 健一郎	後藤 佳亮	鬼頭 拓未	亀島 真由佳

# 役付職員名簿

令和3年3月1日現在

## ◆放射線技術科

技師長	小澤 功
課長	廣瀬 宜孝
課長	松本 真明
係長	遠矢祐希子
係長	伊藤 友彰
係長	近藤 千晃
係長	原田 和幸
係長	松下 喜敬
係長	村山 和宏
係長	深田 真司

## ◆臨床検査技術科

診療協同部長	中根 生弥
課長	高嶋 幹代
課長	田中 浩一
課長	永田 篤志
係長	木村 有里
係長	三澤 千鶴
係長	蒲澤 康晃
係長	黒木 雅子
係長	宮地 文子
係長	下竹美由紀
係長	鈴木 梢

## ◆リハビリテーション技術科

技師長	平尾 重樹
課長	稲吉 美枝
係長	濱井 均
係長	佐藤 太亮
係長	岩附 史明
係長	吹留 理香

## ◆臨床工学技術科

技師長	中前 健二
課長	兵藤 好行
課長	沖島 正幸
係長	井上 宏隆
係長	小川 正博

## ◆栄養科

技師長	多氣みつ子
課長	森 茂雄
係長	江口真奈美
係長	脇阪 涼子
係長	岩本 拓郎

## ◆薬剤部

部長	三宅 芳男
室長	祢宜田和正
室長	久保田敏行
室長	井上 健
課長	佐々木英雄
課長	間瀬 悟
係長	近藤 有
係長	各務さとみ
係長	植松 夏子
係長	鈴木 大介
係長	戸田 州俊
係長	中尾 圭介

## ◆看護部

看護部長	阪口 浩美
副看護部長	畠中 京子
副看護部長	富川由佳里
副看護部長	西森 陽子
副看護部長	杉浦 薫
課長	A・Bブロック、C・Dブロック
課長	ICU
課長	HCU
課長	2 A病棟
課長	3 A病棟
課長	3 B病棟
課長	3 C病棟
課長	4 A病棟
課長	4 B病棟
課長	4 C病棟
課長	4 D病棟
課長	5 A病棟
課長	5 B病棟
課長	5 C病棟
課長	5 D病棟
課長	感染症病棟
課長	中央手術室
課長	放射線看護課、内視鏡センター
課長	救命救急センター
課長	血液浄化センター
課長	入退院支援センター
課長	看護管理課
課長	看護管理課
係長	A・Bブロック Aブロック看護係
係長	A・Bブロック Bブロック看護係
係長	C・Dブロック Cブロック看護係
係長	C・Dブロック Dブロック看護係
係長	ICU 病棟看護係
係長	ICU 病棟看護係
係長	HCU 病棟看護係
係長	HCU 病棟看護係
係長	2A病棟 病棟看護係
係長	2A病棟 病棟看護係
係長	3A病棟 病棟看護係
係長	3A病棟 病棟看護係
係長	3B病棟 病棟看護係
係長	3B病棟 病棟看護係
係長	3C病棟 病棟看護係
係長	3C病棟 病棟看護係
係長	4A病棟 病棟看護係
係長	4A病棟 病棟看護係
係長	4B病棟 病棟看護係
係長	4B病棟 病棟看護係
係長	4C病棟 病棟看護係
係長	4C病棟 病棟看護係
係長	4D病棟 病棟看護係
係長	4D病棟 病棟看護係
係長	5A病棟 病棟看護係
係長	5A病棟 病棟看護係
係長	5B病棟 病棟看護係
係長	5B病棟 病棟看護係
係長	5C病棟 病棟看護係
係長	5D病棟 病棟看護係
係長	中央手術看護課
係長	中央手術看護課

係長	中央手術看護課	三宅 敦子
係長	放射線科	佐藤 修秀
係長	救命救急センター看護課	岩永 香
係長	内視鏡センター看護課	藤原民智代
係長	血液浄化センター看護課	岩屋奈央子
係長	入退院支援センター看護課	渡部 志保
係長	通院治療センター看護課	中王子美保
係長	通院治療センター看護課	梶原佳代子
係長	看護管理課	石川 雅恵
係長	看護管理課	武藤 聡恵

## ◆事務部

部長	近藤 良夫
企画室長	池田 真紀
事務管理室長	浅岡 一公
医事課長	安藤 理恵
企画課長	長谷川雅敏
医療情報係長	田中 誠大
医事第1係長	近藤 慎哉
医事第2係長	金田 麻美
庶務係長	織田ちずる
経理係長	河合 啓行
教育研修係長	深田 翼
施設係長	大藪 宏樹
エネルギーセンター係長	近藤 隼
保育主任	飯田 香澄

## ◆地域医療福祉連携部

感染制御室長兼地域医療連携室長兼地域総合支援室長	横山 浩子
地域医療連携課長	一柳 容子
地域医療連携係長	宇南山理栄
在宅支援コーディネーター係長	森 めぐみ
医療福祉相談係長	杉村 龍也
訪問看護係長	齋藤 靖子
居宅介護支援係長	清水 浩子
地域包括支援センター係長	小林 宏美

## ◆医療安全管理部

課長	浅野真奈美
係長	加納千津子

## ◆感染制御部

室長	横山 浩子
係長	駒井 博子

## ◆患者相談部

課長	館向 幸子
----	-------

## ◆保健事業部

課長	深田 英樹
係長	浦野美和子
係長	原 明子

## 職員数

令和3年3月1日現在

職種		年度	令和3年度	令和2年度	備考	
常勤職員	医師		183	185	研修医26名含む	
	医療技術職	薬剤師	48	46		
		診療放射線技師	36	36		
		臨床検査技師	59	59		
		理学療法士	26	26		
		作業療法士	8	8		
		言語聴覚士	4	4		
		管理栄養士	13	13	栄養士	
		臨床工学技士	18	18		
		ソーシャルワーカー	15	14		
		歯科衛生士	4	4		
		その他	6	6	臨床心理士・視能訓練士	
	小計		237	234		
	看護部門	保健師		6	6	
		助産師		17	16	
		看護師		654	638	
		准看護師		5	5	
		看護助手		50	47	
		小計		732	712	
	その他	事務員		129	126	
		協助部門補助		7	7	検査科・放射線科補助等
		管理技術者		37	36	ボイラ技士、保育士、調理師等
		管理補助者		11	10	調理員等
小計		184	179			
合計		1,336	1,310			
非常勤職員	医師		70	82		
	看護部門		54	49	看護助手含む	
	その他		45	43		
	合計		169	174		
総合計		1,505	1,484			



# 令和2年度 豊田厚生病院事業計画

## 1. 環境認識

少子高齢化が急速に進行し、医療を取り巻く環境の大きな変化に直面している。すべての都道府県で地域医療構想が策定され、国は達成に向けて、地域医療構想に関するワーキンググループにおいて具体的対応方針の検証に向けた議論の調整が行われ、地域医療構想調整会議にて改めて検証することを要請している。そして、構想区域の公立・公的病院を中心とした機能分化・連携が議論されている。また、一億総活躍社会の実現に向けた働き方改革が進められている。特に医師の過重労働などの現状を背景に、「医師の健康確保」と「地域医療体制の確保」との両立を目指した労働時間の短縮が求められている。

西三河北部医療圏では2025年までは人口は増加するが、65歳以上の増加率が高く高齢化が急速に進む医療圏と認識されている。この地域では医療需要の高い年齢層が増加していくことで医療・介護の需要はさらなる増加が見込まれている。

当院は各種の指定を受ける西三河北部医療圏の中核病院として、地域包括ケアシステムにおける高度急性期・急性期を担い、地域の医療機関等との連携を更に進めると共に、豊田市の市民病院的な役割を果たすことが求められている。

また、当該医療圏は広大なへき地対象地域を抱えている。足助病院が中心となって役割を果たしていくが、当院には患者の受け入れなどの支援・連携が求められている。

## 2. 基本方針（病院運営の基本姿勢及び目標）

西三河北部医療圏の基幹病院として、救命救急センター機能、がん診療機能を軸に高度医療機能を有する「高機能病院」としての役割を果たし、圏域内完結の高度急性期・急性期医療を提供していく。地域医療支援病院として紹介・逆紹介率の保持・推進を通じて地域の医療機関・診療所との連携を強化する中で、重症患者・救急患者を積極的に受け入れ、地域包括ケアシステムにおける急性期病院としての機能を果たしていく。

また、公的医療機関として地域住民に信頼される病院を目指し、豊田市の市民病院的な役割を果たすとともに、地域医療の中核となる病院を目指す。

## 3. 重点事項と実施目標

### （1）診療機能の充実

救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院等の指定を受ける病院として、地域住民のニーズに応えることができるよう医療提供体制を充実させる。

- ① 救急医療・集中治療体制の充実
- ② がん医療の充実
- ③ 看護体制の充実
- ④ 医療提供体制の充実
- ⑤ 医療情報システムの更新準備

### （2）医療の質、安全強化

医療技術の飛躍的な進歩に伴い、医療の質と安全に関する要望も高いものとなっていることから、安全で安心な医療を提供できる体制を構築する。

- ① 医療の質の向上
- ② 医療安全の充実
- ③ 感染制御の充実
- ④ 資格取得の推進

### (3) 地域との連携強化

地域医療支援病院の指定を受ける病院として、医師会や近隣の医療機関だけではなく、地域の住民や団体、JAなどとの連携を強化する。

- ① 地域医療連携の強化
- ② 地域団体・住民との連携強化

### (4) 保健事業

生活習慣病の予防と早期発見を目指し、高度な医療機器を用いた専門ドックをはじめとする各種の健診コースを設定して幅広いニーズに対応する。

- ① 保健事業の充実

### (5) 福祉・介護事業

在宅医療・介護、福祉などについて、地域の保健・医療・福祉サービスとの連携を図り、総合的なサービスや情報を提供する。

- ① 在宅医療・介護の推進
- ② 地域包括ケアの推進

### (6) 経営管理

医療圏の基幹病院として地域医療を守り、地域住民から信頼される病院となるため、良質な人材を確保しながら安定した病院経営を継続させる。

- ① 経営の安定
- ② マンパワーの充実
- ③ 患者サービスの向上
- ④ DPCの円滑な運用
- ⑤ 新たな施設基準の検討

### (7) その他

- ① 新専門医制度への対応
- ② 働き方改革への対応
- ② 広報活動の充実



# I 医療実績

---



# 1. 診療科別延患者数及び診療収入

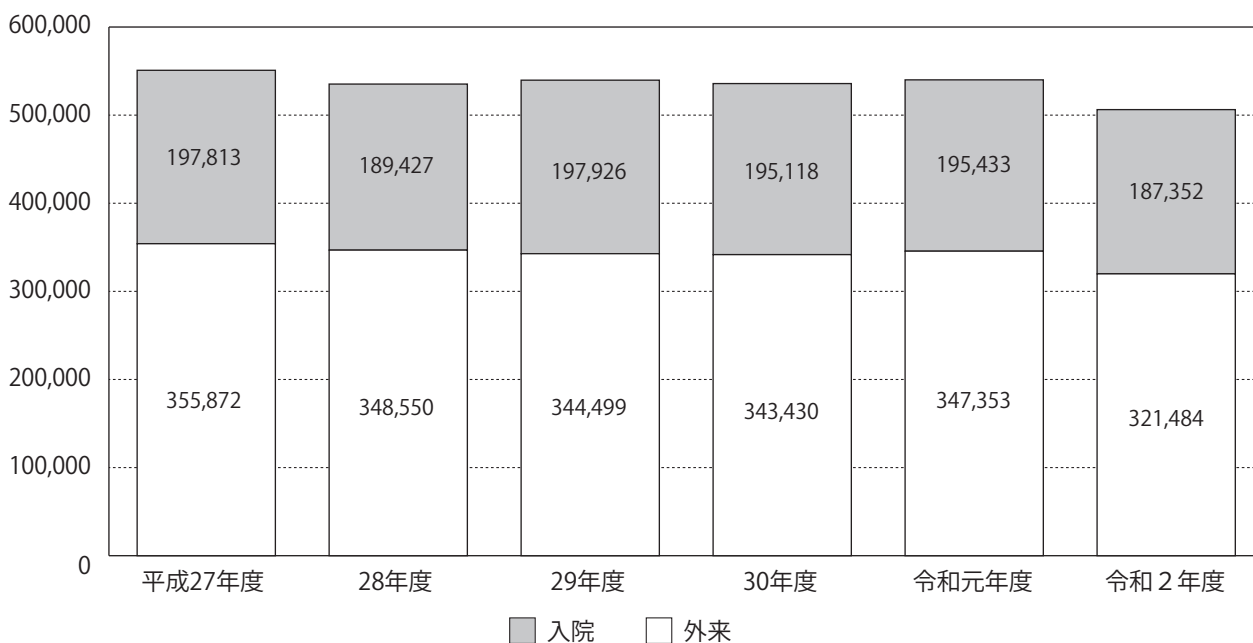
診療日数 外来：244日 入院：365日

## 1 科別延患者数

(単位：人)

	外 来			入 院		
	令和2年度	令和元年度	前年対比	令和2年度	令和元年度	前年対比
内 科	124,739	133,743	93.3%	99,568	102,328	97.3%
精 神 科	8,084	8,211	98.5%	—	—	—
小 児 科	8,422	13,963	60.3%	2,538	5,423	46.8%
外 科	21,084	23,117	91.2%	24,079	25,712	93.6%
整 形 外 科	33,608	34,373	97.8%	17,658	16,562	106.6%
形 成 外 科	8,248	8,373	98.5%	1,865	1,479	126.1%
脳 神 経 外 科	7,698	8,188	94.0%	9,138	9,778	93.5%
呼 吸 器 外 科	2,353	2,440	96.4%	2,747	3,381	81.2%
心 臓 外 科	2,697	2,941	91.7%	2,719	3,176	85.6%
皮 膚 科	18,148	19,215	94.4%	2,101	1,850	113.6%
泌 尿 器 科	18,771	20,209	92.9%	6,714	5,772	116.3%
産 婦 人 科	17,395	18,446	94.3%	6,833	8,106	84.3%
眼 科	13,620	13,069	104.2%	3,420	3,281	104.2%
耳 鼻 咽 喉 科	16,356	18,742	87.3%	4,697	5,070	92.6%
放 射 線 科	4,679	5,251	89.1%	—	—	—
麻 酔 科	2,436	2,277	107.0%	110	159	69.2%
歯科口腔外科	13,146	14,795	88.9%	3,165	3,356	94.3%
合 計	321,484	347,353	92.6%	187,352	195,433	95.9%
一 日 平 均	1,318	1,336	98.6%	513	534	96.1%

年度別延患者数 (人)



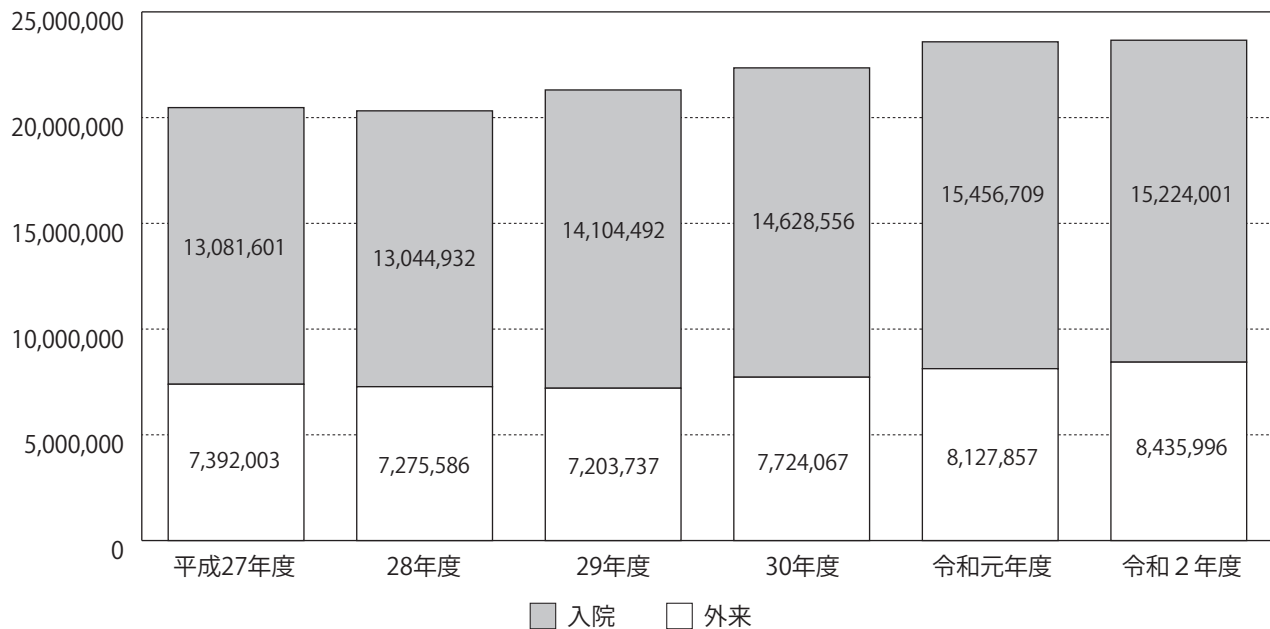
診療日数 外来：244日 入院：365日

## 2 科別診療収入

(単位：千円)

	外 来			入 院		
	令和2年度	令和元年度	前年対比	令和2年度	令和元年度	前年対比
内 科	4,665,926	4,316,902	108.1%	7,139,840	7,309,696	97.7%
精 神 科	74,894	77,468	96.7%	—	—	—
小 児 科	203,267	200,117	101.6%	144,122	320,118	45.0%
外 科	784,758	823,268	95.3%	2,152,658	2,120,317	101.5%
整 形 外 科	652,415	649,357	100.5%	1,978,452	1,724,732	114.7%
形 成 外 科	65,020	64,616	100.6%	129,762	102,632	126.4%
脳 神 経 外 科	123,801	133,611	92.7%	732,312	772,722	94.8%
呼 吸 器 外 科	161,233	153,645	104.9%	367,648	442,263	83.1%
心 臓 外 科	28,666	33,803	84.8%	582,907	657,938	88.6%
皮 膚 科	180,317	169,507	106.4%	98,950	82,933	119.3%
泌 尿 器 科	621,098	619,149	100.3%	437,821	393,768	111.2%
産 婦 人 科	195,704	208,045	94.1%	610,432	683,573	89.3%
眼 科	209,619	191,752	109.3%	311,130	286,746	108.5%
耳 鼻 咽 喉 科	216,848	225,236	96.3%	322,768	333,054	96.9%
放 射 線 科	97,058	105,049	92.4%	—	—	—
麻 酔 科	28,170	21,590	130.5%	28,804	38,916	74.0%
歯 科 口 腔 外 科	127,203	134,741	94.4%	186,397	187,300	99.5%
合 計	8,435,996	8,127,857	103.8%	15,224,001	15,456,709	98.5%

年度別診療収入（人）



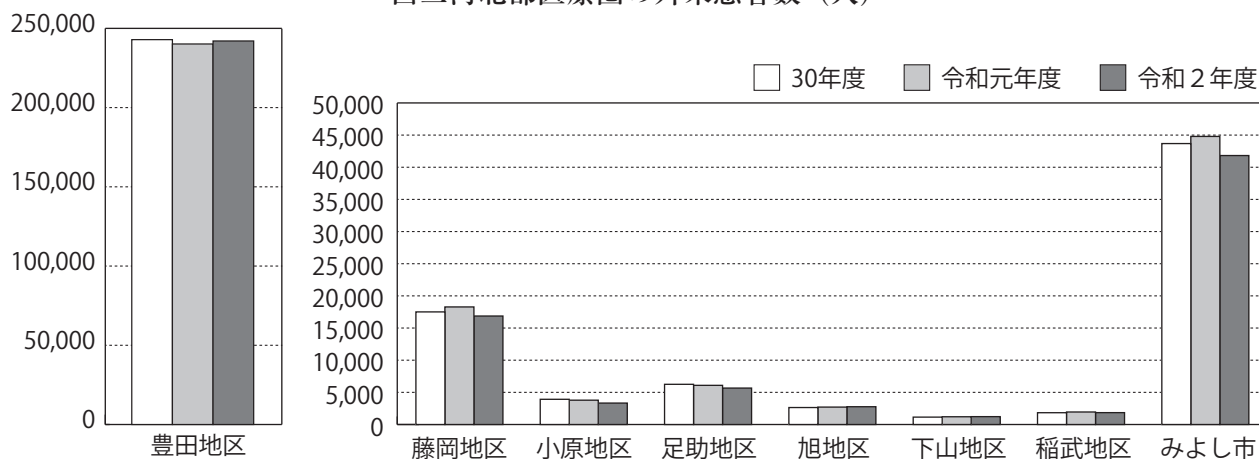
## 2. 市町村別利用状況

### 1 市町村別外来利用状況（延患者数）

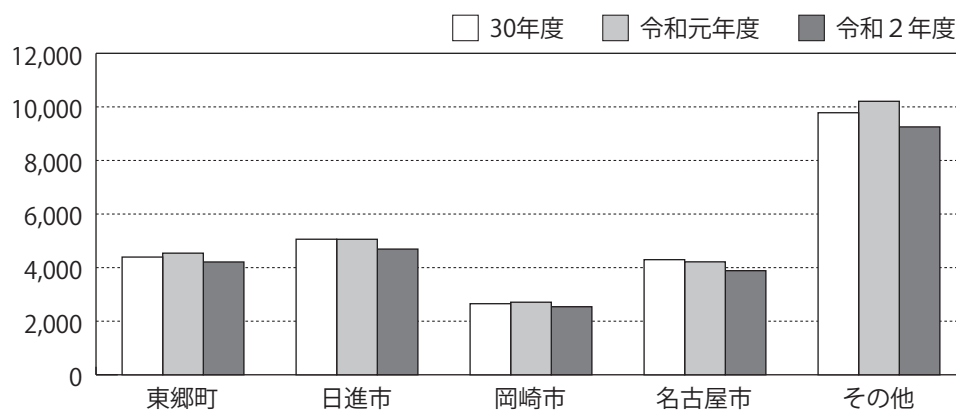
（単位：人）

	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
豊田市全域	255,364	79.4%	276,171	79.4%	273,562	79.6%
* 豊田地区	223,662	69.5%	242,159	69.6%	240,263	69.9%
* 藤岡地区	16,868	5.2%	18,281	5.3%	17,508	5.1%
* 小原地区	3,333	1.0%	3,783	1.1%	3,920	1.1%
* 足助地区	5,665	1.8%	6,089	1.8%	6,250	1.8%
* 旭地区	2,766	0.9%	2,708	0.8%	2,639	0.8%
* 下山地区	1,224	0.4%	1,205	0.3%	1,149	0.3%
* 稲武地区	1,846	0.6%	1,946	0.6%	1,833	0.5%
みよし市	41,820	13.0%	44,791	12.9%	43,682	12.7%
小計	297,184	92.4%	320,962	92.3%	317,244	92.3%
東郷町	4,211	1.3%	4,540	1.3%	4,394	1.3%
日進市	4,692	1.5%	5,058	1.5%	5,060	1.5%
岡崎市	2,540	0.8%	2,709	0.8%	2,653	0.8%
名古屋市	3,886	1.2%	4,216	1.2%	4,297	1.3%
その他	9,253	2.9%	10,209	2.9%	10,037	2.9%
小計	24,582	7.6%	26,732	7.7%	26,441	7.7%
合計	321,766	100.0%	347,694	100.0%	343,685	100.0%

西三河北部医療圏の外来患者数（人）



西三河北部医療圏以外の外来患者数（人）



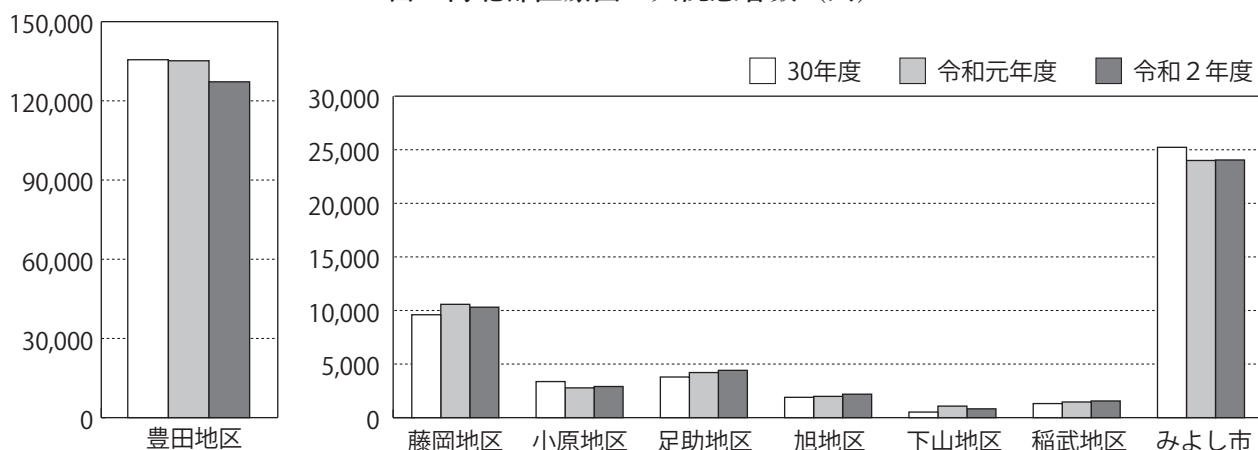


# 1 市町村別入院利用状況 (延患者数)

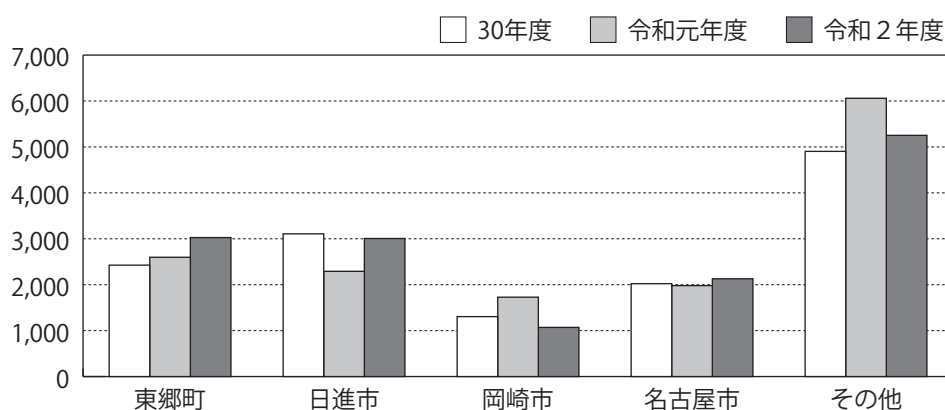
(単位：人)

	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
豊田市全域	149,463	79.5%	157,306	80.3%	156,127	79.8%
* 豊田地区	127,265	67.7%	135,246	69.0%	135,635	69.3%
* 藤岡地区	10,308	5.5%	10,575	5.4%	9,602	4.9%
* 小原地区	2,906	1.5%	2,780	1.4%	3,367	1.7%
* 足助地区	4,414	2.3%	4,209	2.1%	3,793	1.9%
* 旭地区	2,189	1.2%	1,956	1.0%	1,896	1.0%
* 下山地区	824	0.4%	1,077	0.5%	520	0.3%
* 稲武地区	1,557	0.8%	1,463	0.7%	1,314	0.7%
みよし市	24,046	12.8%	23,999	12.2%	25,227	12.9%
小計	173,509	92.3%	181,305	92.5%	181,354	92.7%
東郷町	3,026	1.6%	2,598	1.3%	2,426	1.2%
日進市	3,006	1.6%	2,291	1.2%	3,108	1.6%
岡崎市	1,070	0.6%	1,728	0.9%	1,305	0.7%
名古屋市	2,129	1.1%	1,980	1.0%	2,022	1.0%
その他	5,252	2.8%	6,059	3.1%	5,431	2.8%
小計	14,483	7.7%	14,656	7.5%	14,292	7.3%
合計	187,992	100.0%	195,961	100.0%	195,646	100.0%

西三河北部医療圏の入院患者数 (人)



西三河北部医療圏以外の入院患者数 (人)

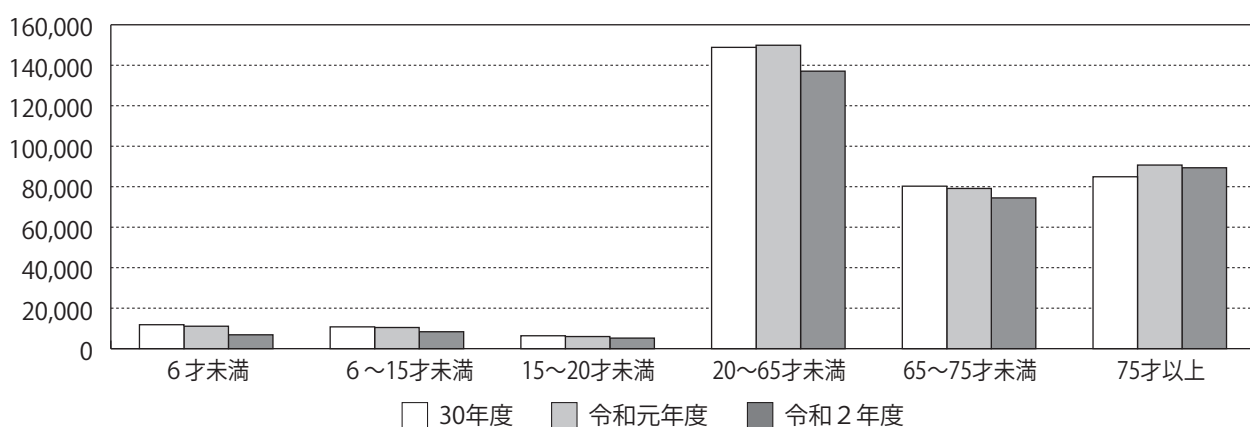


### 3. 年齢別利用状況

#### 1 年齢別外来利用状況 (延患者数)

(単位：人、%)

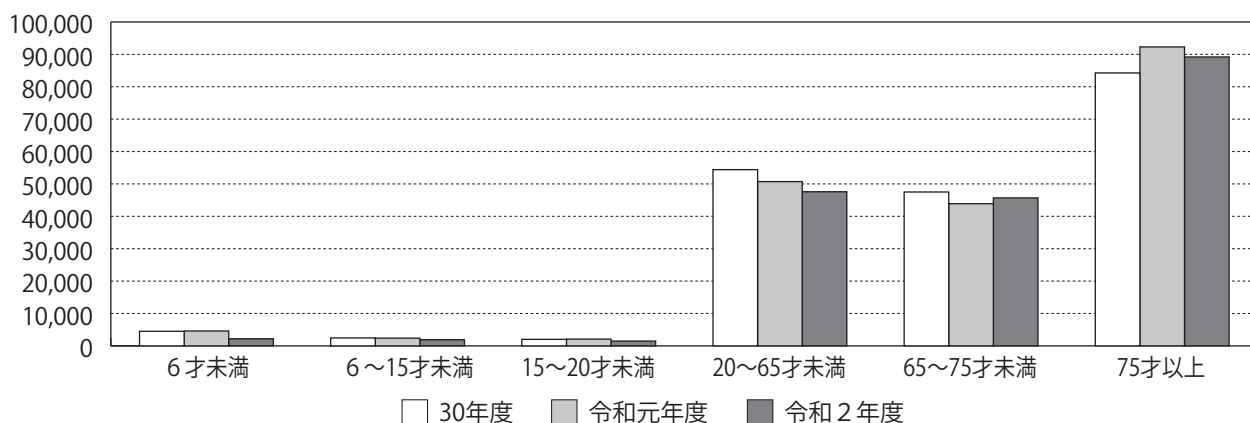
	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
6才未満	6,862	2.1%	11,100	3.2%	11,842	3.4%
6～15才未満	8,371	2.6%	10,461	3.0%	10,781	3.1%
15～20才未満	5,223	1.6%	5,991	1.7%	6,379	1.9%
20～65才未満	137,262	42.7%	150,081	43.2%	149,031	43.4%
65～75才未満	74,568	23.2%	79,243	22.8%	80,371	23.4%
75才以上	89,480	27.8%	90,818	26.1%	85,281	24.8%
合計	321,766	100.0%	347,694	100.0%	343,685	100.0%



#### 2 年齢別入院利用状況 (延患者数)

(単位：人、%)

	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
6才未満	2,179	1.2%	4,584	2.3%	4,487	2.3%
6～15才未満	1,879	1.0%	2,374	1.2%	2,447	1.3%
15～20才未満	1,477	0.8%	2,094	1.1%	2,008	1.0%
20～65才未満	47,570	25.3%	50,720	25.9%	54,406	27.8%
65～75才未満	45,690	24.3%	43,893	22.4%	47,505	24.3%
75才以上	89,197	47.4%	92,296	47.1%	84,793	43.3%
合計	187,992	100.0%	195,961	100.0%	195,646	100.0%



## 4. 救命救急センター外来利用状況

### 1 診療科別患者数

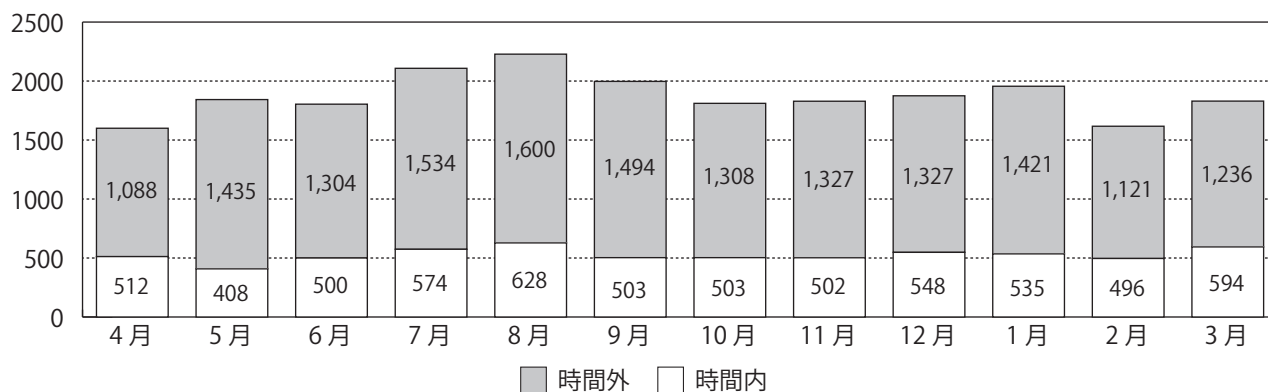
(単位：人)

診療科	時間内		時間外				時間外 合計	合計
	延患者数	入院 (再掲)	日直		当直			
			延患者数	入院	患者数	入院(再掲)		
内科	4,162	1,138	2,363	584	5284	1,361	7,647	11,809
精神科	9	0	14	0	20	0	34	43
小児科	259	21	409	51	1014	109	1,423	1,682
外科	219	114	166	83	464	314	630	849
整形外科	562	111	701	82	1264	143	1,965	2,527
形成外科	116	3	177	0	426	3	603	719
脳神経外科	329	119	240	52	657	159	897	1,226
呼吸器外科	11	7	14	9	27	16	41	52
心臓外科	5	4	2	0	5	4	7	12
皮膚科	107	9	256	22	413	23	669	776
泌尿器科	198	34	248	27	608	59	856	1,054
産婦人科	52	7	94	16	168	35	262	314
眼科	29	0	58	0	126	2	184	213
耳鼻咽喉科	223	16	325	17	485	29	810	1,033
麻酔科	0	0	1	0	5	0	6	6
歯科口腔外科	22	0	46	4	115	1	161	183
合計	6,303	1,583	5,114	947	11,081	2,258	16,195	22,498
前年度	5,093	1,439	6,704	949	15,539	2,522	22,243	27,336
前年度対比	123.8%	110.0%	76.3%	99.8%	71.3%	89.5%	72.8%	82.3%

### 2 月別患者数

(単位：人)

年月日	時間内		時間外				時間外 合計	合計	
	患者数	入院(再掲)	日直		当直				
			患者数	入院(再掲)	患者数	入院(再掲)			
R 1	4月	512	113	330	69	758	154	1,088	1,600
R 2	5月	408	102	533	101	902	202	1,435	1,843
	6月	500	122	361	64	943	206	1,304	1,804
	7月	574	132	462	83	1,072	190	1,534	2,108
	8月	628	141	501	85	1,099	203	1,600	2,228
	9月	503	140	476	74	1,018	196	1,494	1,997
	10月	503	128	384	59	924	186	1,308	1,811
	11月	502	140	444	84	883	162	1,327	1,829
	12月	548	154	386	73	941	192	1,327	1,875
R 3	1月	535	149	502	121	919	199	1,421	1,956
	2月	496	115	406	72	715	183	1,121	1,617
	3月	594	147	329	62	907	185	1,236	1,830
合計	6,303	1,583	5,114	947	11,081	2,258	16,195	22,498	



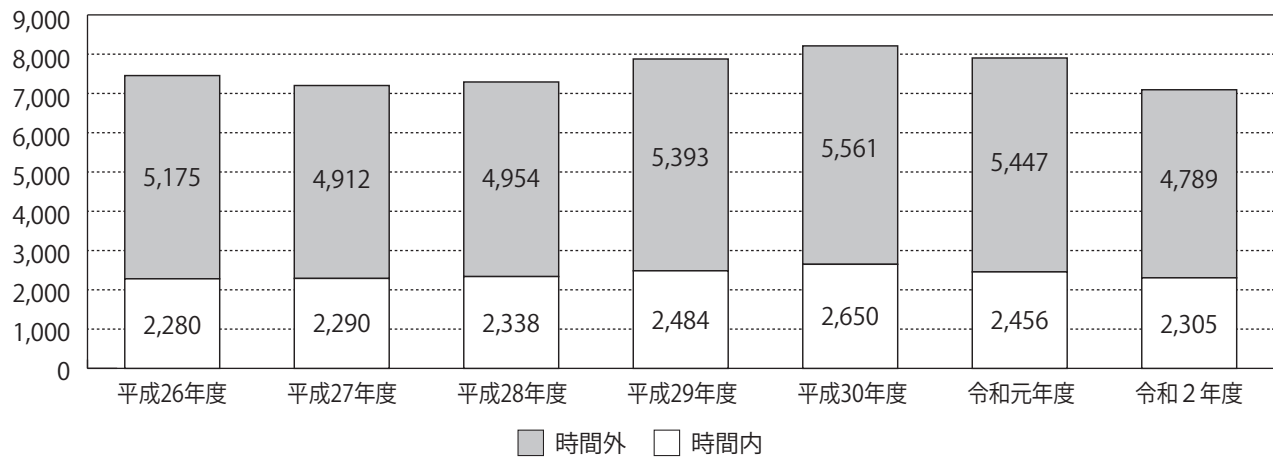


### 3 救急者受入状況

#### ①救急車受入数推移

(単位：人)

	時間内	時間外	総数	前年比
平成26年度	2,280	5,175	7,455	100.7%
平成27年度	2,290	4,912	7,202	96.6%
平成28年度	2,338	4,954	7,292	101.2%
平成29年度	2,484	5,393	7,877	108.0%
平成30年度	2,650	5,561	8,211	104.2%
令和元年度	2,456	5,447	7,903	96.2%
令和2年度	2,305	4,789	7,094	89.8%



#### ②診療科別救急車受入数

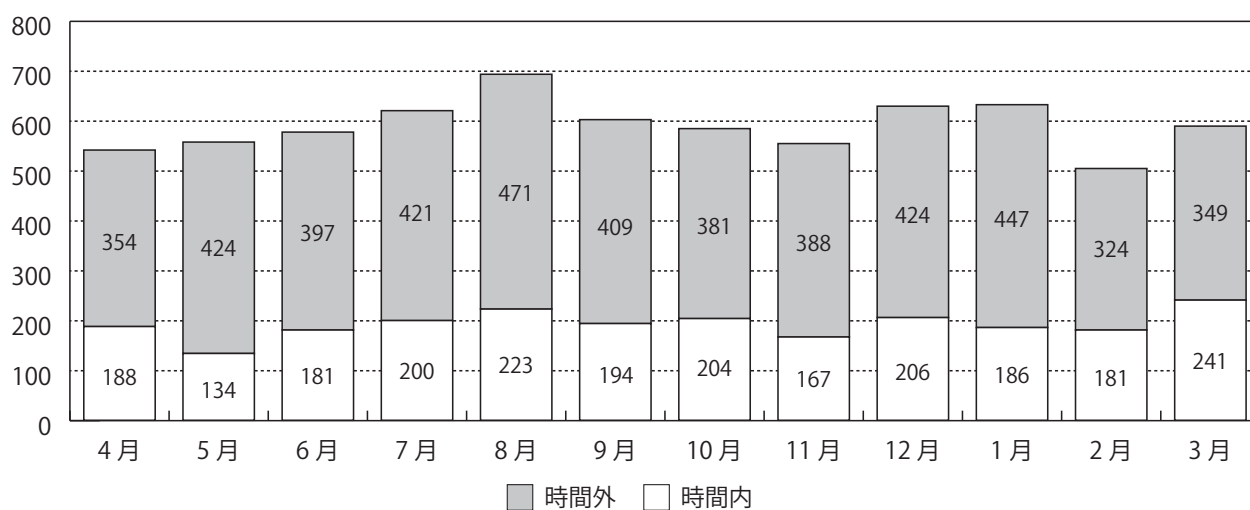
(単位：人)

診療科	時間内		時間外				時間外 合計	合計
	患者数	入院(再掲)	日直		当直			
			患者数	入院(再掲)	患者数	入院(再掲)		
内科	1,358	756	584	298	2,076	909	2,660	4,018
精神科	5	0	0	0	9	0	9	14
小児科	56	10	43	8	126	37	169	225
外科	98	79	50	38	180	153	230	328
整形外科	307	94	197	61	442	115	639	946
形成外科	32	3	25	0	71	3	96	128
脳神経外科	226	110	108	41	330	131	438	664
呼吸器外科	5	5	6	5	11	10	17	22
心臓外科	5	4	0	0	4	3	4	9
皮膚科	14	5	8	3	32	10	40	54
泌尿器科	80	24	42	13	142	39	184	264
産婦人科	18	6	10	2	25	13	35	53
眼科	4	0	2	0	6	0	8	12
耳鼻咽喉科	88	9	56	6	185	14	241	329
麻酔科	0	0	0	0	2	0	2	2
歯科口腔外科	9	0	5	1	12	1	17	26
合計	2,305	1,105	1,136	476	3,653	1,438	4,789	7,094
前年度	2,456	1,108	1,197	466	4,250	1,523	5,447	7,903
前年対比	93.9%	99.7%	94.9%	102.1%	86.0%	94.4%	87.9%	89.8%

## ③月別救急車受入数

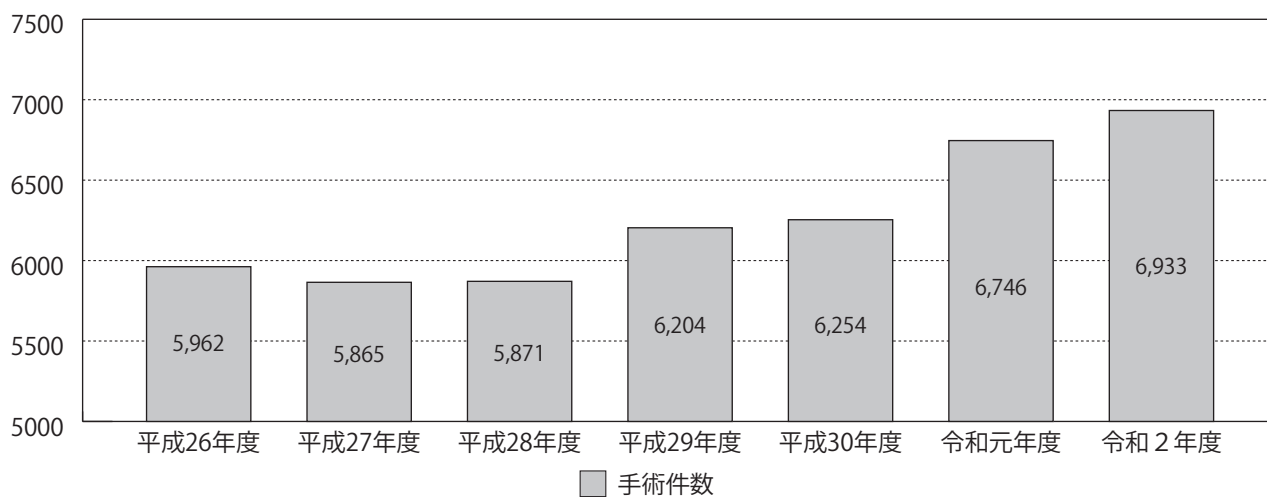
(単位：人)

年月日	時間内		時間外						合計
			日直		当直		時間外 合計		
	患者数	入院(再掲)	患者数	入院(再掲)	患者数	入院(再掲)			
H31	4月	188	90	80	37	274	101	354	542
R 1	5月	134	68	113	44	311	133	424	558
	6月	181	78	94	37	303	124	397	578
	7月	200	88	108	52	313	120	421	621
	8月	223	98	107	34	364	120	471	694
	9月	194	100	95	37	314	127	409	603
	10月	204	93	83	26	298	110	381	585
	11月	167	90	97	46	291	110	388	555
	12月	206	111	95	42	329	127	424	630
R 2	1月	186	101	119	59	328	131	447	633
	2月	181	78	78	33	246	120	324	505
	3月	241	110	67	29	282	115	349	590
合計		2,305	1,105	1,136	476	3,653	1,438	4,789	7,094



## 5. 手術件数

	令和2年度		令和元年度	
	件数	緊急件数(再掲)	件数	緊急件数(再掲)
内科	100	9	57	4
外科	1,600	456	1,548	398
整形外科	1,388	297	1,207	211
形成外科	309	9	334	6
脳神経外科	225	134	257	142
呼吸器外科	197	1	243	9
心臓外科	116	13	127	17
皮膚科	21	0	27	0
泌尿器科	312	8	308	13
産婦人科	516	56	567	63
眼科	1,565	23	1,462	21
耳鼻咽喉科	354	10	362	9
歯科口腔外科	225	0	235	0
麻酔科	5	1	12	0
合計	6,933	1,017	6,746	893



## 6. 分娩数・死亡数・剖検数

(単位：人)

	令和2年度		令和元年度		
	当院	豊田市	当院	豊田市	
分娩数	261	3,080	260	3,229	
死亡数	悪性新生物	300	919	368	959
	心疾患	54	278	68	293
	肺炎及び気管支炎	34	126	48	187
	脳血管疾患	37	199	43	212
	老衰	8	416	16	395
	不慮の事故	16	102	11	89
	腎疾患	12	52	20	46
	肝疾患	19	42	21	43
	自殺	1	64	1	46
	高血圧性疾患	1	10	0	1
	その他	175	959	181	917
	合計	657	3,167	777	3,188
剖検数	15		17		

- (注) 1) 当院の死亡数は、入院中に死亡した数  
2) 豊田市の人数は、1月～12月の数字を計上

### 令和2年度 悪性新生物（発生臓器別内訳）

[当院]

順位	臓器別	件数
1	肺	55
2	胃	38
3	膵	28
4	結腸	28
4	肝	27

[豊田市]

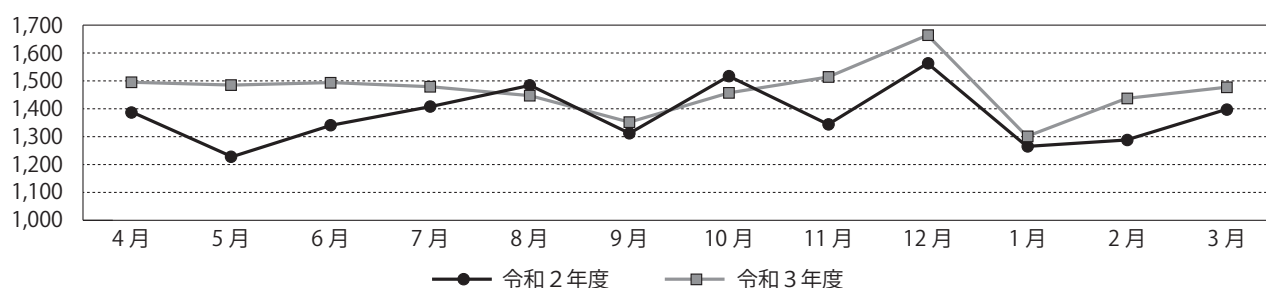
順位	臓器別	件数
1	肺	159
2	胃	141
3	結腸	90
4	肝	90
5	膵	59

## 7. 退院患者統計

集計の対象は入院年月日にかかわらず、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの退院患者とした。  
データは退院サマリおよび電子カルテ本文より抽出した。

### 1 診療科別・月別退院患者数

	総数	比率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	死亡
総数	16,529	100.0%	1,387	1,228	1,341	1,408	1,484	1,312	1,517	1,344	1,563	1,265	1,283	1,397	657
内科	7,195	43.5%	592	537	606	607	667	559	655	562	684	526	569	631	487
小児科	522	3.2%	43	37	38	40	57	51	52	49	42	36	34	43	0
外科	1,849	11.2%	152	149	148	155	154	140	168	154	178	147	138	166	81
整形外科	1,537	9.3%	131	114	119	142	136	121	134	138	156	114	119	113	7
形成外科	235	1.4%	13	15	11	25	15	15	21	23	20	25	21	31	1
脳神経外科	474	2.9%	48	31	32	35	24	35	41	37	63	37	43	48	32
呼吸器外科	266	1.6%	25	29	22	17	25	13	24	22	24	24	20	21	7
心臓血管外	110	0.7%	13	6	6	7	10	10	7	9	11	8	11	12	2
皮膚科	195	1.2%	15	11	17	13	27	27	16	16	15	9	13	16	2
泌尿器科	768	4.6%	61	49	57	60	62	67	80	69	75	64	56	68	23
産婦人科	1,004	6.1%	91	82	88	89	93	86	87	78	76	79	72	83	7
眼科	1,021	6.2%	74	77	98	112	83	77	108	78	83	82	98	51	0
耳鼻咽喉科	567	3.4%	47	36	43	49	53	51	49	50	55	53	39	42	6
麻酔科	30	0.2%	2	3	4	1	1	2	4	2	8	0	1	2	0
歯科口腔外	756	4.6%	80	52	52	56	77	58	71	57	73	61	49	70	2
令和元年度	17,602		1,495	1,485	1,494	1,479	1,447	1,352	1,457	1,514	1,664	1,301	1,437	1,477	



### 2 診療科別・死亡退院患者数

診療科	総数	比率	剖検数	剖検率	平均在院日数	48時間以内死亡	粗死亡率	精死亡率
総数	657	100.0%	15	2.3%	19.6	97	4.0%	3.4%
内科	487	74.1%	12	2.5%	19.2	71	6.8%	5.8%
小児科	0	-	-	-	0	-	-	-
外科	81	12.3%	1	1.2%	21.9	9	4.4%	3.9%
整形外科	7	1.1%	1	14.3%	28.6	1	0.5%	0.4%
形成外科	1	0.2%	0	0.0%	93	0	-	-
脳神経外科	32	4.9%	0	0.0%	9.9	14	6.8%	3.8%
呼吸器外科	7	1.1%	0	0.0%	27.3	0	2.6%	2.6%
心臓血管外	2	0.3%	0	0.0%	50	0	1.8%	1.8%
皮膚科	2	0.3%	0	0.0%	25.5	0	1.0%	1.0%
泌尿器科	23	3.5%	1	4.3%	19	1	3.0%	2.9%
産婦人科	7	1.1%	0	0.0%	23.3	0	0.7%	0.7%
眼科	0	-	-	-	0	-	-	-
耳鼻咽喉科	6	0.9%	0	0.0%	13.8	1	1.1%	0.9%
麻酔科	0	-	-	-	0	-	-	-
歯科口腔外	2	0.3%	0	0.0%	46.5	0	0.3%	0.3%

※精死亡率：(総死亡数 - 入院後48時間以内死亡数) / 退院患者数 × 100を表す



### 3 地域別・年齢階層別退院患者数

地域	性別	総数	比率(%)	平均年齢	0~9歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	~89歳	90歳~
総数	計	16,529	100.0	62.65	604	485	807	805	1,199	1,703	2,499	4,802	2,897	728
	男	9,067	100.0	63.66	332	254	330	284	601	1,008	1,501	2,881	1,607	269
	女	7,462	100.0	61.42	272	231	477	521	598	695	998	1,921	1,290	459
井郷地区	計	827	5.0	65.25	20	20	36	26	54	80	107	301	158	25
	男	468	5.2	66.26	10	11	9	14	31	51	65	181	83	13
	女	359	4.8	63.94	10	9	27	12	23	29	42	120	75	12
猿投地区	計	460	2.8	61.78	23	23	17	22	27	36	92	126	57	37
	男	238	2.6	61.04	9	15	12	7	13	16	48	82	29	7
	女	222	3.0	62.57	14	8	5	15	14	20	44	44	28	30
猿投台地区	計	677	4.1	66.73	19	17	18	28	36	50	85	244	146	34
	男	395	4.4	66.90	12	12	4	13	23	22	60	157	77	15
	女	282	3.8	66.48	7	5	14	15	13	28	25	87	69	19
逢妻地区	計	1,204	7.3	64.60	34	27	50	59	73	124	178	382	224	53
	男	677	7.5	65.92	15	15	21	23	29	67	131	236	121	19
	女	527	7.1	62.90	19	12	29	36	44	57	47	146	103	34
朝日丘地区	計	797	4.8	63.43	26	16	36	29	66	99	114	218	156	37
	男	460	5.1	65.43	15	8	12	16	28	62	63	129	105	22
	女	337	4.5	60.71	11	8	24	13	38	37	51	89	51	15
崇化館地区	計	1,223	7.4	64.59	27	32	58	40	89	129	209	348	225	66
	男	672	7.4	63.73	15	18	31	15	56	82	114	214	102	25
	女	551	7.4	65.63	12	14	27	25	33	47	95	134	123	41
豊南地区	計	257	1.6	61.63	8	5	12	9	35	30	30	93	25	10
	男	118	1.3	64.33	3	2	3	1	10	14	22	49	13	1
	女	139	1.9	59.34	5	3	9	8	25	16	8	44	12	9
保見地区	計	902	5.5	63.17	36	16	48	39	64	77	159	263	163	37
	男	487	5.4	62.93	25	10	21	13	31	49	95	141	87	15
	女	415	5.6	63.45	11	6	27	26	33	28	64	122	76	22
梅坪台地区	計	578	3.5	60.13	21	16	42	32	51	65	92	159	86	14
	男	320	3.5	61.28	14	8	19	10	32	33	55	95	50	4
	女	258	3.5	58.70	7	8	23	22	19	32	37	64	36	10
浄水地区	計	742	4.5	57.27	43	31	47	57	86	51	102	215	102	8
	男	382	4.2	60.28	19	22	15	9	40	35	52	120	68	2
	女	360	4.8	54.08	24	9	32	48	46	16	50	95	34	6
益富地区	計	280	1.7	65.07	6	2	4	16	24	13	65	117	26	7
	男	171	1.9	66.33	3	2	1	6	16	8	40	74	17	4
	女	109	1.5	63.09	3	0	3	10	8	5	25	43	9	3
美里地区	計	575	3.5	67.37	16	6	8	16	31	64	88	216	107	23
	男	307	3.4	68.27	8	3	5	5	15	29	54	122	58	8
	女	268	3.6	66.34	8	3	3	11	16	35	34	94	49	15
高橋地区	計	675	4.1	66.50	22	12	21	28	47	51	109	189	148	48
	男	356	3.9	67.16	8	7	9	7	25	29	64	113	86	8
	女	319	4.3	65.77	14	5	12	21	22	22	45	76	62	40
石野地区	計	202	1.2	70.31	3	4	6	5	11	8	34	64	50	17
	男	121	1.3	71.42	3	2	2	3	0	5	24	40	32	10
	女	81	1.1	68.65	0	2	4	2	11	3	10	24	18	7
松平地区	計	129	0.8	66.86	1	4	8	2	9	14	13	37	32	9
	男	70	0.8	69.66	0	2	1	1	5	5	9	28	13	6
	女	59	0.8	63.54	1	2	7	1	4	9	4	9	19	3
前林地区	計	378	2.3	67.08	8	1	18	11	28	29	68	110	80	25
	男	211	2.3	67.66	5	0	9	6	12	12	41	72	45	9
	女	167	2.2	66.35	3	1	9	5	16	17	27	38	35	16
竜神地区	計	510	3.1	63.69	16	9	19	23	34	70	59	198	74	8
	男	253	2.8	65.06	10	3	8	2	15	43	28	101	41	2
	女	257	3.4	62.33	6	6	11	21	19	27	31	97	33	6
若園地区	計	156	0.9	59.80	11	3	7	6	13	18	26	47	17	8
	男	73	0.8	61.58	4	0	2	2	7	11	13	26	6	2
	女	83	1.1	58.24	7	3	5	4	6	7	13	21	11	6
高岡地区	計	281	1.7	66.11	10	5	5	9	15	32	46	95	47	17
	男	149	1.6	64.81	5	5	3	3	6	23	25	52	19	8
	女	132	1.8	67.58	5	0	2	6	9	9	21	43	28	9



地域	性別	総数	比率(%)	平均年齢	0~9歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	~89歳	90歳~
上郷地区	計	139	0.8	61.90	8	3	4	4	8	20	21	47	24	0
	男	83	0.9	64.19	5	1	2	0	5	12	11	30	17	0
	女	56	0.8	58.50	3	2	2	4	3	8	10	17	7	0
末野原地区	計	221	1.3	59.26	9	5	20	12	16	34	24	69	30	2
	男	132	1.5	60.50	6	2	10	5	9	24	10	48	17	1
	女	89	1.2	57.42	3	3	10	7	7	10	14	21	13	1
藤岡地区	計	475	2.9	65.67	8	9	18	18	35	48	90	123	103	23
	男	263	2.9	67.17	4	6	3	7	13	28	53	92	53	4
	女	212	2.8	63.81	4	3	15	11	22	20	37	31	50	19
藤岡南地区	計	454	2.7	60.58	24	15	22	23	23	64	87	107	74	15
	男	243	2.7	60.67	14	8	7	12	12	40	47	56	41	6
	女	211	2.8	60.52	10	7	15	11	11	24	40	51	33	9
小原地区	計	213	1.3	72.70	1	2	2	4	8	28	28	54	63	23
	男	135	1.5	70.49	0	2	2	2	6	23	16	37	43	4
	女	78	1.0	76.54	1	0	0	2	2	5	12	17	20	19
足助地区	計	333	2.0	70.87	4	2	14	5	8	26	54	92	105	23
	男	181	2.0	69.98	1	1	9	3	2	13	38	50	59	5
	女	152	2.0	71.94	3	1	5	2	6	13	16	42	46	18
下山地区	計	56	0.3	67.91	1	0	2	2	3	3	15	17	10	3
	男	39	0.4	71.38	0	0	1	0	0	2	15	13	5	3
	女	17	0.2	59.94	1	0	1	2	3	1	0	4	5	0
稲武地区	計	108	0.7	74.41	0	1	4	0	4	5	15	32	26	21
	男	57	0.6	76.35	0	1	0	0	2	4	7	15	17	11
	女	51	0.7	72.24	0	0	4	0	2	1	8	17	9	10
旭地区	計	164	1.0	67.85	7	5	1	5	9	16	24	37	37	23
	男	96	1.1	69.01	3	4	1	1	3	11	17	19	20	17
	女	68	0.9	66.21	4	1	0	4	6	5	7	18	17	6
みよし市	計	2,185	13.2	58.27	125	101	143	124	152	288	285	563	332	72
	男	1,251	13.8	59.68	74	54	64	49	82	164	181	350	205	28
	女	934	12.5	56.37	51	47	79	75	70	124	104	213	127	44
東郷町	計	227	1.4	62.33	9	11	5	12	15	23	33	66	46	7
	男	109	1.2	63.22	3	4	2	2	10	15	15	39	18	1
	女	118	1.6	61.52	6	7	3	10	5	8	18	27	28	6
日進市	計	273	1.7	56.07	25	3	14	35	26	28	28	57	44	13
	男	152	1.7	59.09	15	1	4	7	16	19	17	39	30	4
	女	121	1.6	52.28	10	2	10	28	10	9	11	18	14	9
岡崎市	計	130	0.8	55.41	1	7	9	11	18	21	27	28	7	1
	男	82	0.9	56.10	1	2	3	7	13	18	19	15	3	1
	女	48	0.6	54.23	0	5	6	4	5	3	8	13	4	0
刈谷市	計	23	0.1	40.30	2	2	1	7	3	3	5	0	0	0
	男	12	0.1	41.92	1	1	0	4	2	1	3	0	0	0
	女	11	0.1	38.55	1	1	1	3	1	2	2	0	0	0
名古屋市	計	186	1.1	50.37	8	12	19	24	36	13	25	25	20	4
	男	67	0.7	48.97	6	3	8	7	7	9	11	9	6	1
	女	119	1.6	51.15	2	9	11	17	29	4	14	16	14	3
安城市	計	28	0.2	40.93	2	8	3	2	1	2	4	2	4	0
	男	11	0.1	40.27	2	2	1	0	1	2	1	1	1	0
	女	17	0.2	41.35	0	6	2	2	0	0	3	1	3	0
知立市	計	32	0.2	44.94	1	2	9	2	7	2	3	2	4	0
	男	9	0.1	53.22	0	0	2	0	3	0	2	0	2	0
	女	23	0.3	41.70	1	2	7	2	4	2	1	2	2	0
瀬戸市	計	73	0.4	48.79	5	2	11	11	7	6	17	7	7	0
	男	43	0.5	48.67	4	1	6	5	6	4	7	5	5	0
	女	30	0.4	48.97	1	1	5	6	1	2	10	2	2	0
長久手市	計	25	0.1	37.80	3	1	3	10	3	1	1	2	0	1
	男	17	0.2	34.30	3	1	3	4	3	0	1	2	0	0
	女	8	0.1	43.88	0	0	0	6	0	1	0	0	0	1
その他市外	計	219	0.6	50.24	5	33	23	23	16	26	24	36	24	9
	男	103	0.7	54.13	3	6	9	9	9	17	17	22	8	3
	女	116	1.3	46.79	2	27	14	14	7	9	7	14	16	6
県外	計	112	0.7	47.83	6	12	20	14	8	6	13	14	14	5
	男	54	0.6	45.70	4	9	6	4	3	6	10	7	5	0
	女	58	0.8	49.81	2	3	14	10	5	0	3	7	9	5

#### 4 疾病別・診療科別退院患者数（大分類）

国際分類大項目分類		総	内	小	外	整形	形成	脳神	呼吸	心臓	皮膚	泌尿	産婦	眼	耳鼻	麻	歯科	死	剖
		数	科	児	科	外科	外科	経外科	器外科	血管	科	器科	人科	科	咽喉科	酔科	科	亡	検
総 数	計	16,529	7,195	522	1,849	1,537	235	474	266	110	195	768	1,004	1,021	567	30	756	657	15
	男	9,067	4,385	274	1,004	770	107	290	204	77	111	641	0	520	323	19	342	405	13
	女	7,462	2,810	248	845	767	128	184	62	33	84	127	1,004	501	244	11	414	252	2
I 感染症及び寄生虫症	計	350	196	53	7	1	2	0	4	0	55	5	6	0	12	8	1	18	0
	男	171	100	23	4	0	1	0	2	0	28	2	0	0	3	7	1	9	0
	女	179	96	30	3	1	1	0	2	0	27	3	6	0	9	1	0	9	0
II 新生物	計	3,140	1,182	1	699	19	37	39	166	0	26	278	469	0	187	0	37	276	5
	男	1,587	733	1	301	14	16	22	120	0	12	235	0	0	112	0	21	179	5
	女	1,553	449	0	398	5	21	17	46	0	14	43	469	0	75	0	16	97	0
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	84	52	5	8	0	0	0	3	0	2	4	6	0	4	0	0	1	0
	男	47	31	1	5	0	0	0	3	0	1	3	0	0	3	0	0	0	0
	女	37	21	4	3	0	0	0	0	0	1	1	6	0	1	0	0	1	0
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	計	460	351	16	13	3	4	0	3	0	0	1	6	17	46	0	0	11	0
	男	224	181	12	8	3	3	0	1	0	0	1	0	11	4	0	0	2	0
	女	236	170	4	5	0	1	0	2	0	0	0	6	6	42	0	0	9	0
V 精神及び行動の障害	計	19	18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	10	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
VI 神経系の疾患	計	347	229	14	0	51	2	20	0	0	0	0	0	0	27	4	0	9	3
	男	216	146	6	0	27	0	14	0	0	0	0	0	0	20	3	0	8	3
	女	131	83	8	0	24	2	6	0	0	0	0	0	0	7	1	0	1	0
VII 眼及び付属器の疾患	計	1,084	1	0	0	0	88	0	0	0	0	0	0	995	0	0	0	0	0
	男	529	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	505	0	0	0	0	0
	女	555	1	0	0	0	64	0	0	0	0	0	0	490	0	0	0	0	0
VIII 耳及び乳様突起の疾患	計	70	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67	0	0	0	0
	男	36	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	0	0	0	0
	女	34	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	0	0	0	0
IX 循環器系の疾患	計	2,615	2,145	3	138	0	2	219	1	106	0	1	0	0	0	0	0	116	2
	男	1,649	1,342	2	103	0	2	127	0	73	0	0	0	0	0	0	0	63	1
	女	966	803	1	35	0	0	92	1	33	0	1	0	0	0	0	0	53	1
X 呼吸器系の疾患	計	1,007	638	113	7	0	0	2	61	0	2	1	1	0	180	0	2	111	2
	男	685	441	57	3	0	0	1	56	0	1	1	0	0	123	0	2	74	2
	女	322	197	56	4	0	0	1	5	0	1	0	1	0	57	0	0	37	0
XI 消化器系の疾患	計	2,514	918	8	873	0	1	0	0	0	0	3	5	0	6	0	700	49	1
	男	1,353	504	5	532	0	1	0	0	0	0	1	0	0	4	0	306	27	0
	女	1,161	414	3	341	0	0	0	0	0	0	2	5	0	2	0	394	22	1
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	計	177	19	14	5	5	31	0	0	0	97	0	0	1	5	0	0	1	0
	男	116	11	6	5	4	24	0	0	0	63	0	0	0	3	0	0	1	0
	女	61	8	8	0	1	7	0	0	0	34	0	0	1	2	0	0	0	0
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	計	510	77	24	2	383	2	0	1	0	1	0	0	0	2	18	0	4	0
	男	241	43	10	1	175	2	0	0	0	1	0	0	0	0	9	0	2	0
	女	269	34	14	1	208	0	0	1	0	0	0	0	0	2	9	0	2	0
XIV 尿路性器系の疾患	計	946	421	24	19	0	2	0	0	0	0	327	151	0	2	0	0	21	1
	男	512	236	12	7	0	2	0	0	0	0	253	0	0	2	0	0	13	1
	女	434	185	12	12	0	0	0	0	0	0	74	151	0	0	0	0	8	0
XV 妊娠、分娩及び産じょく	計	346	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	345	0	0	0	0	0	0
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	346	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	345	0	0	0	0	0	0
XVI 周産期に発生した病態	計	66	0	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	27	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	39	0	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	計	46	5	3	3	13	6	3	1	0	0	0	1	0	11	0	0	0	0
	男	22	1	1	3	6	4	2	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
	女	24	4	2	0	7	2	1	0	0	0	0	1	0	7	0	0	0	0

国際分類大項目分類	総数	内科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	麻酔科	歯科口腔外	死亡数	剖検数	
Ⅷ 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	計	137	64	58	7	0	0	0	0	0	2	0	0	6	0	0	3	0	
	男	74	39	29	1	0	0	0	0	0	2	0	0	3	0	0	1	0	
	女	63	25	29	6	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	2	0	
Ⅸ 損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	1,141	99	18	29	710	34	163	26	4	12	9	11	6	10	0	10	26	1
	男	629	57	13	13	352	25	112	21	4	5	8	0	3	8	0	8	20	1
	女	512	42	5	16	358	9	51	5	0	7	1	11	3	2	0	2	6	0
Ⅹ 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	1,267	581	94	39	352	24	27	0	0	137	3	2	2	0	6	1	0	
	男	811	384	65	18	189	3	12	0	0	135	0	1	0	0	4	1	0	
	女	456	197	29	21	163	21	15	0	0	2	3	1	2	0	2	0	0	
Ⅺ 特殊目的用コード（新型コロナウイルス感染症を含む）	計	203	198	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	
	男	129	127	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	
	女	74	71	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	

※主病名に対する死亡数であるため、死因統計とは異なる

## 5 診療科別・在院期間別退院患者数

		総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	1～2月	2～3月	3～6月	6月～1年	1～2年	2年～	平均在院日数
総数	計	16,529	9,520	3,349	1,610	906	976	125	41	2	0	0	11.3
	男	9,067	5,184	1,829	869	504	568	84	28	1	0	0	11.6
	女	7,462	4,336	1,520	741	402	408	41	13	1	0	0	11.0
内科	計	7,195	3,355	1,735	888	509	611	73	22	2	0	0	13.8
	男	4,385	2,142	1,032	502	292	358	47	11	1	0	0	13.3
	女	2,810	1,213	703	386	217	253	26	11	1	0	0	14.6
小児科	計	522	474	36	6	3	3	0	0	0	0	0	4.9
	男	274	256	11	3	2	2	0	0	0	0	0	4.6
	女	248	218	25	3	1	1	0	0	0	0	0	5.3
外科	計	1,849	893	522	183	109	118	15	9	0	0	0	12.8
	男	1,004	495	252	109	57	69	13	9	0	0	0	13.4
	女	845	398	270	74	52	49	2	0	0	0	0	12.1
整形外科	計	1,537	793	297	269	93	72	10	3	0	0	0	11.4
	男	770	449	143	96	37	40	4	1	0	0	0	10.4
	女	767	344	154	173	56	32	6	2	0	0	0	12.4
形成外科	計	235	186	18	9	5	6	4	7	0	0	0	9.8
	男	107	78	7	5	4	3	3	7	0	0	0	15.7
	女	128	108	11	4	1	3	1	0	0	0	0	4.9
脳神経外科	計	474	136	109	80	65	76	8	0	0	0	0	19.0
	男	290	91	76	47	32	39	5	0	0	0	0	17.6
	女	184	45	33	33	33	37	3	0	0	0	0	21.0
呼吸器外科	計	266	97	129	19	9	10	2	0	0	0	0	11.5
	男	204	79	95	15	8	6	1	0	0	0	0	11.0
	女	62	18	34	4	1	4	1	0	0	0	0	13.1
心臓血管外	計	110	4	9	38	41	15	3	0	0	0	0	25.1
	男	77	3	5	25	31	10	3	0	0	0	0	25.8
	女	33	1	4	13	10	5	0	0	0	0	0	23.5
皮膚科	計	195	121	45	9	11	7	2	0	0	0	0	10.6
	男	111	69	25	6	7	3	1	0	0	0	0	10.6
	女	84	52	20	3	4	4	1	0	0	0	0	10.6
泌尿器科	計	768	529	127	58	25	28	1	0	0	0	0	8.7
	男	641	461	89	44	20	26	1	0	0	0	0	8.4
	女	127	68	38	14	5	2	0	0	0	0	0	9.8
産婦人科	計	1,004	795	167	16	12	13	1	0	0	0	0	6.8
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	女	1,004	795	167	16	12	13	1	0	0	0	0	6.8

		総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	1～2月	2～3月	3～6月	6月～1年	1～2年	2年～	平均在院日数
眼 科	計	1,021	958	51	7	5	0	0	0	0	0	0	3.4
	男	520	490	26	1	3	0	0	0	0	0	0	3.4
	女	501	468	25	6	2	0	0	0	0	0	0	3.5
耳鼻咽喉科	計	567	443	87	15	11	7	4	0	0	0	0	8.2
	男	323	241	55	11	7	5	4	0	0	0	0	8.9
	女	244	202	32	4	4	2	0	0	0	0	0	7.3
麻 酔 科	計	30	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.7
	男	19	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4.2
	女	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.7
歯科口腔外	計	756	706	17	13	8	10	2	0	0	0	0	4.2
	男	342	311	13	5	4	7	2	0	0	0	0	4.9
	女	414	395	4	8	4	3	0	0	0	0	0	3.6

## 6 疾病別・在院期間別退院患者数（大分類）

国際分類大項目分類		総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	1～2月	2～3月	3～6月	6月～1年	1～2年	2年～	平均在院日数
総 数	計	16,529	9,520	3,349	1,610	906	976	125	41	2	0	0	11.3
	男	9,067	5,184	1,829	869	504	568	84	28	1	0	0	11.6
	女	7,462	4,336	1,520	741	402	408	41	13	1	0	0	11.0
I 感染症及び寄生虫症	計	350	196	78	26	22	20	5	3	0	0	0	13.0
	男	171	99	31	10	12	14	4	1	0	0	0	13.9
	女	179	97	47	16	10	6	1	2	0	0	0	12.2
II 新生物	計	3,140	1,374	819	408	214	288	31	6	0	0	0	14.2
	男	1,587	591	431	237	124	173	25	6	0	0	0	16.1
	女	1,553	783	388	171	90	115	6	0	0	0	0	12.2
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	84	36	30	5	8	3	2	0	0	0	0	13.1
	男	47	19	17	4	4	2	1	0	0	0	0	13.3
	女	37	17	13	1	4	1	1	0	0	0	0	12.9
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	計	460	218	142	36	32	27	2	3	0	0	0	13.8
	男	224	105	79	16	10	10	1	3	0	0	0	13.9
	女	236	113	63	20	22	17	1	0	0	0	0	13.7
V 精神及び行動の障害	計	19	7	4	3	0	4	1	0	0	0	0	19.1
	男	9	5	1	2	0	0	1	0	0	0	0	14.9
	女	10	2	3	1	0	4	0	0	0	0	0	22.9
VI 神経系の疾患	計	347	207	61	28	12	31	6	1	1	0	0	12.7
	男	216	136	37	12	9	16	5	0	1	0	0	12.2
	女	131	71	24	16	3	15	1	1	0	0	0	13.5
VII 眼及び付属器の疾患	計	1,084	1,025	47	7	5	0	0	0	0	0	0	3.2
	男	529	501	24	1	3	0	0	0	0	0	0	3.3
	女	555	524	23	6	2	0	0	0	0	0	0	3.2
VIII 耳及び乳様突起の疾患	計	70	45	25	0	0	0	0	0	0	0	0	6.4
	男	36	23	13	0	0	0	0	0	0	0	0	6.6
	女	34	22	12	0	0	0	0	0	0	0	0	6.3
IX 循環器系の疾患	計	2,615	1,185	580	375	218	223	25	8	1	0	0	14.0
	男	1,649	807	355	216	127	122	18	4	0	0	0	13.1
	女	966	378	225	159	91	101	7	4	1	0	0	15.6
X 呼吸器系の疾患	計	1,007	438	213	125	92	125	9	5	0	0	0	16.0
	男	685	280	148	91	64	89	9	4	0	0	0	16.7
	女	322	158	65	34	28	36	0	1	0	0	0	14.6
XI 消化器系の疾患	計	2,514	1,753	467	128	80	66	16	4	0	0	0	8.5
	男	1,353	932	265	68	40	35	9	4	0	0	0	8.7
	女	1,161	821	202	60	40	31	7	0	0	0	0	8.3

国際分類大項目分類		総数	1~8日	9~15日	16~22日	23~31日	1~2月	2~3月	3~6月	6月~1年	1~2年	2年~	平均在院日数
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	計	177	83	49	15	14	10	4	2	0	0	0	14.7
	男	116	52	35	10	9	6	2	2	0	0	0	15.0
	女	61	31	14	5	5	4	2	0	0	0	0	14.0
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	計	510	124	193	125	23	33	7	5	0	0	0	16.2
	男	241	70	95	41	11	20	3	1	0	0	0	15.4
	女	269	54	98	84	12	13	4	4	0	0	0	17.0
XIV 尿路性器系の疾患	計	946	577	185	80	49	49	4	2	0	0	0	10.9
	男	512	304	98	46	29	33	0	2	0	0	0	11.3
	女	434	273	87	34	20	16	4	0	0	0	0	10.4
XV 妊娠, 分娩及び産じょく	計	346	248	86	3	4	5	0	0	0	0	0	7.5
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	女	346	248	86	3	4	5	0	0	0	0	0	7.5
XVI 周産期に発生した病態	計	66	54	9	3	0	0	0	0	0	0	0	7.5
	男	27	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5.9
	女	39	27	9	3	0	0	0	0	0	0	0	8.6
XVII 先天奇形, 変形及び染色体異常	計	46	28	11	4	3	0	0	0	0	0	0	8.2
	男	22	15	3	1	3	0	0	0	0	0	0	8.9
	女	24	13	8	3	0	0	0	0	0	0	0	7.6
XVIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	計	137	104	12	6	7	7	0	1	0	0	0	9.2
	男	74	55	7	4	4	3	0	1	0	0	0	9.8
	女	63	49	5	2	3	4	0	0	0	0	0	8.6
XIX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	計	1,141	545	198	199	113	74	11	1	0	0	0	13.3
	男	629	335	114	86	49	39	6	0	0	0	0	12.2
	女	512	210	84	113	64	35	5	1	0	0	0	14.8
XX 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	1,267	1,208	52	5	1	1	0	0	0	0	0	2.9
	男	811	787	20	3	0	1	0	0	0	0	0	2.7
	女	456	421	32	2	1	0	0	0	0	0	0	3.2
XXI 特殊目的用コード (新型コロナウイルス感染症を含む)	計	203	65	88	29	9	10	2	0	0	0	0	13.6
	男	129	41	56	21	6	5	0	0	0	0	0	12.8
	女	74	24	32	8	3	5	2	0	0	0	0	14.9

## 7 疾病別・年齢階層別退院患者数 (大分類)

国際分類大項目分類		総数	0~9歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	~89歳	90歳~	平均年齢
総数	計	16,529	604	485	807	805	1,199	1,703	2,499	4,802	2,897	728	62.65
	男	9,067	332	254	330	284	601	1,008	1,501	2,881	1,607	269	63.66
	女	7,462	272	231	477	521	598	695	998	1,921	1,290	459	61.42
I 感染症及び寄生虫症	計	350	39	22	25	8	21	19	45	75	69	27	57.68
	男	171	16	8	12	2	13	11	25	36	38	10	59.27
	女	179	23	14	13	6	8	8	20	39	31	17	56.16
II 新生物	計	3,140	6	14	34	93	302	377	606	1,117	526	65	67.17
	男	1,587	5	6	6	17	62	153	332	647	326	33	70.70
	女	1,553	1	8	28	76	240	224	274	470	200	32	63.56
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	84	2	3	2	4	10	3	19	23	16	2	63.99
	男	47	0	1	0	2	4	1	14	14	11	0	68.64
	女	37	2	2	2	2	6	2	5	9	5	2	58.08
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	計	460	12	8	8	31	63	76	70	100	72	20	61.60
	男	224	9	4	3	14	39	42	25	55	28	5	59.06
	女	236	3	4	5	17	24	34	45	45	44	15	64.01
V 精神及び行動の障害	計	19	0	1	0	1	7	3	2	2	2	1	55.21
	男	9	0	0	0	0	2	2	1	2	2	0	63.78
	女	10	0	1	0	1	5	1	1	0	0	1	47.50

国際分類大項目分類		総数	0～9歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	～89歳	90歳～	平均年齢
VI 神経系の疾患	計	347	14	12	15	15	30	62	68	80	43	8	59.37
	男	216	6	9	7	12	22	46	51	41	18	4	57.90
	女	131	8	3	8	3	8	16	17	39	25	4	61.79
VII 眼及び付属器の疾患	計	1,084	2	2	4	8	37	83	188	507	220	33	72.18
	男	529	0	0	1	6	21	46	81	258	98	18	72.05
	女	555	2	2	3	2	16	37	107	249	122	15	72.31
VIII 耳及び乳様突起の疾患	計	70	6	3	2	2	6	9	16	21	5	0	56.21
	男	36	5	2	1	1	3	3	8	11	2	0	52.72
	女	34	1	1	1	1	3	6	8	10	3	0	59.91
IX 循環器系の疾患	計	2,615	0	8	11	32	107	260	453	938	628	178	72.47
	男	1,649	0	6	2	23	77	205	329	619	325	63	70.51
	女	966	0	2	9	9	30	55	124	319	303	115	75.82
X 呼吸器系の疾患	計	1,007	129	33	62	38	35	58	76	222	237	117	60.52
	男	685	68	26	48	26	25	42	51	173	167	59	61.29
	女	322	61	7	14	12	10	16	25	49	70	58	58.89
XI 消化器系の疾患	計	2,514	70	155	380	178	199	229	290	549	377	87	55.34
	男	1,353	42	72	165	83	111	145	188	330	194	23	56.42
	女	1,161	28	83	215	95	88	84	102	219	183	64	54.07
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	計	177	12	7	5	10	22	23	22	35	31	10	58.79
	男	116	6	3	5	5	14	16	17	23	21	6	60.28
	女	61	6	4	0	5	8	7	5	12	10	4	55.95
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	計	510	27	36	13	14	35	59	85	163	70	8	59.76
	男	241	11	10	5	8	24	28	39	80	31	5	61.15
	女	269	16	26	8	6	11	31	46	83	39	3	58.53
XIV 尿路性器系の疾患	計	946	19	19	24	61	85	126	147	247	166	52	63.96
	男	512	12	11	2	17	36	68	85	157	108	16	66.26
	女	434	7	8	22	44	49	58	62	90	58	36	61.24
XV 妊娠、分娩及び産じょく	計	346	0	4	115	201	26	0	0	0	0	0	31.82
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	346	0	4	115	201	26	0	0	0	0	0	31.82
XVI 周産期に発生した病態	計	66	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	男	27	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	女	39	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	計	46	10	17	3	1	7	2	0	5	1	0	27.46
	男	22	5	8	1	1	4	1	0	2	0	0	26.14
	女	24	5	9	2	0	3	1	0	3	1	0	28.67
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	計	137	50	10	5	4	7	6	5	17	25	8	40.96
	男	74	26	4	4	3	5	5	3	10	13	1	39.86
	女	63	24	6	1	1	2	1	2	7	12	7	42.25
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	1,141	47	63	63	52	101	111	125	251	237	91	61.78
	男	629	31	51	45	33	79	69	69	136	99	17	55.57
	女	512	16	12	18	19	22	42	56	115	138	74	69.41
XX 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	1,267	89	63	28	37	69	157	253	412	150	9	59.59
	男	811	62	28	20	20	38	96	164	264	114	5	60.65
	女	456	27	35	8	17	31	61	89	148	36	4	57.69
XXI 特殊目的用コード(新型コロナウイルス感染症を含む)	計	203	4	5	8	15	30	40	29	38	22	12	59.43
	男	129	1	5	3	11	22	29	19	23	12	4	57.70
	女	74	3	0	5	4	8	11	10	15	10	8	62.45



## 8 診療科別疾患順位（細分類）

細分類病名のままではわかりにくいものに関しては、一部修正を加え掲載

### <内科>

順位	コード	病名	総数	平均在院 日数	在院日数 中央値	最高在院 日数	最低在院 日数
1	I500	うっ血性心不全	446	20.4	33	105	1
2	I208	労作性狭心症	264	4	9.5	22	2
3	J690	誤嚥性肺炎	248	25.6	33	100	1
4	U071	新型コロナウイルス感染症	198	13.7	20.5	64	2
5	I480	発作性心房細動	196	4.6	10	29	2
6	I633	血栓性脳梗塞	162	17	21	71	3
7	Z122	肺生検入院	156	2.1	2.5	10	1
8	N185	慢性腎臓病, ステージ5	154	15	22	98	1
9	I481	持続性心房細動	147	5	9.5	60	2
10	Z136	心臓カテーテル検査入院	135	2.8	2.5	3	2

### <小児科>

順位	コード	病名	総数	平均在院 日数	在院日数 中央値	最高在院 日数	最低在院 日数
1	Z130	食物負荷試験	43	1	1	1	1
2	R560	熱性けいれん	33	3.9	5	8	2
3	M303	川崎病	22	9.3	9.5	14	4
4	P071b	低出産体重(児)のうち、出産体重1500グラム - 2499グラムの児	21	9.4	12	22	7
	J450	小児気管支喘息	21	5.5	6	9	4
5	Z016	MRI検査入院	19	1.1	1.5	2	1
6	N390	尿路感染症、その他	17	6.2	6	8	3
7	Z134	成長ホルモン負荷試験	16	2.9	2.5	3	2
8	J039	急性扁桃炎、その他	15	4.7	5	7	3
9	J029	急性咽頭炎、その他	13	4.2	4	6	2
10	J209	急性気管支炎、その他	12	4.4	5	7	3
	T780	食物アレルギー	12	2	2	2	2

### <外科>

順位	コード	病名	総数	平均在院 日数	在院日数 中央値	最高在院 日数	最低在院 日数
1	K409	片側鼠径ヘルニア	141	2.9	4.5	9	2
2	K801	慢性胆のう炎を伴う胆のう結石	110	6.4	8	26	3
3	K358	急性虫垂炎、その他	102	5.5	7	17	3
4	C504	乳房上外側4分の1の悪性新生物	83	8.5	9.5	42	3
5	K913	術後腸閉塞	75	13.9	14	126	3
6	C20	直腸の悪性新生物	59	23.6	18	131	1
7	C162	胃体部の悪性新生物	56	18.3	17.5	80	3
8	K810	急性胆のう炎	43	8.9	9.5	30	2
9	K562	絞扼性イレウス	39	15.4	15	108	6
	K353	限局性腹膜炎を伴う急性虫垂炎	39	9.1	10	26	4
10	C182	上行結腸の悪性新生物	35	18.9	17.5	50	5
	C187	S状結腸の悪性新生物	35	23.4	24.5	84	5



<整形外科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	Z138	脊髄造影検査入院	229	2	2	2	2
2	Z470	術後抜釘入院	123	3.3	6	24	2
3	S7200	閉鎖性大腿骨頸部骨折	115	21	22.5	50	5
4	S7210	閉鎖性転子貫通骨折	102	19.3	22.5	62	2
5	S5250	閉鎖性橈骨遠位端骨折	66	4	4.5	43	2
6	M4806	脊柱管狭窄(症)	50	13.6	15.5	23	6
7	M4712	頸髄症性脊椎症	43	12.1	12.5	25	8
8	G560	手根管症候群	36	2.1	2.5	3	2
9	M170	両側性原発性膝関節症	32	19	19	38	15
10	S4240	閉鎖性上腕骨遠位端骨折	21	3	3.5	5	2

<形成外科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	H024	眼瞼下垂	79	1.7	2	3	1
2	Z421	術後乳房再建	16	7.9	10	16	2
3	S0220	閉鎖性鼻骨骨折	12	2.5	2	3	1
4	C443	顔面の皮膚悪性新生物	9	2.3	2.5	5	1
5	Z420	頭部及び頸部手術後の植皮入院	7	2.9	5	8	2
	L910	肥厚性瘢痕	7	2.4	2	3	1
	H020	眼瞼内反症	7	1.6	2	3	1
	D171	体幹の皮膚及び皮下腫瘍	7	3.3	3	10	2

<脳神経外科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	S0650	外傷性硬膜下出血	104	15.2	21.5	86	1
2	I610	脳内出血、皮質下出血	103	24.4	27.5	86	1
3	Z138	脳血管造影検査入院	24	2.2	2.5	3	2
4	S0660	外傷性くも膜下出血	21	13.7	10.5	47	2
5	I652	頸動脈の閉塞及び狭窄	17	13.4	14	23	10
6	S0620	びまん性脳損傷	14	18.6	19.5	32	4
7	I613	脳幹の脳内出血	13	20.5	20.5	48	4
8	C793	転移性脳腫瘍	11	16.6	14.5	36	3
	I633	血栓性脳梗塞	11	24.5	26.5	42	11
9	S0600	脳振とう症	10	3.4	5	7	2
10	I601	中大脳動脈からのくも膜下出血	9	22.7	20	48	1
	I602	前交通動脈からのくも膜下出血	9	25.3	24	53	3
	I614	小脳の脳内出血	9	23.3	23.5	31	1

<呼吸器外科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	C341	上葉、気管支又は肺の悪性新生物	70	12.5	14	68	6
2	C343	下葉、気管支又は肺の悪性新生物	34	9.6	9.5	23	2
3	J931	自然気胸	31	7.6	8.5	17	4
4	C780	肺の転移性悪性新生物	21	9.4	9.5	16	6
5	C342	中葉、気管支又は肺の悪性新生物	17	9.5	9	41	4



### <心臓血管外科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	I208	労作性狭心症	24	23	22	36	17
2	I060	リウマチ性の大動脈狭窄症	14	24.8	22	63	15
	I200	不安定狭心症	14	30.4	27	56	13
3	I340	僧帽弁閉鎖不全症	11	21.6	18.5	53	13
4	I710	大動脈の解離	10	27.1	21	72	2
5	I209	狭心症3枝病変	7	25.9	24	41	20

### <皮膚科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	L031	四肢の蜂窩織炎	58	12.7	13.5	89	3
2	B029	合併症を伴わない帯状疱疹	15	7.7	7.5	10	5
3	L120	水疱性類天疱瘡	12	31.3	29	69	7
4	B027	播種性帯状疱疹	10	9.2	9	13	6
	A46	丹毒	10	7.1	7.5	9	6
5	B022	帯状疱疹後神経痛	9	7.6	7.5	10	6

### <泌尿器科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	Z125	前立腺生検入院	128	2	2	2	2
2	N201	尿管結石	98	5.7	12	32	3
3	C672	膀胱側壁の悪性新生物	72	10.3	15	51	2
4	C678	膀胱の境界部病巣の悪性新生物	51	10.7	14	39	2
5	C61	前立腺の悪性新生物	35	14.5	13	49	3
6	N10	急性尿細管間質性腎炎	34	15	13	53	2
7	N136	膿腎症	31	15.8	15	46	4
8	N40	前立腺肥大症	28	7	7.5	10	5
9	C64	腎盂を除く腎の悪性新生物	27	11.9	10.5	90	4
10	N132	腎結石性及び尿管結石性閉塞を伴う水腎症	24	4	4.5	10	3

### <産婦人科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	O800	自然頭位分娩	148	7.4	8	12	3
2	C541	子宮内膜の悪性新生物	97	5.8	12	33	1
3	C56	卵巣の悪性新生物	80	8.3	12.5	80	3
4	C539	子宮頸部の悪性新生物	54	10.4	13.5	58	1
5	D259	子宮平滑筋腫、その他	42	6.5	6	9	3
	D27	卵巣の良性新生物	42	6.6	8	16	5
6	O342	既往帝王切開後妊娠	36	8.9	8.5	9	8
7	N813	完全子宮膣脱	34	6.3	6	9	4
8	D069	子宮頸部の良性新生物	33	3.1	4.5	6	3
9	C482	腹膜の悪性新生物	31	5.9	7	29	3
	N840	子宮体部ポリープ	31	3	3	6	1
10	D250	粘膜下子宮平滑筋腫	23	4.4	6.5	11	3

<眼科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	H250	老人性初発白内障	614	2.6	4	21	1
2	H251	老人性核白内障	229	2.5	4.5	12	2
3	H353	黄斑及び後極の変性	38	6.7	7	15	1
4	H330	網膜裂孔を伴う網膜剥離	24	14	14	27	6
5	H258	その他の老人性白内障	22	3.1	3.5	5	2

<耳鼻咽喉科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	J350	慢性扁桃炎	42	7.7	11	16	7
2	C73	甲状腺の悪性新生物	40	9.2	13	36	2
3	E049	線種様甲状腺腫	39	7	7	8	4
4	J36	扁桃周囲膿瘍	35	5.5	5.5	8	3
5	H912	突発性難聴（特発性）	33	8.8	8	14	2
6	D110	耳下腺腫瘍	20	7.4	9	10	7
	G510	ベル<Bell>麻痺	20	9	9.5	12	6
7	H813	末梢性めまい症	17	3.9	5	10	2
8	J351	扁桃肥大	14	7.4	7.5	8	7
9	J328	慢性副鼻腔炎	13	6.7	6	7	4
10	J342	鼻中隔彎曲症	12	6.8	6	7	5
	C12	梨状陥凹の悪性新生物	12	14.6	8.5	70	1
	C321	声門上部の悪性新生物	12	12.2	14.5	23	4

<麻酔科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	B022	帯状疱疹後神経痛	8	4.6	3.5	5	2
	M512	椎間板ヘルニア	8	2.5	3	5	2
2	M4806	脊柱管狭窄症	5	5	5	5	5
3	G500	三叉神経痛	2	2	2	2	2
	M502	頸部椎間板ヘルニア	2	2	2	2	2

<歯科口腔外科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	K073	水平埋伏智歯	533	2.4	2.5	3	2
2	K011	埋伏歯<impacted teeth>	68	2.7	2	3	1
3	K048	歯根のう胞	27	3.3	4	6	2
4	K090	発育性歯原性のう胞	19	5.1	5	11	2
5	K045	慢性根尖性歯周炎	12	5.5	5.5	7	4

## 8. 剖検数

年齢	性別	診療科	主臨床診断名
75	男	内科	封入体筋炎 CO <sub>2</sub> ナルコーシス 誤嚥性肺炎
65	男	内科	Malg リンパ腫の疑い
78	男	内科	急性心筋梗塞
77	男	内科	筋萎縮性側索硬化症
47	男	救急科	急性心筋梗塞の疑い
66	男	内科	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
62	男	内科	来院時心肺停止
69	男	内科	筋萎縮性側索硬化症 CO <sub>2</sub> ナルコーシス
40	女	内科	脳梗塞
71	女	内科	イレウス
58	男	内科	多発性骨髄腫
56	男	内科	間質性肺炎 脳症 肝細胞 Car
80	男	外科	胆管 Car
80	男	泌尿器科	急性腎盂腎炎
76	女	内科	来院時心肺停止
77	男	内科	急性心不全 カテーテル感染症 大動脈弁狭窄症
93	男	内科	右細菌性肺炎
81	男	救急科	来院時心肺停止
70	男	内科	食道 Car 神経内分泌細胞 Car・原発部位不明 特発性血小板減少性紫斑病

## 9. 臨床研究

受託 No	依頼者	研究調査課題	科名	研究責任者名	症例数	期間
2020-ST01	EIZO株式会社	AI (Artificial Intelligence) を導入したマンモグラフィの乳房の構成の判定	外科	丹羽 多恵	当院：100例 (全参加施設 600例)	2020/4/9 ～ 2021/3/31 試験延長
2020-ST02	—	再発・難治性FLT3遺伝子変異陽性急性骨髄性白血病におけるギルテリチニブの有効性とその感受性規定因子に関する研究	血液内科	鏡味 良豊	当院：50例 (全参加施設 5000例)	2020/4/9 ～ 2024/3/31
2020-ST03	—	小児CT検査における最適化に向けた撮影条件の検討	放射線技術科	安藤 仁美	当院：2500例	2020/4/27 ～ 2021/3/31
2020-ST04	—	BPSDにより入院したアルツハイマー型認知症患者の院内死亡リスクの調査	精神科	渡邊周一	全参加施設 500例	2020/5/11 ～ 2022/12/31
2020-ST05	名古屋大学医学部附属病院整形外科	脊椎疾患（頸椎胸椎後縦靭帯骨化症・黄色靭帯骨化症・脊柱変形・腫瘍）の治療法を検証する前向き多施設調査	整形外科	辻 太一	当院：全例	2020/5/25 ～ 2023/2/28
2020-ST06	日本消化器内視鏡学会	消化器内視鏡に関連する疾患、治療手技データベース構築	消化器内科	都築 智之		2020/6/8 ～ 2024/12/31
2020-ST07	—	末梢血幹細胞移植患者における体重減少のリスク因子の検討	薬剤部	桜井美咲子	調査期間に該当する患者全例を対象	2020/6/1 ～ 2021/3/31
2020-ST08	—	当院における亜鉛製剤内服患者の血中亜鉛濃度の測定状況に関する調査	薬剤部	吉川 真美		2020/6/22 ～ 2021/2/28
2020-ST09	名古屋大学医学部附属病院	入院を要する市中肺炎、院内肺炎、人工呼吸器関連肺炎患者に対する臨床観察研究	呼吸器内科	谷川 吉政	当院：全例 (全参加施設 1500例)	2020/7/27 ～ 2025/3/31
2020-ST10	名古屋大学大学院医学系研究科循環器内科学	冠動脈バイパス術後患者に対する冠動脈インターベンションとその予後に関する観察研究	循環器内科	大橋 大器	全参加施設 900例	2020/8/3 ～ 2021/12/29
2020-ST11	人間環境大学	集中治療後症候群（Post Intensive Care Syndrome: PICS）アセスメントツールの実用可能性の検証	看護師	富川由佳里	当院：20例	2020/8/3 ～ 2020/12/31
2020-ST12	—	ノットフリー縫合糸を用いた胸腔ドレーン閉鎖法	呼吸器外科	今村 由人	当院：全例	2020/8/6～ 2021/6/30 →2022/5/31



受託 No	依頼者	研究調査課題	科名	研究 責任者名	症例数	期間
2020 ST13	名古屋大学医学 部附属病院 消 化器内科	消化器内視鏡及び腹部超音 波に対する人工知能を用い た画像診断システムの開発 研究	消化器内科	松井 健一	全参加施設 検討項目 ごとに500例	2020/8/6 ～ 2027/12/31
2020 ST14	名古屋大学医学 部附属病院 消 化器内科	高齢者の保健事業と介護予 防の一体的実施推進に係る 検証のための調査（リウマ チフレイル調査）	整形外科	金山 康秀	全参加施設 800例	2020/8/13 ～ 2025/3/31
2020 ST15	主管施設 国立長寿医療セ ンター	多分野合議による間質性肺 炎診断に対する多施設共同 前向き観察研究	呼吸器内科	谷川 吉政	全参加施設 2700例	2020/8/31 ～ 2035/5/31
2020 ST16	日本ベーリン ガー（メビク ス株式会社） 主管施設：名大	原発性自然気胸に対する胸 腔鏡下ブラ切除後の再発リ スク低下に最も有効な追加 手技に関する研究	呼吸器外科	岡阪 敏樹	当院：30 （全参加施設 450例）	2020/9/14 ～ 2026/8/31
2020 ST17	主管施設：名大 呼吸器外科	消化器疾患にて入院中の患 者に対する腹部ポータブル エコーの有用性に関する検 討	消化器内科	都築 智之	当院：300例	2020/9/14 ～ 2023/8/31
2020 ST18		全腹腔鏡下子宮全摘術にお ける子宮回収方法の検討 ～経腔分娩歴の有無に着目 して～	産婦人科	安井 裕子	当院：500例	2020/9/14 ～ 2020/10/31
2020 ST19		Clostridium difficile（CDI） 発症のリスクファクターに 関する後ろ向き調査研究	消化器内科	安田 司	当院：300例	2020/10/26 ～ 2020/12/31
2020 ST20		当院における医原性十二指 腸穿孔、術後吻合部瘻孔に 対するOver-The-Scope Clip の治療成績	消化器内科	安田 司	当院：5例	2020/10/26 ～ 2020/12/31
2020 ST21		被ばく線量ソフトウェアで 用いるボクセルファントム の体格推定 -Size specific dose estimates（SSDE）を 用いて実際の患者被ばくを 推定するために-	放射線技術 科	柴田 英輝	当院：200例	2020/11/16 ～ 2021/6/30
2020 ST22	群馬大学医学部 附属病院 輸血部	妊婦に対する自己血輸血の 現状に関する研究	血液内科	鏡味 良豊	当院：25例 （全参加施設 1000例以上）	2020/11/30 ～ 2022/3/31
2020 ST23		原発性肺癌における外来通 院治療センターでのQOL調 査	呼吸器外科	平松 義規	当院40例	2020/12/7 ～ 2022/5/31
2020 ST24	宮崎大学医学部 附属病院	二次性骨髄線維症の実態調 査	血液内科	鏡味 良豊	当院：20例 （全参加施設 600例）	2020/12/7 ～ 2023/12/31

受託 No	依頼者	研究調査課題	科名	研究責任者名	症例数	期間
2020 ST25		X線CT診断装置における画像処理技術の臨床的有用性向上及びワークフロー向上に関する研究	放射線技術	小澤 功	当院：150例	2020/12/14 ～ 2022/3/31
2020 ST26		高齢者造血器腫瘍患者の治療成績に関する後方視的検討	血液内科	原田 靖彦	当院全例 (全参加施設 100例)	2021/1/14 ～ 2021/12/31
2020 ST27	一般社団法人日本不整脈心電学会	我が国における着用型自動除細動器による治療実態の登録調査 -Japan Wearable Cardioverter Defibrillator Registry (J-WCDR)	循環器内科	金子 鎮二	全参加施設 2500例	2021/1/14 ～ 2026/3/31
2020 ST28	独立行政法人国立病院機構三重病院	小児における肺炎球菌感染症、全国サーベイランス	小児科	梶田 光春	当院全例 (全参加施設 約800例)	2021/1/12 ～ 2023/1/31
2020 ST29	名古屋大学大学院医学系研究科循環器内科学	左室駆出率の保たれた心不全に合併した持続性心房細動における、カテーテルアブレーションの効果の前向き観察研究	循環器内科	金子 鎮二	当院：20～30 例 (全参加施設 100例)	2021/1/25 ～ 2024/12/31
2020 ST30		当院における溶血性連鎖球菌菌血症の臨床的背景の検討	臨床検査技術科	加藤 雄大	当院：300例	2021/2/8 ～ 2026/1/31
2020 ST31	帝京大学医学部内科学講座	疾患レジストリを利用した原発性硬化性胆管炎の病態・自然経過・予後因子の解明	消化器内科	都築 智之	当院：2例 (全参加施設 2300例：症例 数は設けず可 能な限り登録 する)	2021/2/4～ 永年便宜上 一定の研究 期間(5年) を設定
2020 ST32	名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科	慢性肝疾患関連合併症に対する治療効果に関する研究 Investigation for treatment efficacy for liver-related complications in patients with chronic liver disease	消化器内科	都築 智之	当院：150例 名古屋大学： 650例	2021/2/15 ～ 2022/12/31
2020 ST33	名古屋大学医学部附属病院小児科	小児におけるCOVID-19パンデミック後の疫学情報の変化に関する研究	小児科	梶田 光春	当院：全例	2021/2/18 ～ 2023/3/31
2020-ST34		迅速PCR法導入が黄色ブドウ球菌菌血症患者に与えるアウトカムの検討	薬剤部	酒井 幹康	当院：150例	2021/3/8 ～ 2021/12/31
2020-ST35	名古屋大学医学部附属病院整形外科	脊椎疾患における上肢痛・下肢痛に関する薬物療法の多施設前向き臨床研究	整形外科	辻 太一	当院：12例 (名古屋大学 医学部附属病 院100例)	2021/3/8 ～ 2023/3/31

受託 No	依頼者	研究調査課題	科名	研究 責任者名	症例数	期間
2020- ST36	杏林大学医学部 皮膚科	薬剤性過敏症症候群 (DIHS) 診療ガイドライン 作成のための疫学調査	皮膚科	鈴木 伸吾		2021/3/15 ～ 2024/3/31
2020- ST37		レートヒストグラム（心拍 度数分布図）を指標とした 心臓ペースメーカーに関する 観察研究	循環器内科	藤田 雅也	全参加施設 140例	承認後1年 承認日： 2021/5/6
2020- ST38	国立大学法人 大阪大学医学部 附属病院	補助循環用ポンプカテーテ ルに関するレジストリ事業 (J-PVAD)	循環器内科	窪田 龍二	当院：全例 (全参加施設 全例調査)	開始日未定 (施設承認： 2021/3/15) ～ 2022/12/31
2020- ST39	獨協医科大学内 科学（消化器） 講座	消化器内視鏡に関連した偶 発症の全国調査	消化器内科	都築 智之	全参加施設 150,000例	2021/3/15 ～ 2021/12/31





## Ⅱ 部署別業務実績

---



# 1. 放射線技術科

## 1. 令和2年度に実施した重点事項とその成果

### 1. 高額医療機器の更新

→血管撮影装置更新（ハイブリッドOPE室）

### 2. 読影補助（タスクシフトシェア）

→仮想大腸内視鏡（CTC）検査、緊急性が高い所見の読影補助（日当直帯）

### 3. 手術室イメージ操作技師派遣（看護師業務支援）

→整形外科（XLIF、BKP）手術支援

### 4. 臨床実習施設登録

→岐阜医療科学大学学生の実習受入

### 5. CT共同研究の契約

→日立製作所と共同研究開始

## 2. 令和2年度実績

### 1. 放射線技術科取扱件数

	令和2年度	令和元年度	前年度比（%）
一般撮影	116,114	118,844	97.7
X線テレビ	12,264	12,531	97.9
血管撮影	2,877	3,220	89.3
C T	37,852	38,873	97.4
M R I	15,065	15,844	95.1
骨塩定量	1,967	1,969	99.9
R I	2,685	2,735	98.2
放射線治療	6,447	7,008	92.0
合計	195,271	201,024	97.1

### 2. MRI検査件数

	令和2年度	令和元年度	前年度比（%）
内科	4,401	4,607	95.5
心療精神科	48	61	78.7
小児科	144	168	85.7
外科	520	499	104.2
整形外科	2,226	2,196	101.4
脳神経外科	3,348	3,329	100.6
皮膚科	74	72	102.8
泌尿器科	460	558	82.4
産婦人科	542	622	87.1
眼科	53	47	112.8
耳鼻咽喉科	337	389	86.6
放射線科	387	472	82.0
麻酔科	43	44	97.7
歯科口腔外科	74	74	100.0
形成外科	88	97	90.7
心臓外科	89	117	76.1
呼吸器外科	56	47	119.1
健診センター	920	1,206	76.3
救急科	1,255	1,239	101.3
合計	15,065	15,844	95.1

### 3. 血管撮影件数

	令和2年度	令和元年度	前年度比 (%)
内 科	1,911	2,086	91.6
外 科	155	145	106.9
整形外科	21	20	105.0
脳神経外科	81	124	65.3
呼吸器外科	20	20	100.0
産婦人科	2	13	15.3
合 計	2,190	2,408	90.9

### 4. X線CT検査件数

	令和2年度	令和元年度	前年度比 (%)
内 科	13,419	14,316	93.7
心療精神科	7	3	233.3
小 児 科	37	61	60.7
外 科	4,632	4,513	102.6
整形外科	2,005	1,739	115.3
脳神経外科	2,137	1,895	112.8
皮膚科	146	122	119.7
泌尿器科	2,127	2,401	88.6
産婦人科	494	469	105.3
眼 科	24	30	80.0
耳鼻咽喉科	1,319	1,361	96.9
放射線科	671	801	83.8
麻 酔 科	22	14	157.1
歯科口腔外科	627	824	76.1
形成外科	148	104	142.3
心臓外科	363	409	88.8
呼吸器外科	835	743	112.4
健診センター	302	385	78.4
救 急 科	8,537	8,683	98.3
合 計	37,852	38,873	97.4

### 5. アイソトープ検査件数

	令和2年度	令和元年度	前年度比 (%)
脳 血 流	325	383	84.9
甲 状 腺	15	17	88.2
副 甲 状 腺	1	12	8.3
肺 血 流	26	16	162.5
心筋負荷	899	870	103.3
心筋無負荷	233	166	140.4
心 プ ール	0	0	0.0
肝	1	2	50.0
腎	77	9	855.6
副 腎	1	4	25.0
メ ッ ケ ル	3	1	300.0
消 化 管	2	0	-
骨	204	242	84.3
ガ リ ウ ム	9	15	60.0
P E T	734	766	95.8
そ の 他	155	232	66.8
合 計	2,685	2,735	98.2

その他：131全身2件、223Ra注14件、肺血流26件、センチネルリンパ113件

6. 放射線科使用装置の定格（豊田厚生病院）

令和3年4月現在

設置場所	装置（メーカー）		定格（kV、mA）		購入年月
第1撮影室	KX0-50S(DRAD-3000A)	東芝	150/80	320/630	H20.1
第2撮影室	UD150L-40	島津	150/80	320/630	H20.1
第3撮影室	UD150L-40	島津	150/80	320/630	H26.9 H20.1*1
第4撮影室	UD150L-40	島津	150/80	320/630	H26.9
第5撮影室	アミュレット イノバリティ	フジ	49/35	102/200	H28.4
第6撮影室	AutoAZ3000CMR	アサヒ	100	15	H20.1
第7撮影室	UD150L-40	島津	150/80	320/630	H20.1 *2
第8撮影室	Prodigy	GE	76	3	H24.7
救急外来撮影室	UD150L-40	島津	150/80	320/630	H20.1
	AMX-4 Plus	GE	125	(200mAs)	H14.1
泌尿器科撮影室	ウロスコープアクセス	シーメンス	150/81	630/800	H20.1
結石破砕室	Delta II	ドルニエ	110	4	H20.1
第1透視室	Sonialvision Safire	島津	150/80	500/1000	H20.1
第2透視室	KX0-80XM/KX0-80XM/MDX-8000A	東芝	150/100	500/800	H20.1
第3透視室	KX0-80Z/MFX-8000A	東芝	150/100	500/800	H23.3
血管撮影室	アズリオン	Philips	125/720	10/28.8	R03.1
循環器撮影室1	トリニクスB8インチ	島津	125/100	800/1000	R01.8
循環器撮影室2	トリニクスB12インチ	島津	125/100	800/1000	R01.8
第1CT室	SCENARIO VIEW	日立	120/140	140/510	R02.12
第2CT室	SCENARIO	日立	120/140	140/510	H24.10
第3CT室	SCENARIO	日立	120/140	140/510	H24.12
第1MRI室	SKYRA	シーメンス	3.0 テスラ		H28.11
第2MRI室	Area	シーメンス	1.5 テスラ		H30.12
第3MRI室	Achieva R2	フィリップス	1.5 テスラ		H22.8
ガンマカメラ室	Infinia 3	GE横河			H20.1
PET-CT室	Discovery ST Elite	GE横河	140/120	380/440	H20.1
リニアック室	Clinac iX	バリアン	15MeV		H20.1
	OBI	バリアン	125	80/20	H20.1
シミュレータCT室	Light Speed RT	GE横河	140/120	380/440	H20.1
手術室	CiosSelect	シーメンス	110	(200mAs)	R01.8
	WHA-200	島津	110	200/9	H23.5
手術室ポータブル	OECSBrivo Essential	GE	110	20	H25.10
	モバイルアートMUX-100HJ	島津	125	(200mAs)	H20.1
2Fポータブル庫	モバイルアートEvolution	島津	125	(200mAs)	H29.10
3Fポータブル庫	モバイルアートMUX-100HJ	島津	125	(200mAs)	H20.1
4Fポータブル庫	モバイルアートMUX-100HJ	島津	125	(200mAs)	H20.1
感染症棟診察室	IME-100L	東芝	125/80	145/225	H15.3
健診胸部撮影室	KX0-50S(DRAD-3000A)	東芝	150/80	320/630	H20.1
健診マンモ撮影室	マンモマート Inspiration	シーメンス	35/24	134/189	H24.11
健診透視室1 I.I	DBA-2400A(KX0-50XM)	東芝	150/80	320/630	H18.7
健診透視室2 I.I	DBX-6000A(KX0-50XM)	東芝	150/80	320/630	H17.3
健診透視室3 FPD	FLEXAVISION	島津	150/80	320/630	H29.4
歯科口腔外科 X線撮影室	AZ3000	アサヒ	90	12	H11.1
	GX-70	アサヒ	70	10	H11.1

\* 1 : 立位管球H 26.9 臥位管球H 20.1 \* 2 : 第二撮影室から移設

## 2. 臨床検査技術科

### 1. 令和2年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 診療機能への貢献

- ・新型コロナウイルス感染症検査のための救急外来（発熱外来）および病棟患者の検体採取に参画し診療に貢献した。
- ・手術予定患者に対する術前スクリーニングにおいて、年間2,000件を超える検体採取と遺伝子検査を実施した。
- ・新型コロナウイルス遺伝子検査を開始し24時間検査体制を構築した。
- ・院内の監視菌を更新することで、院内でのアウトブレイク対策に貢献した。
- ・好気性菌や検出が稀な細菌の感受性検査に、世界基準であるCLSIに準拠した感受性パネルを導入し、基準に則った感受性報告を可能とした。
- ・CD毒素に対する遺伝子検査を導入し、精度の高い結果報告と感染防御に貢献した。
- ・自己血採血室の開設に向けた取り組みを行い、2021年4月の開設に貢献した。
- ・病理未読レポートについて、既読依頼を各診療科に実施し100%既読とした。

#### 2. 業務改善と効率化

- ・試薬・材料・消耗品および外注項目の価格見直しを継続し、年間約450万円の削減ができた。
- ・液状化細胞診（LBC）を健診と婦人科に導入したことで、細胞診の鏡検時間が短縮し業務の効率化に繋がった。
- ・新型コロナウイルス感染症における感染対策のため安全キャビネットを導入し作業を行うことで、安全で効率的な検査の実施が可能となった。
- ・新型コロナウイルス遺伝子検査に使用する試薬の適正化を図り低コストでの検査体制を構築した。

#### 3. チーム医療および医療安全

- ・健康管理センターにおける土曜日稼働への支援体制を整備した。  
（エコー件数：平均25.3/日、検体件数：平均261.1本/日）
- ・ハイブリットOPE室におけるTAVI実施に向けた経食道エコー件数増加に対し柔軟に対応した。  
（22.6件/月）
- ・術前心エコーの予約を3枠増設し医療提供体制の充実を図った。  
（術前心エコー検査件数：平均76.4件/月）
- ・病理細胞検査における結果報告の未読低減を図った。（疑陽性以上の未読件数0件/月）
- ・インシデントレポート提出を啓発し報告数を1.5倍に増やし医療安全に取り組んだ。  
（令和元年度：163件、令和2年度：254件）

#### 4. 人材育成と施設認証

- ・自己血輸血担当者を2名から5名に増員した。
- ・危機的出血発生時のシミュレーションを36名（3名/月）実施した。
- ・術中脳脊髄モニタリングの件数増加に伴う対応技師を育成した。（術中モニタリング分野の専門技師を3名育成）
- ・がんゲノム医療に関するパネル検査・報告体制を整備した。
- ・自己啓発推進を図り、学会・研修会（WEB開催）にて9演題の発表及び3種6名が認定資格を取得した。＜認定：日本神経生理学会専門技師（術中モニタリング分野）3名、日本リウマチ学会登録ソノグラファー1名、精度管理責任者2名＞

- ・ISO15189臨床検査室認定の更新審査（サーベイランス1）にて認定された。（認定番号：RML02250）
- ・その他 施設認証：精度保証施設認証、日本臨床細胞学会施設認定、I & A 認定施設（輸血）

## 2. 令和2年度実績

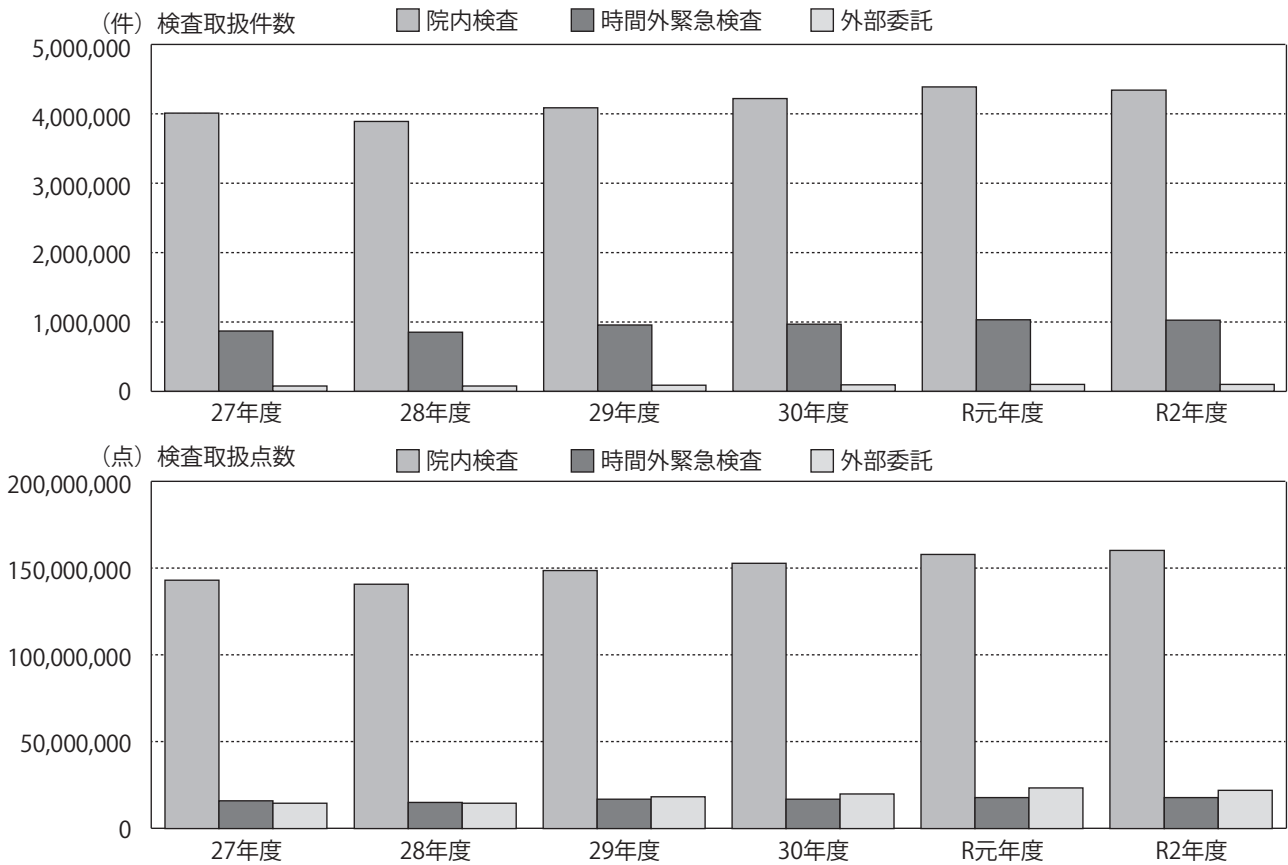
### 1. 整備機器（高額医療機器および固定資産機器）

部署	機器名	機種名	メーカー	数量
輸血検査	超低温フリーザー	MDF-C8V1-PJ	PHC	1
輸血検査	凍結バック自動解凍器	DH8	フタバメディカル	1
輸血検査	自動赤血球沈降速度測定装置	Quick eye8	テクノメディカル	2
生化学免疫	卓上遠心機	ST300T	久保田商事	1
微生物検査	自動遺伝子解析装置	GeneXpert GX-IV	ベックマン・コールター	1
微生物検査	システム顕微鏡	BX53LED BX53F	オリンパス	2
病理細胞検査	凍結切片作製装置	ティシュー・テック ポーラD	サクラファインテック	1
病理細胞検査	システム顕微鏡	BX53LED	オリンパス	1
生理検査	超音波画像診断装置	Xaperio200G	キャノンメディカルシステムズ	2
生理検査	超音波画像診断装置	ARIETTA 850SE	日立製作所	1

### 2. 検査取扱件数・点数

検査大項目	検査小項目	令和2年度件数	令和2年度点数
一般検査	尿	148,469	4,386,146
	便	23,654	969,308
	体液	4,178	83,090
血液検査	血液	459,956	10,399,560
輸血検査	輸血	52,756	2,615,828
臨床化学	化学Ⅰ	2,923,490	35,483,948
	化学Ⅱ	111,955	14,868,242
	血液ガス	32,946	4,579,494
	負荷試験	183	28,800
免疫検査	免疫	274,644	14,047,461
微生物検査	一般細菌	75,244	9,716,817
	核酸検査	4,097	5,165,050
	その他	2,905	0
病理検査	病理組織	11,317	11,126,790
	細胞診	12,491	2,314,646
生理検査	肺機能	14,634	1,432,740
	心電図	51,718	12,633,520
	超音波	37,522	22,465,610
	脳波	3,030	2,286,390
	その他	27,093	2,374,586
その他	採血・検体採取	107,704	3,569,120
	病理解剖	20	500,000
	検査外業務	772	287,430
院内合計		4,380,778	161,334,576
外部委託		94,494	22,097,869
総合計		4,475,272	183,432,445
時間外緊急検査		1,032,710	17,735,232





#### 4. 外注検査依頼状況

S R L		令和2年度
保険収載分	件数	64,867
	点数	15,088,584
薬物濃度	件数	1,134
	点数	532,980
保険未収載	件数	1,320
	支払金額	3,824,008
B M L		令和2年度
保険収載分	件数	19,739
	点数	3,915,285
ファルコ		令和2年度
保険収載分	件数	7,598
	点数	2,570,570

\* 外注の保険収載・薬物分は稼働点数、未収載は支払い金額を計上

#### 5. 加算件数・点数

項目	令和2年度	
	件数	点数
時間外加算	4,372	874,400
入院初回加算	422	8,440
検体管理加算 I	97,113	3,884,520
検体管理加算 IV	1,035	517,500
外来迅速加算	71,524	3,222,160
病理診断料(加算Ⅱ含)	24,325	7,599,030
輸血管理料・適正加算 I	4,796	793,000
骨髓診断加算	212	50,880
国際標準検査管理加算	124,52	498,080
合計	216,251	174,48,010

## 6. 検査判断件数・点数

項目	令和2年度	
	件数	点数
尿	32,809	1,115,506
血液検査	85,071	10,633,875
臨床化学Ⅰ	85,929	12,373,776
臨床化学Ⅱ	29,949	4,312,656
免疫血清	58,310	8,396,640
微生物検査	13,415	2,012,250
遺伝子・染色体	607	60,700
病理細胞検査	1,422	213,300
生理検査	4,511	703,300
合計	312,023	39,822,003

## 7. 外部精度管理調査結果

調査年度	外部精度管理種類	評点
令和2年度	日本医師会	96.5点 D:0
令和2年度	日本臨床衛生検査技師会	A+B:244/244 C:0 D:0
令和2年度	愛知県臨床検査技師会	A+B:181/182 C:3 D:0

## 8. 臨床検査室認証・認定

認証・認定団体	令和2年度
日臨技精度保証施設認証	認証
日本臨床細胞学会施設認定	認定
日本臨床細胞学会教育研修施設認定	認定
日本輸血・細胞治療学会輸血機能評価認定制度認証施設 (I&A)	認定
ISO15189施設認定 (RML02250)	認定

## 9. 学会認定資格者

学会認定資格	令和2年度
超音波検査士	14名
細胞検査士	6名
輸血認定技師	2名
糖尿病療養指導士	1名
第1種衛生管理士	7名
衛生工学衛生管理者	1名
認定臨床化学者	1名
認定血液検査技師	3名
認定心電検査技師	1名
認定病理検査技師	1名
認定一般検査技師	1名
救急検査認定技師	4名
緊急臨床検査士	12名
二級臨床検査士 (病理学)	4名
二級臨床検査士 (微生物学)	4名
二級臨床検査士 (血液学)	3名
二級臨床検査士 (呼吸生理)	1名
血管診療技師	1名
日本神経整理学会専門技師 (術中モニタリング分野)	3名
精度管理責任者	3名
認定サイトメトリー技術者	1名
医用質量分析認定士	2名
分析機器・試薬アナリスト	1名
リウマチ学会登録ソングラフナー	6名
ピンクリボンアドバイザー (初級/中級)	初級2名/中級1名
特化物及び四アルキル鉛等作業主任者	4名
検体採取並びに味覚検査及び嗅覚検査	59名
検査説明・相談ができる臨床検査技師	6名

## 3. リハビリテーション技術科

### 1. 令和2年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 教育活動として、臨床実習生の受け入れの取り組み

- ・リハビリ学生：7校13名
- ・他職種の臨地実習協力：6名

#### 2. 地域の支援活動

- ・介護認定審査会協力 【人数】1名派遣【期間】通年【頻度】2回／1か月
- ・JAあいち豊田広報誌「グリーンボイス」健康の話へ投稿

#### 3. 職員の資質向上

- ・部署内勉強会（全体会：4回／年、職種別勉強会：理学2回／年、言語3回／年、作業5回／年）
- ・他職種勉強会・研修会への講師派遣（院内）2回（院外）1回
- ・学会発表 5題（ST：1題、PT：3題、OT：0題）
- ・臨床実習指導者講習会修了者 PT：0名、OT：1名

#### 4. 診療機能の充実

- ・特定集中治療室早期離床・リハビリテーション加算への参加協力の維持。
- ・脊椎手術、人工股・膝関節置換術の術前評価・指導に対して外来から関わりの継続。
- ・職員の増員（理学療法士2名・作業療法士1名）を図り、リハビリテーション供給の増加。

### 2. 令和2年度実績

#### 1. 部門別件数・単位数

		理学療法		作業療法		言語聴覚療法		
		外来	入院	外来	入院	外来	入院	
個 別 療 法	脳血管疾患等 リハ料	患者数	562	11,178	407	10,580	145	5,296
		単位数	1,099	14,768	757	15,242	289	7,775
	廃用症候群 リハ料	患者数	0	5,102	0	116	0	0
		単位数	0	6,020	0	169	0	0
	運動器リハ料	患者数	1,339	19,391	4,196	2,878	-	-
		単位数	2,476	26,209	7,594	3,833	-	-
	呼吸器リハ料	患者数	3	10,504	0	898	-	3,016
		単位数	5	13,358	0	1,133	-	4,885
	心大血管疾患 リハ料	患者数	539	6,015	0	28	-	-
		単位数	1,075	7,510	0	31	-	-
	がん患者 リハ料	患者数	-	987	-	5	-	8
		単位数	-	1,319	-	5	-	12
	早期加算 (再掲)	患者数	-	42,553	2	11,706	9	7,026
		単位数	-	55,618	4	10,864	18	10,673
退院前訪問リハ指導		-	0	-	0	-	-	
退院時リハビリ指導		-	1,231	-	450	-	24	
リハビリ総合計画評価		317	2,917	374	702	14	86	
摂食機能療法		-	-	-	-	-	1,863	
件数合計		2,443	53,177	4,603	14,505	145	8,320	
単位数合計		4,655	69,184	8,351	20,413	289	12,672	

- ・心肺運動負荷試験 年間9件
- ・精密知覚機能検査 年間27件
- ・義肢装具採寸法・治療装具採型法 年間8件

## 2. 部門別点数

	外来	入院	計
理学療法	1,044,205	18,390,665	19,434,870
作業療法	1,702,765	6,008,230	7,710,995
言語聴覚療法	75,545	3,718,200	3,793,745
合計	2,822,515	28,117,095	30,939,610

## 3. 科別件数

	理学療法		作業療法		言語聴覚療法	
	外来	入院	外来	入院	外来	入院
内科	45	16,478	3	2,720	10	3,103
呼吸器内科		3,514		142		19
循環器内科	173	4,928		26		
脳神経内科	230	4,050	85	4,804	104	2,532
消化器内科		27				
血液内科						
腎臓内科		1				
精神科						
小児科		6				
外科	24	6,963		112		239
整形外科	1,563	9,181	4,444	2,217		226
形成外科		405	47	147		
脳神経外科	4	3,786	17	4,170	12	1,848
呼吸器外科	3	1,057		1		23
心臓外科	366	1,290		51		36
皮膚科		373		22		4
泌尿器科		526		27		11
産婦人科		355		57		21
眼科						
耳鼻咽喉科	35	153		5	1	102
麻酔科						
歯科口腔外科		84	7	4	18	11
合計	2,443	53,177	4,603	14,505	145	8,175

## 4. 臨床工学技術科

令和2年度は「タスクシフト・タスクシェアを念頭に置いた新規業務展開による多職種との連携強化を行い、安全で質の高い臨床支援業務に繋げる。また、組織体制に基づいた業務ローテーションを実施する」を年間目標に診療支援業務におけるタスクシフト・タスクシェアの強化に取り組んだ。対象は血液浄化センターと内視鏡センターで主に看護師業務に的を絞って行った。

### 令和2年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. タスクシェアを基に医療提供体制の充実を図る

- ・血液浄化センターでは外来患者の受け持ち業務を担当し、これまで看護師のみで行っていた受け持ち業務のタスクシフトに貢献できた。同時に配置技士数の増員を図り、平日2→3名体制に加え病院休診日の1→2名体制を導入した。
- ・内視鏡センターでは朝の機械点検から着手し、システム及び内視鏡機器を習熟後、臨床業務に参入した。これまで看護師のみで行っていた患者対応及び医師の補助と機器の操作・管理を開始した。

#### 2. 教育体制の強化

- ・新人教育プログラムを作成し教育体制の充実を図った。定期的なローテーションに教育内容を共有化することで各担当者が進捗状況を確認でき効率的な教育が行えた。

#### 3. 増収に向けた業務運用への取り組み

- ・高気圧酸素療法は、泌尿器科など新たな診療科からの紹介患者を増やすことにより、1,224件と目標の1,200件／年の達成に繋がった。

#### 4. 医療安全強化の充実

- ・ME機器の安全の提供と情報の発信（定期的な情報誌“mechanical information”を5部発行）
- ・インシデント・アクシデント事例を当科内で検討し、その内容に基づいて看護師を対象とした講習会・勉強会の開催を実施。  
新人看護師研修会・医療安全フォーラム特別ブース・集中治療室勉強会（16回／年）・他多数。
- ・医療機器管理体制の見直しと医療機器修理時の迅速な対応に向けファイルメーカーを使用したシステムを導入した。

#### 5. 医療機器の計画的な更新計画及び効率的な稼働への取り組み

- ・人工呼吸器6台・麻酔器2台・多人数用血液透析装置6台・個人用血液透析装置2台・個人用RO装置2台の更新及び増設。計画的かつ適正な更新に加えCovid-19の助成金の一部充てられた。

#### 6. その他

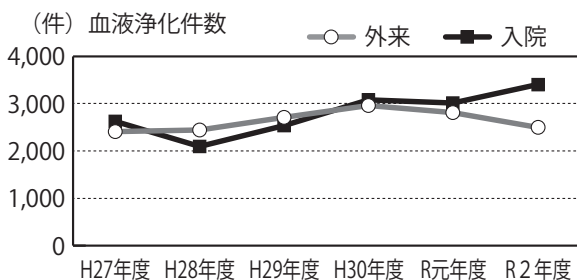
- ・令和2年度はCovid-19に翻弄された1年でもあった。世界中で大流行したウィルスは当院にも多大な影響を及ぼし、感染症病棟だけでは足りず一般病床までもが感染症病床として使用された。臨床工学室も人工呼吸器及び血液浄化などに関わり苦難の連続ではあったが、病院全体が一丸となってCovid-19に立ち向かった記憶に残る年でもあった。

## 2. 令和2年度実績

### 1. 血液浄化

件数

	件数
外来	2,515
入院	3,426
計	5,938
末梢血幹細胞	14
腹水濾過濃縮	33
シャントエコー	891



浄化法別分類

	件数
血液透析 HD	4,125
血液濾過透析 I-HDF	1,665
ECUM	46
血漿交換 PE	6
血液吸着 DHP	14
持続血液浄化療法	72

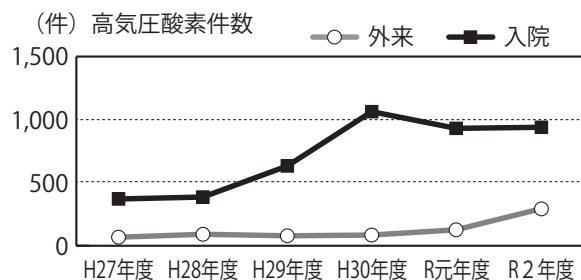
患者動向分類

	件数
新規導入	83
急性浄化	18
他院転入	313
転出	356
死亡 慢性	26
死亡 急性	1

### 2. 高気圧酸素

件数

	件数
外来	284
入院	940
計	1,224



科別分類

	件数
内科	40
外科	252
整形外科	196
耳鼻科	461
口腔外科	16
泌尿器科	143
皮膚科	39
形成外科	61
その他	16
計	1,224

疾患別分類

	件数
突発性難聴	431
急性末梢血管障害	49
骨髄炎	19
一酸化炭素中毒	16
腸閉塞	258
空気塞栓	7
難治性潰瘍	86
放射性膀胱炎	115
脊髄神経疾患	79
放射線壊死	48
抹消循環障害	88
その他	28
計	1,224

### 3. 心臓カテーテル

件数

	件数
緊急症例	352
予定症例	875
計	1,227

### 心カテ分類

	件数
PCI	400
CAG	817
アブレーション	443
3D mapping	443
ペースメーカー交換	27
ICD 新規	3
ICD 交換	5
CRTP 新規	1
CRTP 交換	0
CRTD 新規	3
CRTD 交換	1
体外式ペースメーカー	111
IABP	103
PCPS	14
ペースメーカーチェック	5,241

### 4. 自己血回収術件数

#### 科別分類

	件数
心臓外科	107
血管外科	18
整形外科	149
その他	8
計	282

### 5. 心臓血管外科

#### 緊急・非緊急

	件数
緊急症例	7
予定症例	99
計	106

#### 症例分類

	件数
虚血性心疾患	59
弁膜症	47
大動脈疾患	9
その他	11
計	126

### 6. 脳神経外科・耳鼻科・整形外科 Navigation

#### 科別分類

	件数
脳外科	28
耳鼻科	25
整形外科	160
計	213

### 症例分類

	件数
腫瘍	24
クリッピング	0
FESS	24
頸椎固定	160
その他	5
計	213

### 7. 集中治療補助

#### 件数

	件数
診療支援業務	3,703

#### 分類

	件数
人工呼吸器管理	3,320
血液浄化	232
補助循環管理	82
超音波検査	69
計	3,703

### 8. 機器管理

#### 修理件数

	件数
院内修理	628
委託修理	37
計	665

#### 修理機器分類

	件数
心電図モニター	82
人工呼吸器	16
輸液ポンプ	183
血圧計	70
パルスオキシメーター	53
血液浄化関連装置	74
その他	187
計	665

#### 機器点検件数

	件数
点検件数	44,074

## 5. 栄養科

### 1. 令和2年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 医療提供体制の充実

- ・新型コロナウイルス感染防止に基づく食事提供、栄養食事指導体制の構築
- ・市民公開講座の開催（新型コロナウイルス感染拡大により中止）

#### 2. 医療安全の充実

- ・HACCP制度化に向けた衛生管理の実施
- ・食中毒・感染症発症予防の職員への衛生教育（部署内研修会2回/年）

#### 3. 人材育成

- ・厚生連栄養士会として新人教育プログラム作成に向け栄養管理室教育担当者委員会を開催
- ・部署内勉強会（管理栄養士：8回/年）
- ・学会発表2題（管理栄養士：1題、調理師：1題）
- ・藤田医科大学病院共同研究参加（参加施設9医療機関）  
「生活習慣病を伴う複数疾患を有する高齢者に対する栄養療法支援アプリ作成に関する研究」

#### 4. 地域の支援活動

- ・JA機関紙への投稿
- ・JA料理教室への講師派遣（新型コロナウイルスの感染拡大により中止）

### 2. 令和2年度実績

#### 1. 令和2年度 食事提供数

##### ①患者食

	食数(食)	比率
常食	136,590	31.7%
軟食	67,494	15.6%
流動食	1,034	0.2%
特別食 A	151,045	35.1%
特別食 B	75,140	17.4%
合計	431,303	

##### ②賄食

	食数(食)
職員食	97,703
付添食	0
合計	97,703

#### 2. 令和2年度 疾患別栄養食事指導件数

##### ①個人栄養食事指導

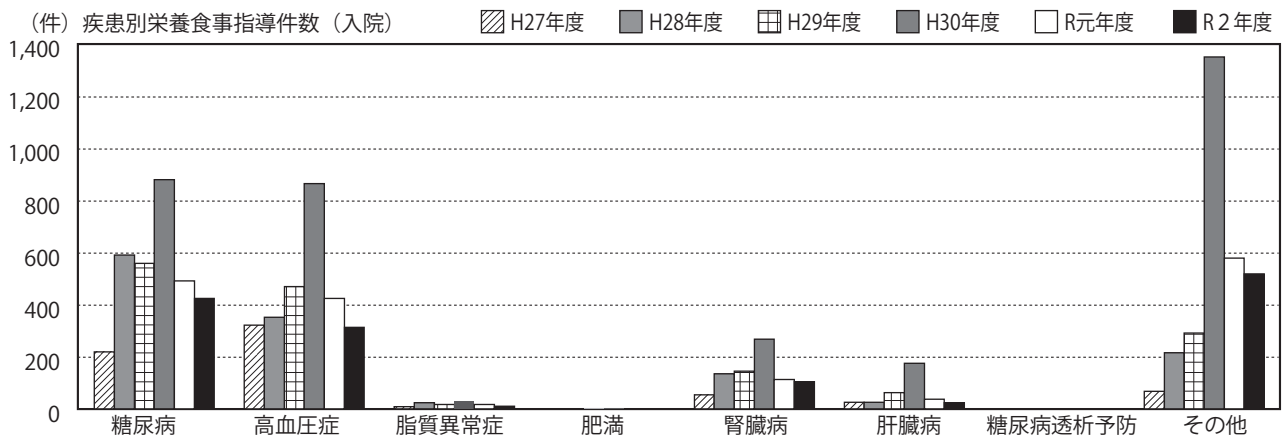
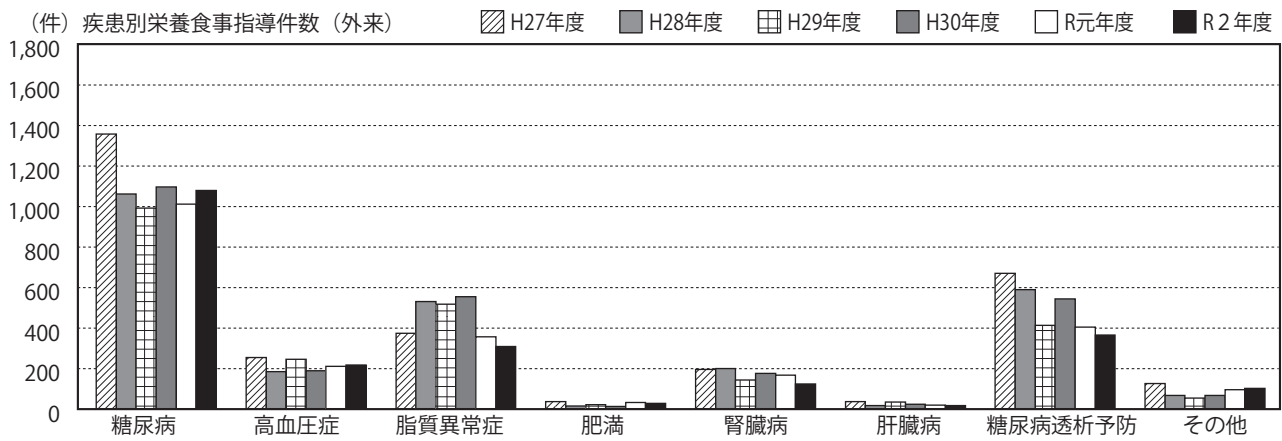
	外来(人)	入院(人)
糖尿病	1,086	454
心臓・高血圧症	218	336
脂質異常症	309	10
肥満	26	0
腎臓病	124	111
肝臓病	15	25
糖尿病透析予防	366	0
その他	102	556
合計	2,246	1,492

##### ②集団栄養食事指導

	(人)
糖尿病	27
腎臓病	0
ワンポイント講座	0
市民講座	0
合計	27

市民公開講座：新型コロナウイルスの感染拡大により中止





### 3. 令和2年度 院外活動

#### ①JAあいち豊田料理教室

毎月4教室2回計8回開催予定が新型コロナウイルスの感染拡大により中止

### 4. 認定資格者

認定資格	令和元年度
NST専門療法士	1名
臨床栄養代謝専門療法士	1名
日本糖尿病療養指導士	5名
病態栄養専門管理栄養士	1名
静脈経腸栄養 (TNTD) 管理栄養士	1名
在宅訪問管理栄養士	2名
在宅栄養専門管理栄養士	1名
給食用特殊料理専門調理師	1名

## 6. 薬剤部

### 1. 令和2年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 診療機能の充実

- ・通院治療センターにおける服薬指導の充実
  - 患者指導件数は1,315件行い、うちがん患者指導管理料は247件算定した。
  - 12月より連携充実加算の算定を開始し、25件算定した。
- ・入退院支援センター業務体制の整備
  - (入退院支援センター全介入患者の持参薬報告書作成、入退院支援センターにおける薬剤師の業務手順の確立)
  - 令和2年度は7月より17番入退院支援センターに薬剤師1名の常駐を開始した。その後17番入退院支援センターの業務拡大、薬剤部の入退院支援業務を統一、持参薬外来開設に向け、入退院支援センター(服用薬)の新設を目標に業務展開を行った。電子カルテ内で情報共有するシステム、患者の案内方法等について各科外来と入退院支援センターと協議し2月より服用薬確認と入退院支援センター整形外科面談を移動、4月には泌尿器科面談を移動、新規に腎臓内科シャント手術を導入した。
- ・抗がん剤投与により発症するB型肝炎対策ガイドラインを順守するためのチェック機能の充実
  - (HBs抗原、HBs抗体、HBc抗体検査、HBV\_DNA定量検査 目標実施率100%)
  - 実施率 HBs抗原：100%、HBs抗体：99.2%、HBc抗体：99.2%
- ・各科で使用する免疫チェックポイント阻害薬投与における検査項目の統一
  - 令和2年5月の化療委員会にて免疫チェックポイント阻害薬の検査セットが承認された。
  - 7月より検査セットの運用を開始した。

#### 2. 治験業務の充実

- ・院内治験コーディネーターを利用した治験受託件数の増加(4件/年)
  - 新型コロナウイルス感染症の流行の影響もあり、治験受託件数は3件に留まった。

#### 3. 医療情報システムの更新に向けた検討

- ・令和3年9月の更新に向けて
  - 令和2年度内にシステム業者(ユヤマ)の選定が終了した。現在は各システムの詳細な設定について話し合いを開始している。

#### 4. Quality Indicator

- ・退院指導実施率(退院指導患者数/入院実患者数)の向上(目標実施率40%)
  - 退院指導実施率は50.7%であった。

#### 5. 病棟薬剤業務の充実および薬物治療管理の推進

- ・PBPM(プロトコルに基づく薬物治療管理)の推進と拡充
  - 新たに代行で実施できる項目を追加した。病棟でのPBPMの件数は令和1年度2,297件に対して令和2年度は3,468件と1,171件(51%)大幅に増加しPBPMが推進された。
- ・病棟薬剤業務における医薬品情報室との連携強化
- ・PMDAへの副作用報告(5件以上/月)
  - 1年間で49件PMDAへ副作用報告を行った。
- ・プレアボイド報告(12件以上/月)
  - 1年間で265件プレアボイド報告を行った。

- ・抗MRSA薬以外のTDM介入例数（3例以上／月）  
→1年間で50件（昨年度比37件増加）の抗MRSA薬以外のTDM介入を行った。
- ・病棟薬剤業務の拡充（持参薬作成業務のサテライト方式への移行等）  
→病棟での持参薬報告書作成件数は令和1年度の1,549件に対して1,649件と100件増加した。入退院支援センターで入院前に持参薬報告書を作成する取り組みを開始し、入院後にスムーズに処方／指示の出せる体制を構築した。
- ・手術室／ICUにおける薬剤師常駐化への準備  
→手術室／ICU担当者の教育を行うとともに、新人教育で他病棟への人員配置を厚くすることで、手術室／ICUへの薬剤師常駐化に備えた。

## 6. 認定・専門資格取得の推進および教育体制の整備

- ・各種専門・認定薬剤師の資格取得への指導・教育  
→各種専門・認定薬剤師資格取得のため、講習会および学会等に参加した。  
日本循環器学会心不全療養指導士 1名合格（全1名）  
日本アンチ・ドーピング機構公認スポーツファーマシスト 1名合格（全1名）
- ・認定実務実習指導薬剤師の育成（実務実習生受け入れ）  
→近隣大学より計7名の実習生を受け入れ、病院での薬剤師業務と関係職種との連携について教育を行った。実習受け入れ病棟を拡充し、学生を指導できる薬剤師の養成に努めた。
- ・モデルコア・カリキュラム改訂後の問題点抽出および実務実習指導内容の見直し  
→学生が経験すべき8大疾患を網羅することが課題となっていたが、実習実施病棟を拡充することにより、代表的な疾患を漏れなく経験させることが可能となった。

## 7. 病院薬剤師連携および薬 - 薬連携の強化

- ・患者情報の提供及び共有化に向けての検討  
→2021年1月より退院時薬剤情報連携加算の算定を開始し、2021年1月から3月までに9件算定した。
- ・地域薬学ケア専門薬剤師研修施設認定取得  
→薬薬連携の更なる強化を見据え、今年度新設された日本医療薬学会・地域薬学ケア研修施設の認定を取得した。加えて、次年度より受け入れる地域薬学ケア専門薬剤師「副領域（がん）」の研修受け入れに向け、学会作成のコアカリキュラムを参考に研修生と協議を重ね、令和3年度の年間研修計画を作成した。

## 8. DPCに向けた取り組み

- ・機能評価係数I 後発医薬品指数の維持（後発医薬品使用割合80%以上）  
→後発医薬品使用割合については令和2年4月で82.1%から令和3年3月で82.0%となっており、後発医薬品使用体制加算2（80%以上）の算定を継続して達成している。
- ・持参薬管理運用の確立（持参薬処方支援、ポリファーマシーへの介入）  
→薬剤総合評価調整加算96件、薬剤調整加算31件を算定し、積極的にポリファーマシーへの介入を行った。

## 9. 供給室（SPD）の管理体制の充実

- ・誤接続防止コネクタに係わる国際規格の国内導入への取り組み  
→既採用品対応品目の確認、検討事項の洗い出しを行った。経腸栄養分野の誤接続防止コネクタの導入について、日本重症心身障害学会等より、重症心身障害児・者の医療的ケアにおいて新規格製品を使用した際に発生する課題が示され、2021年11月の期限が2022年11月へと延期になった。来年度に提起された課題を踏まえてた留意点をしっかりと関係各部署に周知し安全に切り替えを行う。
- ・医薬品の管理強化（規制医薬品、高額医薬品等）

- キュービックスでの運用を確立し、高額冷所医薬品の管理を行った。
- ・医療材料の在庫管理強化（消耗品材料のコスト削減、定数見直し等）
  - 消耗品材料のコスト削減策として手術用キット製品の価格が妥当であるかどうかを他社に見積を取り検証した。結果として、年間で約800万円分のコスト削減につなげることができた。
- ・不動薬品および不動材料の整理及び削除
  - 不動薬品として8品目を採用中止。
    - 手術室で用いる被覆材についても不動在庫を整理し、種類を減らした。また、その他材料についても不動材料の抽出を行い、手術室運営委員会で周知した。
- ・物流システム活用の充実
  - 11月に監査法人のIT統制評価があった。対応として物流システムの個人ID対応（個人でのパスワード変更を含む）を行った。また、妥結価格での棚卸金額評価、非保険適応物品を効率100%にする対応など、数十件のシステム変更を行った。より物流システム活用が簡便になり、業務の効率化につながった。

## 2. 令和2年度実績

薬剤部は医薬品および医療材料の安定供給、適正な在庫管理とともに安全かつ適正に使用するために下記の事項に取り組んだ。

### 1. 医薬品情報提供

従来と同様に、院内医薬品情報誌『DI-Newsくすりの時間』と医薬品情報一元化システム『JUS-DI』の充実に努めた。薬事委員会の事務局業務も行い、審議資料作成から議事進行補助まで鋭意実施している。豊田加茂薬剤師会の窓口も医薬品情報室に移譲され、院外処方協議会の準備／運営に尽力した。医薬品の安定供給に非常に問題のあった1年ではあったが、その影響が最小となるよう、迅速な対応に努めた。

### 2. 病棟業務

ポリファーマシーに介して積極的に介入し、薬剤総合評価調整加算を96件、薬剤調整加算を31件算定することができた。またプレアボイド報告（265件）および副作用報告（49件）と昨年度に続いて積極的に報告を行った。

### 3. 調剤業務

1包化調剤薬の監査をシングルチェックからダブルチェックへ変更し、調剤過誤防止に努めた。

麻薬注射の払い出し時にバーコード認証を導入し調剤過誤防止に努めた。

向精神薬について追跡調査を実施し薬品の適正管理に努めた。

### 4. 持参薬管理および入退院支援

アクセスシステムの導入、情報源持参率の啓蒙、入退院支援センター介入により持参薬報告書作成時間が令和2年度は10.7分／枚であり、令和元年度の11.9分／枚と比較し1.2分／枚短縮できた。患者情報集計にアクセスを用いることで情報がデータ化され、現状の把握ができるようになったため令和3年度は予定入院患者の入院前持参薬報告作成件数を100%とすることを目標に持参薬外来設置を進める準備を進める。

#### ①持参薬報告書作成件数（件数／月）

	令和元年度	令和2年度
予 定 入 院	443	449
緊 急 入 院	512	501
合 計	955	950

② 予定入院の持参薬報告書作成件数と入退院支援センター介入件数の割合（件数）

予定入院患者の持参薬報告書作成件数と同月の入退院報告書作成件数の割合を算出した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
報告書作成件数 (入退院支援)	293	234	325	348	285	296	326	272	292	277	271	321
予定入院患者数	496	374	452	487	459	398	487	394	473	466	414	489
割合	59.1%	62.6%	71.9%	71.5%	62.1%	74.4%	66.9%	69.0%	61.7%	59.4%	65.5%	65.6%

5. 注射調剤

部門システムを利用し調剤・監査の正確性と効率性の向上に努めた。不動在庫の有効利用により経済面での効果向上に努めた。注射薬の個人別セット業務を通して適正な注射薬品の使用推進に努めた。後発薬品が使用できない場合の先発薬品への処方変更や手技・用法の修正等のPBPMに取り組んだ。供給不安定となった薬品に関しては、各部門および卸業者と連携を図り在庫の確保及び代替薬の確保に努めた。

6. 薬品・医療材料の管理

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴う、個人防護具の供給不足に対して、現時点での確保状況を共有フォルダで公開し、毎日更新を行った。卸業者の協力および政府からの供給資材を有効に活用することで、致命的な供給不足を回避することができた。また、3月から新型コロナワクチンの接種が開始された。ワクチンの納入・保管・調製を適切に行い、ほぼ廃棄することなく接種をすすめることができた。

7. 化学療法における業務体制の見直し

治療担当を全日2名体制としたことで、調製指示をスムーズに行うことができ、午後の患者指導依頼にも対応しやすくなった。

8. ICT（感染対策チーム）・AST（抗菌薬適正使用支援チーム）への参加

抗菌薬使用届の集計や病棟薬剤師との情報共有をもとに抗菌薬ラウンドや血液培養ラウンドに参加し抗菌薬適正使用の評価も行った。加えて、感染防止対策加算、感染防止対策地域連携加算の対象となるカンファレンスに参加した。これら定期的に開催されるカンファレンスなどだけでなく、ICT・ASTの一員として感染対策室、微生物検査室等と随時連絡を取り合い院内の感染対策および抗菌薬適正使用に関与した。

9. 治験管理室業務

■GCP、各種倫理指針に則り、適正かつ効率的な治験、臨床研究等の実施に取り組んだ。

<治験>新規受託治験3件

<臨床研究等>新規医学系研究実施審査39件

ヒトゲノム・遺伝子解析研究実施審査3件

特定臨床研究7件

症例報告審査5件

■その他

- ・厚生労働省の臨床研究倫理審査委員会報告システムに当院の治験倫理審査委員会の委員名簿、会議の記録の概要、手順書等を更新した。
- ・がん診療連携拠点病院等の整備に伴い病院ホームページを企画室と連携して作成・更新した。



## 10. 実務実習

長期実務実習 3～4期（各11週間）、計7名の実習生を受け入れ指導にあたった。

	2期 (7/6～9/20)	3期 (10/5～12/20)	4期 (1/12～3/28)
名古屋市立大学			1
名城大学		3	1
愛知学院大学		1	1

## 15. 教育

新型コロナウイルス感染症のため薬剤師勉強会はWebにて1回開催した。

開催月	参加者	講師	対象
2月	55名	がん薬物療法認定薬剤師	院内外薬剤師

## 7. 看護部

### 1. 令和2年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 看護の質向上へ向けた取り組み

##### 1) 信頼される看護サービスの提供

##### (1) 急性期医療に対応できるジェネラリストの育成

##### ① ナーシングスキルの効果的な活用

- ・ 検査手順、医療安全など項目を決め視聴、100%の視聴を確認
- ・ 新人指導時に、指導者もナーシングスキル視聴をしてから指導することを部署で実施

##### ② 院内認定コースの導入

- ・ 膀胱留置カテーテル院内技術認定実施
- ・ 25名受審し、24名合格

##### ③ INARSの仕組みの構築

- ・ 勤務内研修4回、オープンコース4回を開催
- ・ 受講者数は160名。また、インストラクター6名が誕生し計13名となった

##### ④ 実践者を育てる部署内教育の構築

- ・ 教育委員会にて部署の新人教育、ラダー、ナーシングスキル活用について部署毎に毎月、報告、進捗確認
- ・ ラダーレベルⅣを受審していないレベルⅢ保有者は、部署内の後輩育成を行うよう部署のペアの人と同じ患者で振り返り用紙を作成。カンファレンスを実践（70%の実施率）

##### (2) 自己のキャリアプランを作成できる

##### ① 効果的なキャリア面接

- ・ 課長を対象に6月に「個人情報活用の手引き」を使用し「キャリア開発」キャリア面接の進め方について説明
- ・ 課長・係長にてキャリア面接シートに沿って面接を実施
- ・ キャリア開発に前向きなスタッフを全体で32名抽出
- ・ アンケート結果：仕事に対する姿勢や頑張りを感じる関わりは大半ができたと答え、トランジションに陥っているスタッフも発見でき関わりを持つことができた

##### ② 個々のキャリアプランの作成と支援

- ・ 個々のキャリアプランを十分支援できた課長・係長は約半数
- ・ 面接の結果を参考に異動部署を検討することができた

##### ③ 成長を促す計画的な勤務異動

- ・ ラダー研修参加時に「自身がモデルとしたい看護師」を調査し、元来の上司からだけではなく、先輩や同僚、後輩の視点をもとに評価を行い、勤務異動や人事の際の判断材料にできた
- ＜部署異動者のアンケート調査結果より＞
- ・ キャリアシートを基に部署異動できた人数31名
- ・ 部署異動してよかったと答えた人は22名であり、部署異動は希望通りであったと答えた14名のうち13名、希望通りではなかったと答えた15名のうち8名が移動してよかったと答えている
- ・ 部署異動は希望通りではなかったが異動してみると、新しいことが学べる、キャリアアップに繋がるなど前向きな意見が多く聞かれた

#### 2. 労働条件・業務改善に向けた取り組み

##### 2) 働きやすさを実感できる職場環境

##### (1) 病棟日勤業務のスケジュール管理の構築

## ①効率的な情報収集

- ・看護記録委員会にて落ちなく効率よく情報が使いやすい記録にするためのルールを作制
- ・自分たちが使いやすい記録を書くという認識を浸透させるべく取り組んだ

## ②部署の特殊性に合わせた機能別業務の導入

- ・各部署の特徴に合わせて心臓カテーテル検査や治療に関する看護や注射番、人工肛門に関わるケア等、工夫し導入を進めた部署があった

## ③1日のスケジュールの見直し・作成・実施・評価

- ・全部署がスケジュールの見直しを行った（実施率100%）
- ・清潔援助の時間を午後に、昼の休憩時間をケアの必要量に合わせるなど調整ができた

## 1. 令和2年度実績

### 1. 合同就職説明会

日程	名 称	参加人数
7月4日	マイナビ	74人
1月9日	ナース専科 オンライン説明会	99人
2月21日	マイナビ就職セミナーオンデマンド	84人
12月18日	マイナビセミナー撮影	
合 計		257人

### 2. 学内説明会

日程	名称	参加人数
7月31日	豊田地域看護専門学校	40人
12月19日	日本福祉大学（リモート）	20人
12月25日	愛知県立大学（リモート）	20人
2月6日	椋山女学園大学（リモート）	8人
1月13日 ～26日	修文大学CD撮影	不明
合 計		88人

### 3. 就職説明会・施設見学会

日 程	新卒者	既卒者	参加人数
（臨時）5月26日	1人	0人	1人
7月18日	3人	0人	3人
8月1日	7人	0人	7人
（臨時）8月13日	1人	0人	1人
8月22日	5人	1人	6人
1月23日（リモート）	8人	0人	8人
1月30日（リモート）	6人	0人	6人
2月27日（リモート）	15人	0人	15人
3月13日	8人	0人	8人
3月20日	9人	0人	9人
3月23日	8人	0人	8人
合 計	71人	1人	72人



#### 4. インターンシップ

日 程	参加人数
3月・4月	32人
8月（見学交流会）	18人
3月	63人
合 計	113人

#### 5. 学生・実習生受け入れ状況

##### ①中学生体験

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

##### ②高校生体験

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

##### ③看護学生

学校名	日程	人数（延人数）
加茂看護専門学校 1年生	7日間	40人(280)
2年生	32日間	41人(1,312)
3年生	86日間	40人(3,440)
豊田地域看護専門学校 2年生 小児	26日間	15人(390)
内科	36日間	15人(195)
3年生 小児	25日間	28人(700)
内科	40日間	29人(1,160)
日本赤十字豊田看護大学 2年生 基礎	5日間	23人(115)
日本赤十字豊田看護大学 4年生 統合	3日間	4人(12)
日本福祉大学看護学部 3年生 小児	12日間	22人(264)
日本福祉大学看護学部 3年生 母性	25日間	25人(625)
日本赤十字豊田看護学部 訪問看護ステーション	8日間	4人(32)
日本赤十字豊田看護学部 訪問看護ステーション	8日間	4人(32)
人間環境大学 4年生 国際看護	5日間	4名(20)



## 8. 医療安全管理部

### 令和2年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. インシデントレポート集計・分析

インシデントレポート件数は総数5,518件と昨年度より712件増加した。（主に看護部3,979件で422件増加、臨床検査技術科254件で91件増加、地域医療福祉連携部143件で61件増加、臨床研修部は356件で44件増加、栄養科は63件で38件増加）3bレベルは今年度26件で昨年度より11件減少（詳細薬剤3件、治療・処置8件、ドレーン3件、検査3件、療養上の世話9件）。療養上の世話は昨年度より半数減っている。療養上の世話は主に転倒転落によることが多く看護師が関係する。医療安全看護部会が転倒転落の予防対策についての取り組みを継続していることや、各部署で転倒転落のインシデントを分析・対策を検討し情報をフィードバックしていることが結果としてアクシデントを減少させたと考える。

インシデントレポート件数が増えアクシデント報告が減っていることは医療安全文化が醸成されつつあるのではないかと思われる。

#### 2. 医療安全対策地域連携加算ラウンド

新型コロナウイルスを鑑み令和2年度の医療安全対策地域連携加算ラウンドはWeb開催となった。

ラウンドが実施できない為、各施設で取り組んだ対策の内容及び自病院のラウンド結果を報告した。

日時は1月29日（金）15:00～17:00

参加施設は、トヨタ記念病院、豊田西病院、豊田厚生病院

#### 3. M&Mカンファレンス開催

10回/年 開催。各部門から参加していただいた。

造影CT時のアレルギー出現時の対応については、放射線科と救命センターが速やかに検討し「造影剤アレルギーと思われる患者への対応」フローを作成して頂いた。その他患者の苦情等からの振り返りから審査会へ提出する事例もあった。

#### 4. 啓発活動の実施

令和2年度は新型コロナウイルスを鑑み研修方法を変更せざるを得ない状況となった。よって毎年外部講師による講演会を実施していた全体研修は中止となりe-ラーニング方式を導入することになった。また医療事故ワークショップ及び本部主催の医療安全実践者研修も中止となった。そのような中で医療安全フォーラムは各部門で1事例を分析・改善策立案・実践・結果を報告していただき冊子にして配布。発表部署を選択方式にして2年目となり昨年に比べ報告の提出はスムーズであった。今年度は医療安全推進週間に報告した認定看護師・患者相談窓口の取り組みを添付資料とした。医療安全推進週間に参加できなかった方にも伝えることができた。

専任会議ではインシデントレポートから情報を共有しラウンドを実施。その結果を各部門へフィードバックし対策を講じた。主な活動としてフェイスシールドの管理について、各部署の現状を把握し管理方法を統一したことや放射線技術科のCOVID患者対応後の防護服破棄用容器をペダル式に変更しやことなどが挙げられる。

#### 5. 医療事故対応（事例検討会）の実施

9回事例検討を実施

#### 6. 医療事故調査制度にともなう死亡患者の確認

医療事故調査制度の対象事例はなし。

## 7. マニュアルの整備

- 第2章 医療安全管理部に院内事例検討（事例検討 M&Mカンファレンス）の定義を追加
- 第5章 医薬品及び医療機器安全管理に医療放射線安全管理を追加
- 第7章 医療安全対策各部門編 看護部追加修正

## 2. 令和2年度実績

### 1. インシデント報告件数（令和2年度）

所属部署別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
診療部	39	34	39	36	26	24	26	29	23	22	15	30	343
臨床研修部	29	32	35	29	36	40	35	32	18	34	21	15	356
放射線技術科	6	6	7	8	8	4	4	6	7	4	8	4	72
臨床検査技術科	41	21	28	12	23	19	28	23	22	13	8	16	254
リハビリテーション技術科	6	3	8	5	12	2	4	2	0	6	4	0	52
臨床工学技術科	4	2	5	4	0	2	3	2	5	5	1	2	35
栄養科	0	2	0	5	5	4	14	9	5	3	9	7	63
薬剤科	14	9	5	13	10	15	10	11	6	11	4	6	114
看護部	270	365	422	370	369	323	346	320	340	281	262	311	3,979
事務部	9	7	9	5	5	3	2	8	11	7	8	5	79
地域医療福祉連携部	12	7	22	24	12	4	12	10	11	13	8	8	143
保険事業部	2	0	0	4	2	3	2	2	1	1	2	3	22
その他	1	0	0	3	0	0	0	1	0	1	0	0	6
合計	433	488	580	518	508	443	486	455	449	401	350	407	5,518

内容分類別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
薬剤	143	134	164	171	168	143	178	157	158	136	107	149	1,808
輸血	5	2	4	3	7	4	11	0	4	2	3	3	48
治療・処置	56	47	67	56	74	49	54	47	55	36	36	39	616
医療機器等	19	19	13	11	14	16	17	12	14	10	6	19	170
ドレーン・チューブ	31	63	72	41	38	41	42	48	43	43	35	24	521
検査	74	77	89	58	77	71	70	75	51	50	54	50	796
療養上の世話 （転倒転落）	44 (30)	70 (40)	71 (43)	85 (42)	69 (34)	62 (22)	68 (28)	61 (24)	65 (22)	66 (32)	66 (35)	82 (35)	809 (387)
その他	文書・書類	28	26	37	37	20	26	22	22	34	28	17	313
	情報管理	24	40	48	44	28	20	20	22	20	20	21	327
	その他	0	2	1	0	0	1	1	0	0	2	0	7
	意見・クレーム・暴言暴力等	9	8	14	12	13	10	3	11	5	8	6	103
合計	433	488	580	518	508	443	486	455	449	401	350	407	5,518

### 2. M&Mカンファレンス開催件数・参加人数

月・日	参加人数	月・日	参加人数
5月13日	15名	8月26日	17名
5月27日	17名	9月30日	13名
6月10日	13名	10月28日	13名
6月24日	13名	1月27日	15名
7月22日	15名	3月31日	11名



### 3. 教育活動内容

研修企画：実践

4月3日	新入職者研修	10月15日	薬剤部研修
4月9日	看護師新人研修	12月15日	看護部クラーク研修
4月10日	研修医研修	1月12日	看護部ラダーⅢ研修
8月6日	看護部ラダーⅠ研修	1月19日	薬剤部研修
9月3日	看護部ラダーⅡ研修	1月21日	看護補助者研修
10月2日	中途採用職員研修		

全体講演会開催

上半期 全体研修会

研修内容：セーフマスター（インシデントレポート）のe-ラーニングを活用する

医療安全概論 第1章 医療安全とは何か

第2章 エラーを起こす要因

第3章 安全のために何をすべきか

実施期間：令和2年7月1日（水）～令和2年9月30日（水）

研修参加：1,463名/1,469名

医療事故ワークショップ

新型コロナウイルス感染防止を鑑み中止

第11回 医療安全フォーラム

目 標：各部署が自部署事例の分析を行い、対策を見出し、改善に取り組むことが出来る

対 象：全部署

方 法：取り組みは全部署であるが、発表は令和2年度担当部署とする。

取り組み内容は院内掲示板に掲載するとともに冊子を配布する

発表期間：令和3年1月12日（火）～令和3年1月29日（火）冊子配布期間

電子カルテ（掲示板）には令和3年2月12日まで掲載

令和3年2月22日～2月26日 アンケート実施・集計

参 加 者：1,420名/1,455名中 参加率97.6%

※興味をひいた取り組み内容の部署

1位 2A病棟 内服確認方法の確立 356票

2位 外来Cブロック 糖尿病治療関連処方を受け取りを無くすための取り組み 311票

3位 血液浄化センター 透析関連ファイルの見直しと勉強会を行って見えてきたこと 266票

院内パトロール実施

6月19日	時刻確認パトロール
8月21日	リストバンド装着確認パトロール
11月20日	患者確認パトロール

医療安全推進週間（11月22日～11月28日）

全職員の名札に黄色リボンを付け医療安全推進週間の意識付けを行う

目的：「患者の安全を守るための共同行動（PSA）」の一環として、医療機関や医療関係団体等おける取り組みの推進を図り、またこれらの取り組みについて国民の理解や認識を深めていただくことを

目的としている（厚生省ホームページより抜粋）

対象：全患者、全職員

患者向け⇒医事課・患者相談窓口から出展 パネル展示 1階外来通路（医療安全推進週間期間中）

職員向け⇒11月24日、25日、26日 展示

○認定看護師から出展

摂食嚥下認定看護師 普通のごはんは普通じゃない

認知症看護認定看護師 こんな時どうする？せん妄対応

緩和ケア認定看護師 終末期せん妄と行動制限

皮膚排泄ケア認定看護師 注目！こういう時にスキンテアが起こりやすい

○各部署

放射線技術科 R I 検査後の対応について

臨床工学技術科 新しい機械が安全とは限らない

患者相談窓口 知っててね 患者・家族の想い♡

医療安全管理室 改善報告キラリ☆彡

○業者展示（JMS） 経腸栄養関連 新コネクタ製品について

参加者 714名/1,459名中 48.9%

専任者パトロール

12月17日 感染ごみ分別ラウンド

1月15日 フェイスシールド管理の現状調査

掲示物発行：医療安全情報（医療事故情報収集等事業） セーフティニュース、看護部お便り 1回/月

## 9. 感染制御部

### 1. 令和2年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 新型コロナウイルス感染症対応

##### ①感染症病棟・一般病床COVID-19エリアの稼働

前年度2月より新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者の受け入れを開始。感染症病棟で入院対応を行っていたが、7月、第2波の到来に伴い、行政からの要請により一般病床でCOVID-19専用病床を確保し、稼働を開始した。一般病床でCOVID-19エリアを稼働させるにあたり、ゾーニングの徹底、個人防護具の適切な着用、物品の管理などが確実に実施できるよう介入を行った。

##### ②発熱者等対応外来の設置対応

病院独自の取り組みとして救急外来に発熱者等対応外来を設置したが、設置の際のゾーニングの徹底、関係スタッフへの個人防護具の適切な使用、環境の整備など、院内で感染拡大が起きないように取り組んだ。

##### ③感染対策の徹底

COVID-19に関わる職員に対し、手指衛生の徹底や個人防護具の着脱手順などが確実に実践できるよう、手順書などの整備、介入を行った。

##### ④院内感染防止の取り組み

看護部門・診療協同部門・事務部門など、各部門と連携を図り、院内感染が起きないように院内の環境を整備した。

##### ⑤管轄保健所との連携

前年度2月より行政の要請を受け、帰国者接触者外来を設置した。帰国者接触者外来では管轄保健所と連携を図りながら、COVID-19の診療がスムーズにできるよう対応した。また、COVID-19入院患者の状況報告も毎日実施した。

##### ⑥地域医療機関との連携

クラスター発生した介護施設への訪問、感染対策（ゾーニング、個人防護具など）について実践指導介入、支援を行った。

### 2. リンクナース活動の充実

リンクナースの感染対策に関する知識の充足を図るため、昨年度から引き続き勉強会を開催（7月・9月・11月）し、それぞれの部署で伝達講習を実施した。参加率はほぼ100%を達成することができた。また、院内パトロールチーム、標準予防策チーム、血液体液曝露チームに分かれ、グループ活動を展開した。擦式アルコール製剤の消費量調査、手指衛生の直接観察法も継続して実施、前年度より擦式アルコール製剤の消費量は増加した。

看護部新人研修では、リンクナースが中心となって教育活動を展開した。手指衛生の手技、個人防護具の着脱方法、廃棄物の処理方法などを実践指導し、新人看護師が現場に配属された後すぐに感染対策を実践できるような研修内容となった。

## 2. 令和2年度実績

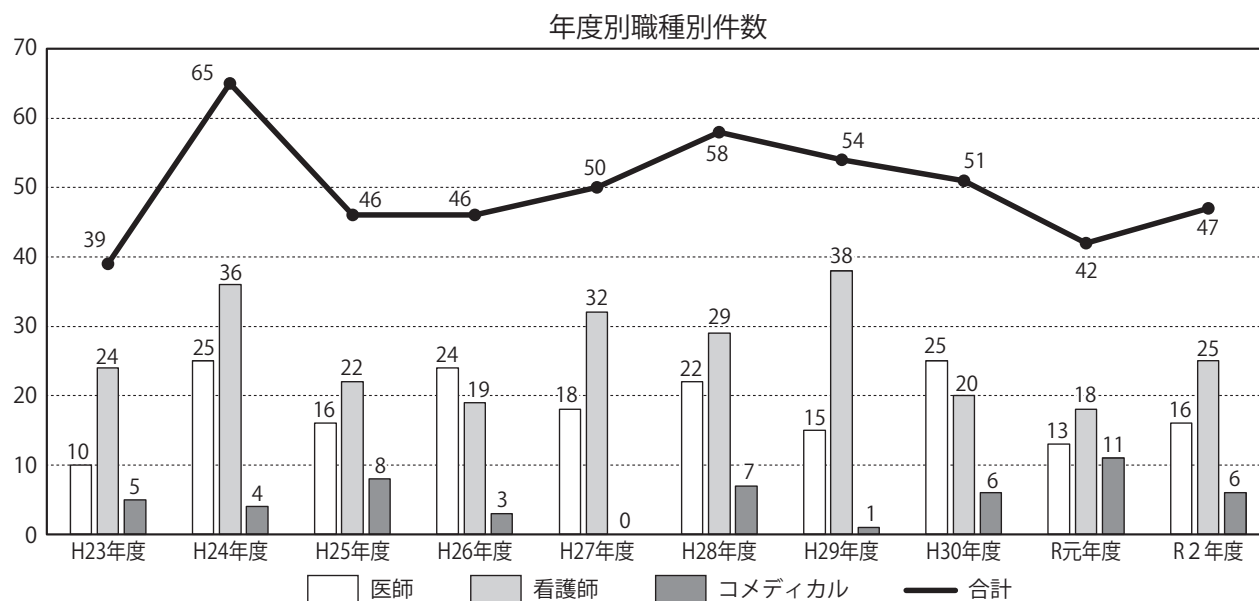
### 1. 教育活動

開催月日	研修会名
令和2年4月3日	新入職員研修（全職種対象）「院内感染対策の実際」
4月8日	新入職員研修（看護師対象）「感染対策の概要」「針刺し、血液・体液曝露防止対策の実施と事故後の対応」他
4月8日	研修医研修「院内感染対策の実際」

4月10日	新人薬剤師研修「無菌調製～感染対策の観点から～」
4月10日	針刺し・粘膜曝露について（研修医対象）
令和2年6月24日	研修医研修「新型コロナウイルス感染症対応のための个人防护具研修」
6月26日	研修医研修「新型コロナウイルス感染症対応のための个人防护具研修」
6月29日	研修医研修「新型コロナウイルス感染症対応のための个人防护具研修」
令和2年7月8日	リンクナース会「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」
令和2年9月9日	リンクナース会「環境整備を考えよう」
令和2年10月1日 ～10日28日	全体講演会（全職員対象） 「新型コロナウイルス感染症」（オンライン開催）
10月2日	中途採用者研修（全職種対象）「院内感染対策の実際」
10月8日	ラダーⅠ研修「標準予防策・感染経路別予防策」
10月20日	クラーク勉強会「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を意識した感染対策」
令和2年11月5日	ラダーⅡ研修「デバイス関連感染・手術部位感染」
11月11日	リンクナース会「職業感染予防」
11月27日	看護助手勉強会「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を意識した感染対策」
令和3年3月8日 ～3月21日	全体講演会（全職員対象） 「コロナ時代を生き抜くために」（オンライン開催）
3月16日	リハビリ勉強会「COVID-19の防護具、手指衛生について」

## 2. 針刺し・切創・粘膜曝露対策

針刺し・切創・粘膜曝露についてのデータ収集を前年度より継続して実施した。令和2年度は、47件/年（100稼働病床あたりの針刺し件数7.6）の事例が発生し、前年度（42件/年）よりやや増加し、全国平均（100稼働病床あたりの針刺し件数6.7）を上回った。針刺し・切創曝露率が高い職種に対し、勉強会を実施し介入した。



## 3. 地域連携

### 《感染防止対策加算Ⅰ・Ⅱカンファレンス》

開催月日	内 容	主 催
令和2年4月22日	今年度の活動と新型コロナウイルス感染症の現状について	トヨタ記念・豊田厚生共同開催（Skype会議）
6月17日	昨年度の感染症の統括と感染対策に関する情報共有～豊田・加茂地区における総括と新型コロナウイルス感染症に関する現状整理～	トヨタ記念病院（Skype会議）

8月26日	新型コロナウイルス感染症COVID-19に関する現状整理	トヨタ記念病院 (Zoom会議)
10月28日	新型コロナウイルス感染症 ・正しい検体採取について ・対応と新病院紹介 (齊藤病院) ・今後の対応について	豊田厚生病院 (Zoom会議)
12月16日	参加施設のICTラウンド活動について COVID-19情報共有	豊田厚生病院 (Zoom会議)
令和3年2月17日	抗菌薬・消毒薬の使用状況報告 耐性菌の検出状況について	トヨタ記念・豊田厚生共同開催 (Zoom会議)

#### ＜感染防止対策加算 I × I ラウンド＞

新型コロナウイルス感染症流行のため、令和2年度は実施なし。

#### 4. ICTニュースの発行 (不定期発行)

開催月日	テ ー マ
令和3年6月	話題の中心！新型コロナウイルス感染症

#### 5. ICTラウンド (毎週金曜日)

毎回テーマを絞って、病棟・外来系のラウンドを実施。

- 4月…環境整備 (ミキシング台の環境、滅菌物の管理等)
- 5月…環境整備 (ゴミの分別：施設課合同ラウンド、ゾーニング)
- 6月…手指衛生 (アルコール手指衛生)
- 7月…手指衛生 (流水と石けんでの手洗い)
- 8月…个人防护具 (防護具着脱手順)
- 9月…手指衛生 (医師・薬剤師のアルコール手指衛生)
- 10月…血流感染 (刺入部の観察、側管注射の手技)
- 11月…デバイス関連感染 (尿道留置カテーテルの管理、吸引時の防護具)
- 12月…環境整備 (滅菌物の管理、ミキシング台の環境)
- 1月…環境整備 (ゴミの分別、ゾーニング)
- 2月…手指衛生 (アルコール手指衛生、流水と石けん手洗い)
- 3月…手指衛生 (医師・看護助手のアルコール手指衛生)

#### 6. 血液培養ラウンド (毎週水曜日) ・抗菌薬ラウンド (毎週木曜日)

##### ・血液培養ラウンド

血液培養陽性：1,089例に介入      うち血流感染：40例

##### ・抗菌薬ラウンド

153症例に介入



## 10. 地域医療連携課（地域医療連携係）

急性期病院として期待される要望事項の把握に努め、地域医療機関との交流を密にし、地域医療連携がスムーズに行えるように受け入れ体制を充実させる。

### 1. 令和2年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 地域医療機関との連携強化

##### ①地域医療機関への表敬訪問の実施（49件）

- ・新たな地域連携パスの運用開始、また、当院独自の「脊椎圧迫骨折術後の骨粗鬆症地域連携パス」「心不全地域連携パス」の運用開始に伴い、副院長、各代表部長と医療機関への訪問を行った。

##### ②連携医療機関の当院広報誌への情報掲載

- ・年間4回4医療機関ごと登録医、連携医合わせ計16医療機関を掲載した。

##### ③6大がん地域連携パス受け入れ医療機関拡大

- ・開業医訪問の際、新規届出および追加届出依頼を行うとともに、届出未医療機関との連携パスを希望する患者が発生した場合、新規届出依頼及びパス説明の訪問を行った。（届出医療機関数147機関→156機関に拡大）

#### 2. 勉強会・交流会の開催等

##### ①地域連携勉強会の開催

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

##### ② 豊田厚生病院地域医療支援病院運営委員会開催

- ・令和2年4月15日（水）（令和2年度第1回）書面開催
- ・令和2年7月15日（水）（令和2年度第2回）書面開催
- ・令和2年10月21日（水）（令和2年度第3回）書面開催
- ・令和3年1月20日（水）（令和2年度第4回）WEBおよび書面開催

##### ③ 令和2年5月16日（土）第24回 豊田厚生地域医療連携交流会開催

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

##### ④ 令和2年10月31日（土）令和元年度 豊田加茂地域医療連携交流会

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

##### ⑤ 令和2年度 豊田加茂医師会・豊田厚生病院合同CPC

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

##### ⑥ 乳腺勉強会

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

### 2. 令和2年度実績（地域医療支援病院運営委員会資料より抜粋）

#### ①登録医数・登録医療機関数（令和2年度末）

	登録医数	登録医療機関数
医 科	268	207
歯 科	166	151
合 計	434	358

## ②紹介関連実績

	地域医療連携係取扱件数	紹介率※
医 科	26,835	75.1%
歯 科	2,404	

※地域医療支援病院紹介率

## ③逆紹介関連実績

	当院文書作成件数	紹介率※
医 科	22,714	95.7%
歯 科	2,192	

※地域医療支援病院逆紹介率

## ④紹介の地域医療連携課経由の有無

連 携 課 経 由	22,945
連 携 課 経 由 外	6,291
延 紹 介 患 者 数	29,236
経 由 割 合	78.5%

## ⑤診察紹介患者の入院実績

診 察 紹 介	26,981
入 院 (再 掲)	6,481
入 院 割 合	24.0%

## ⑥科別紹介関連実績

診 療 科	計	内 訳	
		外 来	入 院
内 科	12,847	9,931	2,916
精 神 科	227	226	1
小 児 科	915	691	224
外 科	2,584	1,987	597
整 形 外 科	2,264	1,658	606
形 成 外 科	608	520	88
脳 神 経 外 科	530	412	118
呼 吸 器 外 科	413	389	24
心 臓 外 科	204	193	11
皮 膚 科	1,027	914	113
泌 尿 器 科	1,142	879	263
産 婦 人 科	883	580	303
眼 科	863	518	345
耳 鼻 咽 喉 科	1,470	1,236	234
放 射 線 科	808	807	1
麻 酔 科	50	43	7
歯 科 口 腔 外 科	2,401	1,771	630
合 計	29,236	22,755	6,481

⑦科別逆紹介関連実績

診療科	計	内 訳		
		紹介元へ	紹介元以外へ	当院患者を紹介
内 科	13,190	9,506	475	3,209
精 神 科	213	59	32	122
小 児 科	304	199	0	105
外 科	2,319	1,963	126	230
整 形 外 科	2,055	26	69	1,719
形 成 外 科	510	355	9	146
脳神経外科	312	111	11	190
呼吸器外科	11	6	1	4
心 臓 外 科	367	298	6	63
皮 膚 科	600	406	27	167
泌 尿 器 科	480	69	9	402
産 婦 人 科	239	69	1	169
眼 科	495	359	33	103
耳鼻咽喉科	713	681	12	20
放 射 線 科	891	883	3	5
麻 酔 科	15	8	0	7
歯科口腔外科	2,192	1,833	3	356
合 計	24,906	17,072	817	7,017

⑧地域別紹介件数

豊 田 市	21,207
みよし市	3,633
二次検診	1,048
そ の 他	3,348
合 計	29,236

⑨インターネット予約システム利用状況

地域医療連携課経由	22,945
インターネット予約（再掲）	6,635
インターネット予約割合	28.9%

## ⑩高度医療機器利用実績

内容	計	内 訳	件 数
放射線関係	1,142	CT	687
		MRI	408
		RI	5
		PET-CT	6
		骨密度	33
		上部消化管透視	0
		下部消化管透視	3
内視鏡・生理検査関係	1,113	上部内視鏡	189
		下部内視鏡	214
		腹部超音波	175
		心臓超音波	233
		甲状腺超音波	58
		頸動脈超音波	37
		その他超音波	18
		脳波	1
		その他	188
合 計			2,255

※その他の超音波は下肢血管

※その他はホルター心電図・トレッドミル・神経伝導検査・肺機能検査など

## ⑪開放病床(25床)利用実績

紹介患者延利用日数	1,992
利 用 率	21.8%

## ⑫共同回診実績

共 同 回 診 数	4
回 診 医 師 数	4

⑬地域連携勉強会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全て中止となった。

## 11. 地域医療連携課（在宅支援コーディネーター係）

### 1. 令和2年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 院内における退院支援体制の質の向上を図る

- 専従看護師4名、専従MSW1名、病棟専任看護師7名を配置
- 病棟専任業務の確立のため、病棟専任会を1回/月開催
- 看護部主催の退院支援担当者会に1回/月参加
  - ・病棟、外来、訪問看護師との退院支援の強化
- 退院支援、退院調整に係る職員にて退院支援部門会議を1回/2月開催
- 介護支援等連携の充実を図る

#### 2. 退院支援における看護師の育成 退院支援の充実

退院支援担当者会に在宅支援コーディネーター係より1名参加

- 5月 「入退院支援の在り方・目指すべき姿について」勉強会を開催年間目標の設定
- 6月 令和2年度の各部署の年間目標について共有
- 7月 「入退院を繰り返す患者の自宅での生活を見直し原因を探る」勉強会
- 8月 各病棟の目標に対する活動報告→外来との連携を強化する
- 9月 退院支援カンファレンスの記録の書き方について」「同行訪問について」「介護支援等連携の勉強会開催について」
- 10月 「HPN導入患者にの指導の在り方について」「日本慢性看護学会の報告・小野田係長」
- 11月 短期入院の患者における退院困難事例の共有 各部署目標の取り組みについてGW
- 12月 各部署目標の取り組みについてGW
- 1月 各部署目標の取り組みの成果まとめ
- 2月 各部署目標の取り組みの成果発表
- 3月 目標評価について（文書開催）

訪問看護への同行訪問は適宜行い、実施翌月に報告を行った。

\*今年度の取り組み内容として、病棟と外来、外来と地域、地域と病棟の連携強化を意識して活動した。

#### 3. 地域の関係機関との連携強化

##### 【豊田市市役所】

- ・訪問看護育成の講師 1回/年
- ・豊田市在宅医療・福祉連携推進会議
  - －在宅療養普及啓発ワーキンググループ 3回/年

##### 【加茂医師会】

- ・豊田加茂在宅連携パスについての運営会議 1回/年

#### 4. 地域クリニカルパス推進

##### 【脳卒中地域連携パス運用会議】年3回開催

- 令和2年8月6日 「2018年度急性期病院実績報告」Web開催
- 令和2年10月8日 脳卒中地域連携パスの運用の見直しと評価（Web開催）
- 令和3年3月18日 「2019年度急性期病院実績報告」Web開催

##### 【大腿骨頸部骨折地域連携パス運用会議】年2回開催

- 令和2年11月5日 「骨密度とフレイルの評価について」 トヨタ記念病院・豊田厚生病院

令和2年3月 「急性期病院実績報告」 紙面開催

## 5. 在宅支援コーディネーターとしての質向上とキャリアアップ

退院調整看護師育成研修 愛知県看護協会	1名参加
「高齢者虐待対応について」 地域包括支援センター勉強会	4名参加
「面接コミュニケーション技術について」 地域包括支援センター勉強会	8名参加
「HPNについて」 勉強会 アルフレッサ	9名参加
「糖尿病治療（CSII）について」 勉強会 訪問看護	2名参加
「介護予防・日常生活支援・総合事業について」「介護保険サービスについて」「介護保険について」「介護支援等について」「施設や病院の種類について」「社会制度・生活保護について」「訪問看護について」「在宅療養に関する指導料について」在宅支援コーディネーター係が講師となり勉強会を開催した。	

## 2. 令和2年度の実績

看護師4名、MSW1名で、新規736件（前年度比103.7%）の退院調整を行った。

疾患分類で見ると悪性新生物が350件で依頼の45.9%を占め、がん患者の在宅療養の調整件数が増えている。

さらに、医療処置を抱え、在宅療養を希望される件数が増え、多職種で在宅移行カンファレンスを開催することで、多機関共同指導加算は38件（前年度比112%）と増えている。

病棟専任看護師7名が、7,716件（前年度比98.4%）の退院支援計画書を作成し、入退院支援加算1の算定に繋がった。

在宅支援コーディネーター係が講師となり、全ての病棟で「介護支援等連携について」の勉強会を開催した。その結果介護支援等連携策定件数が増加した。（R元年172件→R2年193件）

退院支援カンファレンスは病棟専任看護師が中心となり、定期的な開催と必要に応じた臨時開催ができる体制づくりの継続ができています。

### ①退院調整対応件数

	2020年度
新規件数	763件
継続延べ件数	233件
合計	996件

### ②疾患分類

	2020年度
新生物	350件
神経系	71件
循環器系	94件
呼吸器系	70件
消化器系	49件
その他	129件

### ③退院時転帰先

	2020年度
在宅	479件
転院	75件
施設	14件
死亡	73件
合計	641件

### ④退院支援計画書・介護支援連携

	2020年度
入退院支援加算1	7,716件
地域連携診療計画加算	307件
介護支援等連携	193件
多機関共同指導加算	38件

※外来患者の対応件数を除く

### ⑤地域連携パス件数

	2020年度
大腿骨頸部骨折	121件
脳卒中	190件
胃がん	50件
胃がん（ESD）	16件
大腸がん	88件
乳がん	131件
肝臓がん	1件
肺がん	67件
前立腺がん	5件
在宅緩和ケア	26件
認知症	27件
BKP術後骨粗しょう症	16件
心不全	5件
合計	743件

## 12. 医療福祉相談課（兼がん相談支援センター）

令和2年度は、年度途中で2名の産休・育休職員が発生し、人員減の中で現状の業務遂行をどのように対応するのかを模索した1年であった。令和元年度より話し合いを重ね、チームによる業務補完体制を敷いたことで、スタッフ間の協調体制も機能したと考えられる。

対前年比に見る相談件数は実人数で97.3%であったが、総対応件数では102.6%と増加している。新規依頼件数では96.9%とやや減少傾向にある。新規依頼が少ないのはコロナ禍における病院利用者の減少の影響と考えられる。総対応件数が伸びているのは、身寄り無し患者などの患者を取り巻く社会背景が複雑化していることで入院から退院までに支援が必要な事柄が増えている影響と考えられる。

### 1. 令和2年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 後方病院や在宅関係機関との連携強化

- ・院内の地域包括支援センターとの共催でケアマネジャー向けアンケートを行い、退院時連携における疑問や要望事項に対して情報発信をすることで医療機関の退院について理解を求めた。情報発信については在宅支援コーディネーター係も含め、コロナ禍特有の入院から退院までの患者支援の流れを周知した。サービス連絡調整会議を通して200事業所くらいに情報発信を行い、在宅支援者の医療機関に対する理解が深まった。その結果、介護等支援連携指導料の算定数増加などに繋がった。
- ・後方医療機関との定期的な情報交換により、空床状況の把握や転院の障壁となる問題について事前に把握し、あらかじめ対処をすることでスムーズな転院に繋がっている。また、コロナ罹患後の患者の受け入れに関しても、密に情報提供をすることで、年度当初に比べて年度末には一般の転院と同じくらいの期間での転院が進むようになっている。

#### 2. キャリアアップへの取り組み

- ・スタッフ一人一人が目標を立てて、資格取得や知識向上に取り組んでいる。
- ・ケアマネジャー資格試験に2名合格。他に1名が、がん相談専門員の基礎研修Ⅰ・Ⅱの受講を終了している。
- ・両立支援コーディネーターに関しては、令和2年度は応募が間に合わず、次年度以降に取り組む予定となっている。（令和3年4月時点でスタッフ2名が既に取得済）

#### 3. 部署内の体制整備

- ・令和元年度から開始した部内ソーシャルワーカー会と医療福祉相談課会を通して、ソーシャルワーカーを取り巻く課題の整理を行っている。
- ・療養休暇明けのスタッフの職場復帰支援をどのように進めるのか、産休・育休職員の穴埋めをどのように行うかなどを部内ソーシャルワーカー会と医療福祉相談課会でそれぞれ検討し、部内のスタッフの配置変更も行っている。
- ・それらの結果として、療養休暇明けのスタッフも無事に職場復帰を果たし、育休職員分の仕事の補完も出来ている。

#### 4. 地域包括ケアシステム作りへの協力

- ・豊田市成年後見・法福連携推進会議に豊田市における医療ソーシャルワーカーの代表として継続して参加している。当院でも患者支援において成年後見制度の利用申請に繋がる事例が増えてきており、制度活用に至るまでの支援が重要性を増してきている。医療機関から見える制度活用の課題について1年を通じて提言を行っている。また根本的な課題として、成年後見人を対応できる人材の養成があり、市民



後見人の育成を具体化するための話し合いと養成について継続検討している。併せて養成を具体化するための市民後見人養成講座が行われており講師としても協力している。

- ・ 豊田市地域密着型包括支援ネットワーク会議に参加し、今後の豊田市の基盤整備への話し合いに医療機関の代表として提言を行っている。
- ・ 豊田市消防本部主催の「消防と福祉の合同研修」に令和2年度から参加している。救急車の適正利用や頻回搬送事例についての対応について関係者間で協議し、医療機関の立場としてやれること、関係者に期待することなどを情報発信している。
- ・ 令和1年度から豊田市訪問看護師養成センターの稼働が始まり、地域における訪問看護師の要請が始まった。センターへ講師派遣を行うことで、地域の訪問看護師の養成に協力している。

## 5. 両立支援算定への取り組み

- ・ 診療報酬に位置付けられた「治療と仕事の両立支援」について、具体的な取り組みを進めていく予定であった。しかしながら、現場職員不足の状況から、あまり具体的な取り組みが進まず、チラシによる広報までにとどまっている。
- ・ 令和3年度に継続して取り組む予定としており、壁新聞を活用した情報発信や、院内で具体的な体制づくりのための協議を行うことを考えている。

## 2. 令和2年度実績

### 1. 援助内容別対応件数

援助内容	R2年度		R1年度	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
1. 心理・社会的処遇	221	0.9%	306	1.3%
2. 治療と療養生活	523	2.1%	797	3.3%
3. 家族関係・在宅生活	286	1.2%	296	1.2%
4. 受診・入院	450	1.8%	463	1.9%
5. 退院・転院	20,206	82.5%	18,862	79.0%
6. 医療費・生活費・経済	1,093	4.5%	1,272	5.3%
7. 手続き・診断書・保険	1,603	6.5%	1,687	7.1%
8. 職業等社会生活	21	0.1%	28	0.1%
9. その他	86	0.3%	167	0.7%
合計	24,489	100.0%	23,878	100.0%

### 2. がん相談支援センター 援助内容別対応件数

援助内容	R2年度		R1年度	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
1. 治療・療養生活等	2,049	73.9%	2,151	69.3%
2. セカンドオピニオン	11	0.4%	16	0.5%
3. 治療実績・受診・入院・退院・医療機関紹介	452	16.3%	506	16.3%
4. 医療費・生活費・社会保障制度	196	7.1%	257	8.3%
5. 不安・精神的苦痛・告知・コミュニケーション	39	1.4%	78	2.5%
6. その他	27	1.0%	94	3.0%
合計	2,774	100.0%	3,102	100.0%



### 3. 関係機関との会議等への参加状況

豊田市要保護児童・DV対策協議会【書面開催】、愛知県児童虐待対応医療機関連絡会、豊田加茂児童虐待等関係機関連絡調整会議【書面開催】、地域連携パス会議（脳卒中・大腿骨骨折・在宅緩和ケア）、豊田市地域密着型包括支援ネットワーク会議【書面開催】、豊田市成年後見・法福連携推進会議、難病ネットワーク三河ブロック連絡員会議【書面開催】、愛知県難病医療協議会、難病対策協議会（豊田保健所）【書面開催】、保健所・難病医療ネットワーク連携会議、認知症医療連携協議会、豊田市母子医療保健福祉ネットワーク会議、豊田市精神障がい者地域協議会、救急隊と医療・福祉合同研修等

### 4. 地域貢献

- ・愛知県医療通訳派遣システム 講師派遣
- ・名古屋刑務所視察委員会 委員派遣
- ・豊田市成年後見センター市民後見人養成講座 講師派遣
- ・豊田市訪問看護育成センター 講師派遣
- ・愛知県医療ソーシャルワーカー協会西三河北ブロック運営委員長
- ・実習生対応（他職種含む） 等

### 5. 患者会開催状況（事務局を医療福祉相談課が対応しているもの）

- ①オストミー友の会（人工膀胱・人工肛門患者会）— 事務局 医療福祉相談課
  - ・第37回 オストミー友の会
  - コロナウィルスの流行により、開催中止
- ②ひまわり会（在宅酸素療法患者会）— 事務局 医療福祉相談課
  - ・第44回 ひまわり会
  - コロナウィルスの流行により、開催中止



## 13. 豊田厚生訪問看護ステーション

### 1. 令和2年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 豊田市、愛知県の在宅医療・福祉連携推進計画への協力及び参加を通し、ステーションの普及啓発、人材育成、多職種連携の強化の取り組み継続

##### (1) 豊田加茂訪問看護ステーション協議会参加

隔月1回の部会はZoomで開催し、各ステーションの業務活動報告や地域における取組の周知、感染対策時の対応や物資の供給窓口など、情報共有や相談等の協議を実施

##### (2) 豊田加茂訪問看護ステーション協議会主催 「エンゼルケア研修会」

愛知県看護協会主催「施設・在宅領域で発生するハラスメント～正しく認識して対応するために～」  
西三河緩和ケアセミナー「病態に応じたオピオイドの使用方法について～シームレスなオピオイド地域連携を目指して～」

愛知県訪問看護ステーション協議会主催「介護報酬改定研修会」等、愛知県及び豊田市の地域での研修会へ参加

##### (3) 愛知県訪問看護ステーション協議会広報委員会の普及啓発活動

月1回委員会に出席、年2回出版広報誌「りあん」の原案と原稿の作成作業  
愛知県訪問看護ステーション協議会ホームページ「訪問看護とは」更新、ホームページでの普及啓発活動の見直し

### 2. 訪問看護の質向上に向けた取組み

#### (1) 訪問看護における制度や加算の知識向上

訪問看護に必要な制度についての理解として、4つのテーマ（訪問看護のしくみと基礎知識・医療保険での訪問看護・介護保険での訪問看護・ターミナルケア加算とは）を各パートナーで学習会として企画、実施した。訪問看護新規利用者の契約場面はシュミレーション見学の後、全スタッフが契約のロールプレイを体験し、評価を行った。契約説明については、評価者がチェックリストを用いて評価し「できた」「まあまあできた」が90%以上となり目標は達成できた。今後、新規契約時にスタッフが活用できるよう契約時の手引書も完成した。

#### (2) 合同カンファレンスの定期開催

看護ケアの見直しや新規利用者の情報共有や看護計画作成を目的とし実施した。ケアの見直しや新規利用者のカンファレンスは38件/年、在宅看取りの利用者のデスクカンファレンスは19件/日実施した。そのうち在宅支援コーディネーター看護師、緩和ケア認定看護師、訪問看護認定看護師、院内ケアマネジャー、MSW等多職種が参加したカンファレンスは、13件であった。主治医や入院中の病棟看護師、院外薬局薬剤師が参加できたものもあり、多職種と違う立場でサポートの視点について振り返ることができ、有意義なカンファレンスが開催できた。医療倫理の原則での振り返りも実施し、利用者や家族にとって何を大切にしたいかを振り返ることができた。

### 3. 労働条件・業務改善に向けた取組み

#### (1) パートナー制の導入によりOJTの強化及び承認しあえる職場環境作りに取り組んだ。

今年度より、目的や効果についてオリエンテーションを実施し、導入した。スタッフは訪問前後の意見交換や困ったときの相談、看護ケアの検討、アドバイスが今まで以上にできるようになった。受け持ち利用者の書類作成等の応援業務もできた。行動変容の評価実施時に、パートナー同士でアドバイスをしながら実施したところ「承認」意識が高まり、自己効力感が持てる結果を得ることができた。

#### (2) ナーシングスキルを活用し、安全な看護技術を実践できる

全体では、年間11項目の視聴。個人でも新規利用者の医療処置や必要項目の視聴をした。インシデン

トカンファレンス後の確認のため視聴もできた。引き続き安全な看護行為の実施に向けて視聴を継続する必要がある。

インシデントは、その都度部署での報告と注意喚起、カンファレンスでの対策検討と周知、ナーシングスキル視聴による安全対策を実施、強化した。

### (3) 残業対策、時間意識強化の取り組み

2019年度から、業務の見直しと残業対策を可視化しスタッフに意識付けしながら取り組んでいる。今年度は、1日の訪問予定を中心にタイムスケジュールの見直しを行い、朝ホワイトボードへ各自の行動時間を詳細に明記し可視化した。帰院時間が遅れる場合はパートナーが連絡を取り、報告するようにした。その結果、スタッフ全体がアドバイスをを行い、時間を意識しながら訪問計画を実施することができた。残業時間は、1人当たりの月平均が2018年度は11.9時間、2019年度は6.7時間、2020年度6.6時間（緊急訪問含む）と対策開始後はそれまでと比較し、55%減少した。しかし、訪問看護記録が紙カルテ運用であり、記録残業が減らないことに対し対策が必要と考える。

有休取得については、リーダーが訪問計画を調整し、全体に平均的な取得ができ、職務満足度調査が上昇する結果となった。

## 4. 機能強化型訪問看護療養費 I 及びターミナルケア加算の継続取得、その他加算の維持

### (1) 1チーム制導入による訪問件数の確保（1人1日当たり平均訪問件数3.0件維持）

市内の地域でチームを2つに分けて訪問計画を立てていたが、1チームにしてリーダーが統括して毎月の訪問計画を作成した。これにより、導線を考慮しながら柔軟な計画が作成でき、訪問件数が前年度より増加しスタッフ1人1日当たり平均訪問件数は年間平均3.0件/日であった。新規利用者の受け持ち担当数も均等化を図ることができ、スタッフ個々の新規受け入れの負担が軽減した。

### (2) 収益、訪問件数の前年度比100%以上の維持

医療保険対象の利用者数が予算作成時より下回った月がほとんどであったが、介護保険利用者数で全体のバランスは取れた。訪問キャンセルや利用者の入院等で空いた空き枠は、重症者や予防ケアの必要な利用者の訪問に充てた。入院やショートステイでの空き枠は新規の受け入れを断らず利用した。前年度比100%は何とか維持できたが、今年度はスタッフの体調不良やケガ等により、半年程度1名が実稼働できなかった期間があり、その影響をマイナスにすることなく経過した。1チーム制の導入や訪問計画の調整は、リーダーを1人にしたことで柔軟な対応ができた結果と考える。次年度は、実稼働数での訪問実施により訪問件数や収益の増加を目指す。

### (3) ターミナルケア加算20件/年度維持

機能強化型訪問看護療養費 I が取得でき、その維持のためにターミナルケア加算算定数年間20件以上の在宅看取りを目標としている。在宅看取りについては利用者の確保のため、院内外への周知を実施した。院内では9月の内科会で入院中の看取り患者の在宅移行を呼びかける目的で、医師へ訪問看護における在宅看取りと加算の制度について、周知をした。退院支援担当者会では看護師へ同様の周知と、入院中の患者へのACPと在宅移行の働きかけを依頼した。11月には在宅看取り件数が過去最大の5件となった。しかし、看取り直前に入院を希望され、最終的には緩和ケア病棟や一般病棟で無くなる方もいた。

前年度に比べ院内の医療保険利用者の依頼が減少したが、地域のケアマネジャーやクリニックからの依頼もあり、年間19件の在宅看取りが実施できた。目標には1件不足の結果となったが、コロナ感染症における臨時的対応措置として、機能強化型訪問看護療養費 I の変更は見送りとなっている。今後も継続できるように在宅看取りの受入れと利用者満足度の高い看取りケアの対応や質の強化に取り組む。

## 2. 令和2年度実績

1. 訪問看護利用者数は年間でマイナス63人、前年度比96%の減少であったが、延べ訪問件数はプラス86件で、前年度比は101%であった。1人1日当たり平均訪問件数3.0件以上の目標は概ね達成。未達成になった月はスタッフの体調不良による休養のため、実稼働数が減ったことが要因。訪問看護収益でみると

前年度比プラス1,784千円で、前年度比102%であった。今年度は、機能強化型訪問看護療養費Ⅰの申請と継続の目標は達成できた。しかし、がん終末期医療保険対象の利用者が、減少しており、院内外への在宅看取りケースの受入れや、終末期ケアの看護の質の向上は継続が必要である。

介護保険利用者については、コロナ感染症まん延による入院患者減少の影響か、在宅療養中のケースの依頼が多かった。医療保険、介護保険の割合が前年度と比較して差があったが、どちらも受け入れを行い、利用者数、件数増加を目指し対応強化していく。

院内の在宅支援コーディネーターからの紹介数が前年度と比べて約半数になっており、院内の連携強化を行う必要がある。

#### (1) 訪問実績

	利用者数 (延べ人数)	訪問件数 (延べ件数)	訪問看護【収益】 (千円)	ターミナルケア 加算算定数
医療保険	460	2,628	34,713	15
介護保険	1,027	5,380	55,950	4
計	1,487	8,008	90,663	19

#### (2) 新規依頼の紹介元

紹介元		介護	医療	計
院内	在宅支援コーディネーター	12	26	38
	居宅介護支援事業所	4	0	4
	地域包括支援センター	0	1	1
	医療福祉相談課	3	11	14
	医師	0	0	0
	小計	19	38	57
院外	他施設より（他病院・診療所等）	5	5	10
	居宅介護支援事業所	9	6	15
	地域包括支援センター	7	1	8
	小計	21	12	33
合計		40	50	90

#### (3) 自宅にて他界した件数とターミナルケア加算算定割合

	自宅にて他界した件数	自宅他界のうちターミナルケア加算算定件数	%
R2年度	21	18	86%
H31・R1年度	18	16	89%

※ターミナルケア加算算定不可

	件数	理由
R2年度	3	訪問日数不足
H31・R1年度	2	急変

◎自宅にて他界した件数のうち当院在宅支援コーディネーターからの紹介件数

R2年度	15
H31・R1年度	16

#### (4) 学生・実習生受け入れ状況

学校名	人数
加茂看護専門学校	9クール 40名
愛知県立看護大学	3クール 10名
日本赤十字豊田看護大学	2クール 8名

## 14. 居宅介護支援事業所（豊田厚生介護保険センター）

### 1. 令和2年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 医療依存度が高く、急な退院でもケアマネジメントができる

- ・新規がん末期のターミナルケースを優先的に対応
- ・急な退院依頼ケース4件あり、100%対応（急な退院とは退院当日から退院日2日以内とした）
- ・急な退院調整対応した方で、リセット退院目的以外で10日以内に再入院した方は0件であった
- ・要介護認定未の状況が多いため、暫定プランで対応
- ・自部署内で事例を共有し相談する時間を定例化（朝礼時・週1回のケアマネ会議にて新規ケースを情報共有）
- ・合同事例検討会3件開催

#### 2. 居宅介護支援事業所の特定事業所加算ⅢとⅣを継続算定

- ・R1/3/1～R2/2/28までのがん末期ターミナルケアマネジメント加算件数5件（要件は5件以上必要、R2年度算定可能となる）
- ・R2/3/1～R3/2/28までのがん末期ターミナルケアマネジメント加算件数8件（要件は5件以上必要、R3年度は法改正あり、特定事業所医療介護連携加算として算定）
- ・週1回ケアマネ会議を開催し、新規ケースや問題ケースなどの情報を共有
- ・時間外携帯当番を365日対応
- ・運営基準減算に該当しないように適正にケアマネジメント業務を実施
- ・短期間で終了するケースや状態悪化にてプラン発生につながらないケースが多いため、今後も新規ケースの継続対応が必要
- ・特定事業所加算基準の遵守状況に関する所定の記録を毎月末まで作成し、5年間保存
- ・豊田市集団指導・講習会の情報を適宜スタッフと共有

#### 3. 介護支援等連携について、病棟側に働きかける

- ・7/10介護支援等連携について在宅支援コーディネーターと協働で学習会開催
- ・「入院時情報提供」介護保険医療連携用情報提供送信票を院内においても活用し、病棟看護師へ申し送る
- ・当院に入院の場合は、電子カルテ患者プロフィールにも入力できるところを周知し、入力
- ・病棟スタッフへケアマネと病棟で情報共有できた際には、病棟側が介護支援等連携加算（400点）を算定できることを説明
- ・退院許可時には、サービス調整のため数日前には連絡いただくように依頼
- ・病棟スタッフに働きかける前は病棟が介護支援等連携加算算定40%だったが、活動後は82.4%に上昇

#### 4. ケアマネ実務研修実習指導

- ・コロナ感染対策として、R2年度は研修生なし、令和3年度研修希望あり

### 2. 令和2年度実績

#### 1. ケアプラン作成

令和2年度	
件数	収益
1,284	22,743,757

①特定事業所加算Ⅲ（300単位）・特定事業所加算Ⅳ（125単位）算定継続中

②活動実績は、ケアプラン件数は前年度比126%、収益は前年度比124%

- ③急性期病院の中にある居宅介護支援事業所のため、主に医療依存度の高いケースやがん末期のケースが安心して自宅療養できるように受け持ち対応している。医療依存度の高い場合やがん末期ケースの場合、状態変化しやすいケースが多く、急変にて、相談対応は行ってもプランにならないケースが90名、死亡者36名、介護負担などから施設入所など中止（終了）者20名あった
- ④がん末期ケースでターミナルケアマネジメント加算算定件数8件（加算要件として5件以上必要）
- ⑤入院時医療連携加算3日以内67件、7日以内6件算定
- ⑥退院退所加算100回分算定（カンファなし連携1～2回、カンファ有り連携1～3回含む）（加算要件として35件以上必要）

## 2. 要介護別件数

要介護度別	令和2年度
要介護1	425
要介護2	365
要介護3	214
要介護4	148
要介護5	132
計	1,284

## 3. その他

### ①新規・終了など

	令和2年度件数
新規利用契約者	79
中止者（入所等）	20
死亡者	36
利用者（電話相談・訪問対応以外）	1,782
他事業所へのケース紹介（再掲）	0

### ②院外ケアマネから主治医連絡・入院時情報提供書対応件数（地域医療連携課事務担当）

主治医連絡票（平成21年度から対応開始）対応件数	406
介護保険医療連携用情報提供書対応件数	674

### ③要介護認定者の主治医の意見書取り扱い件数

地域医療連携課事務担当、令和3年3月22日から医事課へ業務移行済み

令和2年度	
件数	収益
1,459	6,832,100

### ④医師意見書取り扱い件数

地域医療連携課事務担当、令和3年3月22日から医事課へ業務移行済み

令和1年度	
件数	収益
30	147,4000

## 15. 豊田厚生地域包括支援センター

### 1. 令和2年度に実施した重点事項とその成果

活動目標は3年後を見据えた長期的な活動目標を設定、目標達成に向けての事業計画を立て取り組んでいる。本年度が最終年度であった。

#### 【活動目標】

- ・地域とのつながりが少ない高齢者の実態把握ができ、高齢者が閉じこもらずに出かけられる場所が増えている
- ・認知症になっても、地域の理解と協力により自宅での生活が継続できる地域を目指す
- ・心も身体も健康でいられるように、地域の高齢者の健康づくりに関する意識向上を目指す

#### 1. 地域とのつながりが希薄になりがちで、単身世帯、高齢者のみの世帯、他の地域から呼び寄せられた高齢者の実態を把握し、地域とつながることができるよう働きかける

(重点事項)

- ①ひとり暮らし高齢者の実態把握 目標80件
- ②高齢者世帯の実態把握
- ③高齢者クラブ・ふれあいサロンの訪問による閉じこもりがち高齢者の情報収集
- ④既存のサロン等の周知活動と活性化に向けた支援
- ⑤新規サロン等の新設に向けた支援
- ⑥社会資源ガイドブックの配布と集いの場に参加できるようになった方の情報収集
- ⑦地域課題を明らかにする

(成果) すべて予定通り実施

- ①ひとり暮らし高齢者登録者全件の実態把握を行うことができた。ひまわり活動の訪問の際、介護サービス利用希望者を把握、その後改めて訪問しサービス利用につなげることができた。
- ②自治区長や民生委員より提供していただいた高齢者世帯の実態把握を実施。介護保険サービスや徘徊高齢者の制度利用につながった方がいた。
- ③コロナ禍で高齢者クラブやサロン等の各活動が中止となっていたところもあったが、各活動の代表者に気になる方がいないか聴き取りを行い、支援が必要な方の把握に努めた。
- ④社会資源ガイドブックの活用、チラシの配布による周知活動を実施。自治区のサロンで講話等の依頼を積極的に受けることで活性化に向けた支援を行った。感染症の正しい理解やコロナ禍での心身の健康維持に関する内容を発信し、フレイル予防や閉じこもりを予防するきっかけになった。
- ⑤元民生委員会長より、今後のボランティア活動の展望として、一自治区の一人暮らし登録をしていない一人暮らしの方、閉じこもりがちの方を訪問し傾聴、外に出かけるきっかけづくりをしていきたいとのことで、今後対象となる方の情報提供をしていく予定としている。
- ⑥コロナ禍で活動が停止していたり、外出自粛をしている方がいたため、社会資源ガイドブック配布後の評価をするのが難しかった。配布後の評価は今後も長期的に行っていく。
- ⑦「多職種で自立支援を考える会」では、認知症の社会参加の場としてミライシニアの情報をもらい、その後利用者に情報提供することができた。「地域課題検討委員」では、地域で一人歩き（徘徊）、免許証の自主返納などの課題が多く、警察との連携を強化したいと考え、市へ提案書を提出した。

#### 2. 認知症に対する正しい理解と対応の啓発活動を継続し、地域に見守りの目を増やすことができる

(重点事項)

- ①認知症サポーター養成講座の開催 2自治区

- ②認知症サポーターステップアップ講座の開催 年1回
- ③すべてのささえあいネット登録機関を訪問
- ④まごころフェスタにおいて全世代に認知症に関する啓発、情報発信を実施
- ⑤ケアマネ訪問等による困難事例の聴き取り、助言
- ⑥ケアマネに病院との連携に関するアンケートを実施
- ⑦若年性認知症本人家族会「スマイル」が継続できるよう支援
- ⑧認知症カフェ「SuiCafe」を毎月共催し、認知症に関する啓発、情報発信、相談対応を実施  
(成果)すべて予定通り実施
- ①2自治区で講座を開催し、計43名のサポーターを増やすことができた。この年3年間で5自治区すべてに講座を開催することができた。その他、「認知症にやさしい病院」を目指し、院内での講座を開催し、看護部を中心に200人以上のサポーターを養成し、受講者は名札にロバ隊長のバッチを装着。
- ②認知症サポーターステップアップ講座を民生委員(12名)向けに開催した。講座後には認知症サポーター+(ぷらす)認定証を配布した。
- ③7月、2月にすべてのささえあいネット登録機関を訪問し、気になる高齢者の方がいないか、困っていることはないか聴き取りするとともに、引き続き今後の見守り活動と当センターへの通報の依頼をした。また、認知症についての学びの機会があるか聴き取りを行い、今後に向け認知症サポーター養成講座の案内をした。
- ④コロナの影響により、開催方法が一定期間内の展示のみとなったが、認知症に関する情報発信を行うことができた。
- ⑤当地区内の居宅に対し訪問、電話等で困難事例の聴き取り、助言を行い、ケアマネ支援ができた。
- ⑥医療福祉相談課、在宅支援コーディネーターとともにアンケートを作成し市内の居宅に配布した。退院や介護保険変更申請時の連絡、連絡票の返信についての意見が多く、その後、当院の機能や取り組み状況を全事業所に回答として配布した。
- ⑦緊急事態宣言下では中止としたが、その他は感染対策を講じながら開催を継続した。現在、毎月第4水曜日に開催をしているため、働いている若年性認知症の方が参加できるよう、次年度は休日の開催ができるよう企画。
- ⑧コロナ禍により年間で2回の開催となった。開催できない時期には、SuiCafeレシピや体操などの情報を過去の参加者に発送するなどしてつながりを保つよう心掛けた。開催時には感染対策を行うとともに、3月には会場を変更するなどして開催継続に努めた。

### 3. 将来に向けた心構えについて考えることができ、心も身体も健康に過ごすためにセルフケアに取り組む高齢者の方を増やす

(重点事項)

- ①地域や自治区が取り組むテレビ体操、ラジオ体操への参加勧奨
- ②包括が実施する講座・講演会にラジオ体操を取り入れ、ラジオ体操の浸透と体操や運動の習慣化を目指す
- ③包括が実施する講座・講演会などに「もしバナゲーム」を取り入れ、将来への心構えについて考えるきっかけづくりを行う。
- ④家族介護交流会(介護者のつどい)を年4回開催
- ⑤健康増進に関する講座を企画、開催  
(成果)すべて予定通り実施
- ①コロナの影響で自治区の活動が中止になっていたこともあり、積極的な紹介につながらなかった。
- ②6/11向山自治区認知症サポーター養成講座、6/18介護者のつどいで実施。
- ③6/18介護者のつどいでACPについての説明と「もしバナゲーム」を実施。感染対策としてカードの共有を控え、A4の紙にカードの内容を記載し、参加者が選び話をする、という形式で実施。
- ④コロナの影響で年4回のところ1回のみの実施となった。



- ⑤11/11「新型コロナウイルスについて」、10/26認知症カフェにて「棒づくりと棒体操」、1/28向山自治区のサロンにて「健康寿命・糖尿病の食事と運動について」を企画・開催した。

## 2.令和2年度実績

### 1. 相談に対する対応件数（件） ※ほのぼの（地域包括支援センター支援システム）実績

電話	訪問	来所	その他	合計(件)
4,143	1,022	503	344	6,012

### 2. 介護予防支援実績

件数(件)	収入(円)	前年度比
637	2,884,356	116.4%

### 3. 介護予防ケアマネジメント実績

件数(件)	収入(円)	前年度比
498	2,217,847	131.5%

### 4. 会議・研修等参加実績 合計173回

会議・研修名等(一部)・回数	
民生委員児童委員地区協議会	8回
サービス連絡調整会議	10回
地域包括支援センター連絡会議	5回
ケース検討会議（スクリーニング会議、コア会議含む）	6回
認知症初期集中支援チーム員会議	3回

### 5. 人材育成等計画の実績

事業区分	実施の有無
①センター職員の資質向上のための研修機会の確保	○
②センター職員と法人担当者との業務上の意見交換	○
③包括的支援事業に専念できる環境の整備	○
④3職種確保のための対応策	○
⑤そのほか法人独自の取組（任意）	○

## 16. 健康管理室

### 1. 令和2年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 子宮がん検診の充実

昨年度より婦人科専門医が確保でき充実した子宮がん検診を目指し、今年度はHPV検査を導入しました。HPV検査・子宮細胞診・経膈超音波ともにリスク判定をできるように体制を整えました。今年度のHPV検査数は184件実施する事が出来ました。

#### 2. 病院土曜日休診時の健診業務実施

今年度より厚生連が完全週休二日制となりましたが、土曜日健診のニーズが多く、健康管理部を中心として関係各部署と協議し、第1・第3土曜日健診稼働（胃内視鏡検査・子宮がん検診は中止）を開始しました。4月から6月はコロナウイルスの影響もありましたが、それ以降は健診人数も回復し、今年度の平均で受診者52名 収入1,386千円となりました。

#### 3. 予約電話増設

毎年3月末から6月は、予約電話が殺到し繋がりにくい状況に対する対策として、昨年度より、電話交換手（派遣）を2名から4名に増員して3月末から7月にかけて対応しました。電話交換手（派遣）4名と職員1名で4台の予約電話と来院して予約を取られる方の対応を行いました。その結果、苦情件数もほとんど無くなりました。また、コロナウイルスによる緊急事態宣言による健診が休診したため、この期間の予約変更の対応等にも対応しました。

### 2. 令和2年度の実績

令和2年度の受診者総数は18,466名（職員健診含む）、総収入504,490千円、予算は565,170千円に対して予算対比60,680千円減89.3%と予算を下回った。令和2年度の稼働日は255日で1日当たり平均の受診者数は72.4名（職員健診含む）、また一日当たりの平均収入は1,978千円で、令和2年度の一人当たりの平均単価が27,320円であった。各種健診別の受診者の増加率はドック95.0%、企業健診等87.6%、全国協会健保99.8%、豊田市国保特定健診85.4%、豊田市がん検診84.4%でした。コロナウイルスによる緊急事態宣言により、4/20から5/17まで健診を休診と、コロナウイルス蔓延による健診を控える風潮により特に豊田市住民健診が落ち込みました。

#### 1. 令和元年度のがん検診の精査率

	総受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診数	精検受診率	がん発見数	がん発見率
胃がん	10,219	811	7.9%	542	66.8%	10	0.10%
肺がん	17,002	465	2.7%	278	59.8%	3	0.02%
大腸がん	12,374	813	6.6%	513	63.1%	13	0.11%
前立腺がん	2,235	132	5.9%	69	52.3%	8	0.36%
子宮がん	4,822	691	14.3%	524	75.8%	2	0.04%
乳がん	5,743	219	3.8%	187	85.4%	15	0.26%

※胃がん検診にて、食物残渣多量、描出不良、撮影不可等の理由にて検査未実施者は総数に含まず

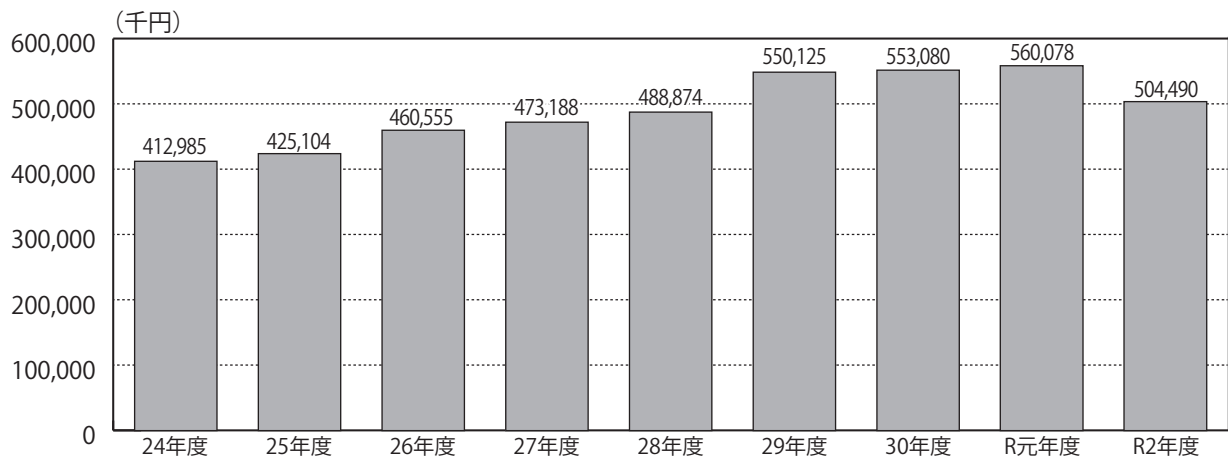
※各精検受診者数については、上記日までに当センターに報告されたもののみとする

※精査率は1年遅れで集計

## 2. 健康管理室利用者数

	令和2年度
人間ドック	3,327
JA組合員人間ドック	53
脳ドック	896
PET検診	91
肺ドック	240
レディースドック	184
甲状腺ドック	59
もの忘れドック	1
豊田市国保特定健診	3,862
特定健診（集合契約A）	526
保健指導（動機付け）協会健保含む	242
保健指導（積極的）協会健保含む	215
全国協会健保 一般	1,805
〃 付加・差額	326
〃 乳・子宮がん	622
〃 肝炎	8
企業健診・身体検査	3,271
被爆健診	77
職員健診	2,678
保健指導（動機付け）	35
保健指導（積極的）	9
豊田市長がん検診 胃がん	3,013
〃 大腸がん	4,197
〃 肺がん	3,309
〃 子宮がん	1,103
〃 乳がん	1,563
〃 前立腺がん	776
〃 肝炎	410
〃 総合健診	297
〃 乳がん検診（無料券）	77
〃 子宮がん検診（無料券）	20
受診者数（職員健診含む）	18,466
収益（円）	504,490,006

## 3. 健康管理室収益推移



## Ⅲ 職員活動

---





# 1. 研究業績

## 呼吸器内科

### 著書・論文

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名
1	ベムプロリズマブ投与によりB型肝炎急性増悪をきたしたHBs抗原陽性肺腺癌の1例	○青山昌弘、林かずみ、二村圭佑、高島浩司、指尾豊和、谷川吉政	「肺癌」60巻 2号p.115-119
2	外科的生検により診断することができた続発性肺悪性リンパ腫	○今村由人、岡坂敏樹、平賀潤二、渡邊裕樹、高島浩司、谷川吉政、平松義規	「胸部外科」73巻 13号
3	High-flow nasal cannula therapy for acute respiratory failure in patients with interstitial pneumonia: a retrospective observational study.	○Omote N, Matsuda N, Hashimoto N, Kishida K, Sakamoto K, Ando A, Nakahara Y, Nishikimi M, Higashi M, Matsui S, Hasegawa Y.	Nagoya J. Med. Sci. 82. 301-313, 2020
4	Serum mitochondrial DNA predicts the risk of acute exacerbation and progression of idiopathic pulmonary fibrosis.	○Sakamoto K, Furukawa T, Yamano Y, Kataoka K, Teramachi R, Walia A, Suzuki A, Inoue M, Nakahara Y, Ryu C, Hashimoto N, Kondoh Y.	Eur Respir J.2021 Jan 21;57 (1):2001346.

### 学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	若年女性に発症したCarney's triadの1例	○谷川吉政、林かずみ、指尾豊和、二村圭佑、青山昌広	第43回日本呼吸器内視鏡学会	2020.4.20
2	Staphylococcus argenteusによる市中肺炎の1例	○二村圭祐、林かずみ、指尾豊和、青山昌広、谷川吉政	第117回日本呼吸器学会東海地方会	2020.5.23
3	当院のCOVID-19症例の検討	○谷川吉政、岩本和馬、林かずみ、二村圭佑、指尾豊和、青山昌広	第29回豊田加茂医学会	2020.7.11
4	肺線維症の病態形成におけるメフリンの役割	○中原義夫、橋本直純、阪本考司、榎本 篤	第60回日本呼吸器学会学術講演会	2020.9.20

## 循環器内科

### 著書・論文

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名
1	バイブレーションアンギオシステムTriniasにおけるAblation検査室構築について	○金子鎮二、村山和宏	Trinias Today
2	Real-World Safety Profile of Atrial Fibrillation Ablation Using a Second-Generation Cryoballoon in Japan: Insight From a Large Multicenter Observational Study	○Shinsuke Miyazaki, Atsushi Kobori, Yasuhiro Sasaki, Koji Miyamoto, Eiji Sato, Koji Hanazawa, Itsuo Morishima, Yasunori Kanzaki, Hirosuke Yamaji, Kazuya Yamao, Yusuke Kondo, Masato Watanuki, Takashi Kaneshiro, Takashi Uchiyama, Kohki Nakamura, Shigeki Hiramatsu, Jun Nakajima, Takanori Arimoto, Shinji Kaneko, Norichika Osai, Takamitsu Takagi, Kenichi Kaseno, Atsushi Takahashi, Shigeto Naito, Yoshio Kobayashi, Hitoshi Hachiya, Kengo Kusano, Tetsuo Yagi, Yoshito Iesaka, Hiroshi Tada	JACC Clin Electrophysiol. 2021 May; 7(5):604-613

## 学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	右冠動脈入口部を含む高度石灰化の tandem lesion に対して、debulking device を使用し二期的に治療を行った一例	○堀 仁美、篠田政典、金子鎮二、窪田龍二、大橋大器、藤田雅也、豊 陽祐、羽賀智明、足立健太郎、伊藤亮太、白井義憲	CVIT第43回東海北陸地方会	2020.10.10
2	全周性高度石灰化病変に対してOCTとDiamond backを用いて治療した1例	○岩田恵補、堀 仁美、伊藤亮太、白井義憲、足立健太郎、羽賀智明、豊 陽祐、藤田雅也、大橋大器、窪田龍二、金子鎮二、篠田政典	CVIT第43回東海北陸地方会	2020.10.10
3	Diamond Back <sup>®</sup> により hematoma を形成した一例	○櫻井礼子、堀 仁美、伊藤亮太、白井義憲、足立健太郎、羽賀智明、豊 陽祐、藤田雅也、大橋大器、窪田龍二、金子鎮二、篠田政典	CVIT第43回東海北陸地方会	2020.10.10
4	OCT-Guided PCI with MLD-MAX	○窪田龍二	CVIT第43回東海北陸地方会	2020.10.10
5	心筋SPECT読影道場1	○窪田龍二	CVIT第43回東海北陸地方会	2020.10.10
6	Multicenter initial experience of novel dynamic mapping software using a highdensity grid mapping catheter	○Liang-Han LING, Takanori Yamaguchi, Koichiro Kumagai, Yasuyuki Takada, Peter Kisler, Jaemin Shim, Shinji Kaneko, Fa-Po Chung, Yasuhiro Sasaki, Caroline Tao, and Yukio Nakano	APHRS 2020	2020.10.30 ~11.1
7	MLD-MAX 2 Pullback	○窪田龍二	近畿心血管治療ジョイントライブ2020	2020.12.18 ~19
8	Fabry 病患者における心筋 TI/BMIPP 2核種シンチグラフィの予後有用性	○羽賀智明、奥村貴裕、磯部 智、山本博志、坪井一哉、室原豊明	第30回 日本心臓核医学会学術大会	2020.12.18 ~19
9	A case of retrieval of a stuck removed chip of orbital atherectomy device	○窪田龍二、伊藤亮太、白井義憲、堀 仁美、羽賀智明、豊 陽祐、藤田雅也、大橋大器、金子鎮二、篠田政典	第29回日本心血管インターベンション治療学会・学術集会 (WEB)	2021.2.18 ~21
10	OCT guided PCI for the diagonal branch with ischemia after single stent treatment for bifurcation lesion: a case report	○羽賀智明、伊藤亮太、白井義憲、堀 仁美、豊 陽祐、藤田雅也、大橋大器、窪田龍二、金子鎮二、篠田政典	第29回日本心血管インターベンション治療学会・学術集会 (WEB)	2021.2.20
11	Left Atrial Appendage Side Left Pulmonary Vein Isolation is Effective for High Mitral Isthmus Block Success Rate	○堀 仁美、金子鎮二、藤田雅也	第85回日本循環器学会学術集会 (WEB)	2021.3.28



## 消化器内科

### 著書・論文

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	Real-World Clinical Application of 12-Week Sofosbuvir/Velpatasvir Treatment for Decompensated Cirrhotic Patients with Genotype 1 and 2: A Prospective, Multicenter Study	Masanori Atsukawa 1, Akihito Tsubota 2, Chisa Kondo 3, Hidenori Toyoda 4, Makoto Nakamuta 5, Koichi Takaguchi 6, Tsunamasa Watanabe 7, Atsushi Hiraoka 8, Haruki Uojima 9, Toru Ishikawa 10, Motoh Iwasa 11, Toshifumi Tada 12, Akito Nozaki 13, Makoto Chuma 13, Shinya Fukunishi 14, Akira Asai 14, Toru Asano 15, Chikara Ogawa 16, Hiroshi Abe 17, Naoki Hotta 18, Toshihide Shima 19, Etsuko Iio 20, Shigeru Mikami 21, Yoshihiko Tachi 22, Shinichi Fujioka 23, Hironao Okubo 24, Noritomo Shimada 25, Joji Tani 26, Isao Hidaka 27, Akio Moriya 28, Kunihiko Tsuji 29, Takehiro Akahane 30, Naoki Yamashita 5, Tomomi Okubo 3, Taeang Arai 3, Kiyoshi Morita 31, Kazuhito Kawata 32 33, Yasuhito Tanaka 20, Takeshi Okanoue 19, Shin Maeda 13, Takashi Kumada 4, Katsuhiko Iwakiri 3, KTK49 Liver Study Group	Infect Dis Ther. 2020 Dec; 9(4):851-866. doi: 10.1007/s40121-020-00329-y. Epub 2020 Sep 8.	2020 Dec Epub 2020 Sep 8.

### 学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	高齢者早期胃癌に対する胃ESDの妥当性と重篤偶発症の検討	○安田 司、豊島 創、松葉朋彦、松井健一、竹内 史、森田 清、高士ひとみ、都築智之	第106回日本消化器病学会総会	2020.8.11 ~31
2	大腸悪性狭窄に対する大腸ステント留置後の化学療法施行症例についての検討	○安田 司、豊島 創、松葉朋彦、松井健一、竹内淳史、森田 清、高士ひとみ、都築智之	第99回日本消化器内視鏡学会総会	2020.9.2
3	当院における胃粘膜下腫瘍に対するLECSの現状	○松井健一、都築智之、森田 清、竹内淳史、高士ひとみ、松葉明彦、豊島 創、安田 司、世古口英、井上昌也	第28回日本消化器関連学会週間 JDDW2020(WEB)	2020.11.5 ~8
4	当院での胃がん検診における食道癌検出の意義	○安田 司、豊島 創、松葉朋彦、松井健一、竹内淳史、森田 清、高士ひとみ、都築智之	第28回日本消化器関連学会週間 JDDW2020(WEB)	2020.11.5 ~8

## 脳神経内科

### 学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	献血により偶発的に診断された無症候性壊死性ミオパチーの1例	○森 悠、赤塚和寛、富田 稔、伊藤瑞規、服部直樹、野田成哉	第157回日本神経学会 東海北陸地方会	2020.6.20
2	ペア血清法により診断した水痘帯状疱疹ウイルス感染症による両側舌咽・迷走神経麻痺の1例	○服部杏子、森 悠、服部直樹、伊藤瑞規、富田 稔、赤塚和寛	第157回日本神経学会 東海北陸地方会	2020.6.20
3	両側眼瞼腫脹、視力低下、外眼筋麻痺を呈したIgG4 関連疾患の1例	○赤塚和寛、森 悠、池田昇平、富田 稔、伊藤瑞規、服部直樹、氏平伸子、成田道彦	第157回日本神経学会 東海北陸地方会	2020.6.20



4	無症候性壊死性ミオパチーの臨床病理的検討	○森 悠、服部直樹、伊藤瑞規、 富田 稔、赤塚和寛	第61回日本神経学会	2020.8.31 ~9.2
5	剖検にて診断された脳結核を主病変とした粟粒結核の1剖検例	○赤塚和寛、服部直樹、氏平伸子、 赤木明生、吉田真理	第61回日本神経病理学会	2020.10.12 ~14
6	呼吸器装着、胃瘻造設を伴わず30年間生存した筋萎縮性側索硬化症の1剖検例	○森 悠、赤塚和寛、富田 稔、 伊藤瑞規、服部直樹、氏平伸子、 成田道彦、吉田真理	第61回日本神経病理学会	2020.10.12 ~14
7	発症初期に陰性ミオクローヌスを呈したMM1+MM2型の孤発型CJDの1例	○武重真里子、池田昇平、富田 稔、 服部直樹、岩崎 靖、吉田真理	第61回日本神経病理学会	2020.10.12 ~14
8	免疫グロブリン療法が著効した視神経脊髄炎2例の臨床検討	○佐藤萌美、森 悠、池田昇平、 富田 稔、服部直樹	第159回日本神経学会 東海北陸地方会	2021.3.13
9	高度痙性対麻痺を呈した橋本脳症の1例	○武重真里子、森 悠、池田昇平、 富田 稔、服部直樹	第159回日本神経学会 東海北陸地方会	2021.3.13
10	構音障害と首下がりを初発としステロイドで初期増悪を呈した高齢発症の重症筋無力症	○伊藤伶花、森 悠、池田昇平、 富田 稔、服部直樹	第159回日本神経学会 東海北陸地方会	2021.3.13
11	両下肢の痛性痙攣と広頸筋収縮を認めた破傷風の1例	○佐橋智博、森 悠、池田昇平、 富田 稔、服部直樹	第159回日本神経学会 東海北陸地方会	2021.3.13
12	初発から27年後に再度劇症型ギラン・バレー症候群を呈した1例	○森 悠、池田昇平、富田 稔、 服部直樹	第159回日本神経学会 東海北陸地方会	2021.3.13
13	当院で経験した水痘帯状疱疹ウイルスによる舌咽、迷走神経障害3例の臨床検討	○池田昇平、森 悠、富田 稔、 服部直樹	第159回日本神経学会 東海北陸地方会	2021.3.13

## 内分泌内科

### 学会発表

	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	下垂体炎により右動眼神経麻痺をきたした1例	○竹中徳子、松尾悠志、加藤大也、 澤井喜邦、伊藤瑞規、梶村益久	第30回臨床内分泌代謝 Update	2020.11.13

## 腎臓内科

### 学会発表

	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	軽鎖沈着症により多臓器不全をきたした1例	○堀 貴洋、石川稜恭、斎藤絢恵、 吉岡智輝、倉田久嗣	第50回日本腎臓学会西 部会	2020.10.16 ~17
2	甲状腺癌に対してチロシンキナーゼ阻害剤 (TKI) を使用中、持続して蛋白尿を来した1例	○櫻井礼子、石川稜恭、斎藤絢恵、 堀 貴洋、吉岡智輝、倉田久嗣	第50回日本腎臓学会西 部会	2020.10.16 ~18
3	当院におけるHDからI-HDFへの切り替えによる臨床データの比較	○天野竜彰、堀 貴洋、吉岡智輝、 倉田久嗣	第65回日本透析医学会 学術集会・総会	2020.11.2
4	当院における抗NMDA受容体脳炎に対して血漿交換を行った症例3例の報告	○堀 貴洋、石川稜恭、斎藤絢恵、 吉岡智輝、倉田久嗣	第65回日本透析医学会 学術集会・総会	2020.11.2

### 会長・司会・座長

No.	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	年月日
1	座長	倉田久嗣	2020年9月 糖尿病と腎臓病の未来を考える in 豊田加茂月10日	2020.9.10



## 血液内科

## 著書・論文

	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名
1	Hyponatremia caused by cyclophosphamide-containing chemotherapy for malignant lymphoma patients: a single-center and retrospective study.	Junji Hiraga, Yasuhiko Harada, Naruko Suzuki, Natsuko Uematsu, Yoshitoyo Kagami.	Clinical Research in Hematology. 2020; vol 3, Issue 1 : 1-4.
2	Gastrointestinal bleeding in lupus anticoagulant-hypoprothrombinemia syndrome with atypical chronic myeloid leukemia, BCR-ABL 1-negative	Hiraga J, Harada Y, Fujikami T and Kagami Y	Austin Journal of Medical Oncology. 2020; vol7, Issue 1 :
3	Expression of programmed cell death ligand-1 by immune cells in the microenvironment is a favorable prognostic factor for primary diffuse large B-cell lymphoma of the central nervous system.	Yuta Tsuyuki, Eri Ishikawa, Kei Kohno, Kazuyuki Shimada, Fumiharu Ohka, Yuka Suzuki, Seiyo Mabuchi, Akira Satou, Taishi Takahara, Seiichi Kato, Shohei Miyagi, Hiroyuki Ozawa, Tasuku Kawano, Yusuke Takagi, Junji Hiraga, Toshihiko Wakabayashi, Shigeo Nakamura.	Neuropathology. 2020; First published: 02 December.
4	Aggressive progression and chemotherapy resistance of fulminant Epstein-Barr virus-associated hemophagocytic lymphohistiocytosis.	Junji Hiraga, Yasuhiko Harada, Chikako Kato, Naruko Suzuki, Yoshitoyo Kagami.	Journal on Oncology. 2020; 1 (3):1011.
5	R-CHOP-14 versus R-CHOP-14/CHASER for upfront autologous transplantation in diffuse large B-cell lymphoma: JCOG0908 study.	Kagami Y, Yamamoto K, Shibata T, Tobinai K, Imaizumi Y, Uchida T, Shimada K, Minauchi K, Fukuhara N, Kobayashi H, Yamauchi N, Tsujimura H, Hangaiishi A, Tominaga R, Suehiro Y, Yoshida S, Inoue Y, Suzuki S, Tokuhira M, Kusumoto S, Kuroda J, Yakushijin Y, Takamatsu Y, Kubota Y, Nosaka K, Morishima S, Nakamura S, Ogura M, Maruyama D, Hotta T, Morishima Y, Tsukasaki K, Nagai H.	Cancer Sci. 2020 Oct;111(10):3770-3779. doi: 10.1111/cas.14604. Epub 2020 Sep 11.

## 学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	中枢神経再発をきたした硝子体悪性リンパ腫の1例	○佐藤萌美、原田靖彦、鈴木奈瑠子、平賀潤二、鏡味良豊	第9回日本血液学会東海地方会	2020.4.19
2	当院で経験した後天性血友病患者2症例の検討	○原田靖彦、平賀潤二、鏡味良豊	豊田加茂医師会研究会	2020.7.11
3	シクロフォスファミドにより引き起こされた低ナトリウム血症の検討	○平賀潤二、原田靖彦、鈴木奈瑠子、鏡味良豊	第82回日本血液学会学術集会	2020.10.10
4	当院における多発性骨髄腫に対するダラムマブの使用成績	○原田靖彦、平賀潤二、鏡味良豊	第82回日本血液学会学術集会	2020.10.10
5	内服抗がん剤が奏功した超高齢悪性リンパ腫患者	○服部 杏、原田靖彦、平賀潤二、鏡味良豊	第69回日本農村医学会学術総会	2020.10.15
6	CML患者における食道癌合併の1例	○平岩厚佑、松葉朋彦、都築智之、同血液内科、平賀潤二	第243回日本内科学会東海地方会	2021.2.14

7	BCR-ABL 1 陰性非定型慢性骨髄性白血病治療中に発症したルーブスアンチコアグラント低プロトロンビン血症症候群	○平賀潤二、原田靖彦、藤上卓馬、鏡味良豊	第18回日本臨床腫瘍学術集会	2021.2.18
8	詳細な病理検査により診断しえたMALTリンパ腫の増悪に併発した腹膜癌の1例	○原田靖彦、平賀潤二、鏡味良豊	第18回日本臨床腫瘍学会学術集会	2021.2.18
9	ニボルマブ投与により胃癌と肺癌はコントロールできたが多発性骨髄腫に対しては無効であった多重がんの1例	○安田 司、平賀潤二、成田道彦、都築智之	第18回日本臨床腫瘍学会学術集会	2021.2.18

## 総合内科

### 著書・論文

	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	救急搬送された成人アナフィラキシー患者の入院基準について	○西本泰浩、伊藤貴康、畑田 剛、小林修一	第48回日本救急医学会学術集会(WEB)	2020.11.18 ~20

## 緩和ケア内科

### 著書・論文

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名
1	ゾレドロン酸抵抗性の高カルシウム血症に対しデノスマブが奏功した肝内胆管癌の1例	○近藤 有、村松雅人、安居 円、横山尚美、塩崎沙耶、西村栄輝、植松夏子	日本緩和医療薬学雑誌13:37-41,2020

### 学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	オピオイド使用量を節減する目標を患者と共有しつつ集学的鎮痛対策を実施した一例	○村松雅人、渡邊周一、西村大作、松井健一、井上昌也、竹下祥敬、小島康裕、近藤 有、横山尚美、植松夏子、安居 円、井口多恵子	緩和・支持・心のケア合同学術大会2020	2020.8.9

### 会長・司会・座長

No.	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	日付
1	司会	村松雅人	第25回豊田がんフォーラム「在宅緩和ケアにおける便秘治療」	2021.2.10

## 感染症内科

### 講演会等講師

No.	講演会名及び演題名	演者	主催	年月日
1	医療安全管理研修会「院内感染対策」 「今、押さえておきたい感染対策 2021」	川端 厚	豊田加茂医師会	2021.2.10

## 内科

### 学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	亜急性甲状腺炎治療中にバセドウ病へ移行した1例	○神田真衣、尾崎 緑、前田龍太郎、大塚晴佳、山下千夏、富永隆史、大竹かおり、有吉 陽	第93回日本内分泌学会学術総会	2021.7.20



2	軽鎖沈着症により多臓器不全をきたした一例	○堀 貴洋、石川稜介、斎藤絢恵、吉岡智輝、倉田久嗣、鏡味良豊	第50回日本腎臓学会西部学術大会	2020.10.16
3	甲状腺癌に対してチロシンキナーゼ阻害薬（TKI）を使用中、持続して蛋白尿を来した一例	○櫻井礼子、吉岡知輝、石川稜恭、斎藤絢恵、堀 貴洋、倉田久嗣	第50回日本腎臓学会西部学術大会	2021.10.16

## 小児科

### 学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	新型コロナウイルス感染症 発生から今日まで(2)基幹病院の現状 豊田厚生病院	○梶田光春	豊田加茂小児科医会総会・緊急シンポジウム	2020.5.9
2	腹痛・嘔吐を主訴に受診し、疼痛管理に難渋した3才女児の一例（先天性胆道拡張症）	○榎本さやか、高橋ゆま、鈴木大路、武田将典、生駒雅信、梶田光春、愛知医科大学外科学講座 金子健一朗	第68回豊田加茂小児科医会例会	2020.7.18
3	痙攣後に骨折をきたした11歳男児例（ビタミンD欠乏性低Ca血症）	○中西久美子	第68回豊田加茂小児科医会例会	2020.7.18
4	発熱・腹痛を主訴に来院し、脾腫を認めた3歳女児の一例（脾捻転）	○高橋ゆま、榎本さやか、武田将典、生駒雅信、梶田光春	第69回豊田加茂小児科医会例会	2021.2.13
5	突然の右季肋部痛を主訴に受診した13歳男児例（胆嚢捻転）	○榎本さやか、高橋ゆま、武田将典、生駒雅信、梶田光春	第69回豊田加茂小児科医会例会	2021.2.13
6	箸による経眼窩的穿通性脳損傷の一例	○榎本さやか、高橋ゆま、武田将典、生駒雅信、梶田光春（小児科） 圓若幹夫、立花栄二（脳神経外科）	第281回日本小児科学会東海地方会	2021.2.13

### 講演会等講師

No.	講演会名及び演題名	演者	主催	日付
1	アレルギーを持った小児への対応～エビペンの操作～（放課後児童クラブ指導員対象）	中西久美子	豊田厚生病院	2020年6月、 動画配信
2	第15期アレルギー大学：医学－基礎	中西久美子	アレルギー支援ネットワーク	2020年6月、 動画配信
3	〃（魚國本社にて）	中西久美子	〃	2020年7月、 動画配信
4	アレルギー対応研修会：学校現場における食物アレルギーの知識と適切なアナフィラキシー対応について	中西久美子	豊田市教育委員会保健給食課	2020年7～ 8月 動画配信

### 会長・司会・座長

	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	日付
1	座長	梶田光春	第68回豊田加茂小児科医会例会	2020.7.18

## 精神科

### 学会発表

	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	Charlson comorbidity index predicts in-hospital mortality for patients with Alzheimer's disease admitted by behavioral and psychological symptoms of dementia.	○渡邊周一、宍戸伸隆、前川和範、深津孝英、兼本浩祐	第20回世界精神医学会（World Congress of Psychiatry）	2021.3.10

## 外科

### 著書・論文

No.	演題名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名
1	異時性発症した結腸人工肛門部癌の2例－結腸人工肛門部癌本邦報告41例の検討－	○久留宮康浩、菅原 元、加藤健宏	日本大腸肛門病雑誌

### 学会発表

No.	演題名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	抗凝固療法中の急性虫垂炎患者に対するきんきゅう手術の安全性に関する検討	○世古口英、久留宮康浩、水野敬輔、菅原 元、井上昌也、加藤健宏、秋田直宏	第120回日本外科学会定期学術集会 (WEB)	2020.8.13
2	術前ホルモン療法が奏功せず術前化学療法を施行したluminalB乳癌の検討	○久留宮康浩、丹羽多恵、大西 桜、雄谷慎吾、川端明子、水野玲子、茂木公佑、世古口英、菅原 元、井上昌也、加藤健宏、南 貴之、稲田亘佑、竹内健司、関本晃裕、緒方諒仁、長田祥子	第28回日本乳癌学会学術総会	2020.10.13
3	腹部手術歴がある腹腔鏡下胆嚢摘出術の検討	○若尾 聖、空野泰司、松原秀雄、宇治誠人、栗原聖実、二村雄介、中島京佑、川合 毅	第82回日本臨床外科学会総会	2020.10.29
4	大腸癌原発部位（左右結腸と直腸）からみた肝転移切除 r 例の臨床病理学的検討	○久留宮康浩、世古口英、菅原 元、井上昌也、加藤健宏、南 貴之、蟹江恭和、佐久間政宜、稲田亘佑、竹内健司、関本晃裕、緒方諒仁、長田祥子	第28回日本消化器関連学会週間 JDDW2020	2020.11.5
5	シートベルトによる外傷性上行結腸穿孔の1例	○若尾 聖、空野泰司、松原秀雄、宇治誠人、栗原聖実、二村雄介、中島京佑、川合 毅	第75回日本大腸肛門病学会学術集会	2020.11.13
6	Treatment of infected abdominoparietal aortic aneurysm	○秋田直宏	第48回日本血管外科学会	2020.11.27
7	胆嚢炎に対する緊急腹腔鏡下胆嚢摘出術の治療成績	○井上昌也、久留宮康浩、世古口英、菅原 元、加藤健宏、鳥居直矢、蟹江恭和、佐久間政宜、稲田亘佑、竹内健司	第75回日本消化器外科学会総会	2021.12.15
8	術後7年6ヵ月生存中の巨大肝細胞癌（経20cm）の1切除例	○久留宮康浩	第32回日本肝胆膵外科学会学術集会 (WEB)	2021.2.23 ～24

## 呼吸器外科

### 著書・論文

No.	演題名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名
1	外科的生検により診断することができた続発性肺悪性リンパ腫	○今村由人、岡阪敏樹、平賀潤二、渡邊裕樹、高嶋浩司、谷川吉政、平松義規	胸部外科

### 学会発表

No.	演題名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	胸膜孤立性線維性腫瘍の当院5例の経験	○平松義規、今村由人、渡邊裕樹、岡阪敏樹	第63回関西胸部外科学会 学術集会 (WEB)	2020.8.3 ～31
2	Transmanubrial approachにより完全切除し得た胸壁発症炎症性筋線維芽細胞腫の治療経験	○今村由人、渡邊裕樹、岡阪敏樹、平松義規	第37回日本呼吸器外科学会 (WEB)	2020.9.29



3	重症筋無力症を合併した胸腺癌の1手術例	○渡邊裕樹、今村由人、岡阪敏樹、平松義規	第37回日本呼吸器外科学会 (WEB)	2020.9.29
4	胸腺過形成の臨床経験から得た診療アプローチ	○平松義規、渡邊裕樹、今村由人、岡阪敏樹	第37回日本呼吸器外科学会 (WEB)	2020.9.29 ~10.12
5	診断困難な肺悪性リンパ腫の外科的生検例	○今村由人、渡邊裕樹、岡阪敏樹、平松義規	第61回日本肺癌学会学術集会	2020.11.13

## 心臓外科

### 学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	右房内浮動血栓を伴う急性肺動脈塞栓症に対する血栓除去の一例	○寺田貴史、荒木善盛、小林明裕、川口 鎮	第63回関西胸部外科学会学術集会 (WEB)	2020.8.3
2	冠動脈バイパスグラフトとしての大伏在静脈の術前エコー評価の有用性	○小林明裕、寺田貴史、荒木善盛、川口 鎮	第50回日本心臓血管外科学会学術総会 (WEB)	2020.8.17 ~31
3	当院における両側内胸動脈を用いたCABG手術の検討	○小林明裕、荒木善盛、寺田貴史、川口 鎮	第73回日本胸部外科学会定期学術集会 (WEB)	2020.10.29 ~1.8
4	大動脈弁置換術の術前超音波検査での外科的弁輪径測定の有用性	○寺田貴史、荒木善盛、小林明裕、川口 鎮	第73回日本胸部外科学会定期学術集会	2020.10.29

### 会長・司会・座長

No.	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	日付
1	座長	川口 鎮	第63回関西胸部外科学会学術集会	2020.6.25

## 救急科

### 著書・論文

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名
1	ウィズコロナ・ポストコロナのoff-the-job training	○伊藤貴康、畑田 剛	救急医学

### 学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	ICLSとJMECCの共同作業を成功させる	○畑田 剛	第48回日本救急医学会学術集会	2020.11.19
2	インストラクター更新制度の変更点	○畑田 剛	第34回日本外傷学会総会・学術集会	2020.12.8

## 泌尿器科

### 著書・論文

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名
1	尿路結石	○宇佐美雅之、安井孝周	腎と透析「症例で学ぶ！腎泌尿器科診療ガイドラインの使い方」
2	ゲノムワイド関連解析による尿路結石症関連遺伝子の探索	○宇佐美雅之、安井孝周	腎と透析「症例で学ぶ！腎泌尿器科診療ガイドラインの使い方」

## 学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	当院でのECIRS手術症例および合併症の検討	○宇佐美雅之、金本一洋、橋本良博、岩瀬 豊、山田健司、海野奈央子、濱本周造、岡田淳志、戸澤啓一、安井孝周	第108回日本泌尿器科学会総会(WEB)	2020.12.22 ~24
2	折鶴作成による腹腔鏡手術トレーニングの確立	○野田祐介、濱本周造、岡田淳志、永井 隆、富山奈美、松本大輔、神沢英幸、廣瀬康彦、窪田裕樹、安井孝周	第108回日本泌尿器科学会総会(WEB)	2020.12.22 ~24

## 眼科

### 学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	Pit-Macular症候群に類似した漿液性網膜剥離を伴う網膜分離症の一例	○大林知広、富安胤太、湯口貴彬、山田麻里	令和2年度名古屋市立大学眼科同窓会学会(WEB)	2020.10.11

## 耳鼻咽喉科

### 学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	ハント症候群に続発した持続性知覚性姿勢誘発めまいの一例	○田中伸和、蒲谷嘉代子、近藤真前、小島綾乃、福島諒奈、玉井ひとみ、中山明峰、岩崎真一	第79回日本めまい平衡医学会総会学術講演会	2020.11.26
2	Lenvatinibによる腎障害の検討～Tyrosine kinase inhibitor(TKI) switchした乳頭癌再発例の腎組織像～	○欄真一郎、小栗恵介、高橋弘恵	第82回耳鼻咽喉科臨床学会	2020.12.24

## 麻酔科

### 学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	PCPSスタンバイにて気管支ファイバースコープを用いて意識下挿管した外傷性甲状腺腫瘍出血の一例	○川口大地、長橋 究、上原博和	日本臨床麻酔学会第40回大会	2021.11.6
2	皮下植え込み型除細動器(S-ICD)挿入術の麻酔経験	○川口大地、川口里奈、長橋 究、上原博和	日本臨床麻酔学会第40回大会	2021.11.6

## 口腔外科

### 学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	薬剤を起因とする口腔癌術後せん妄の2例	○兼子隆次、河合孝真、澤木 廉	第40回日本歯科薬物療法学会	2020.6.28
2	当科におけるLe Fort型骨折症例の臨床的検討	○高田里奈、兼子隆次、河合孝真、澤木 廉、河辺良介	第45回日本口腔外科学会中部支部学術集会(WEB)	2020.10.10 ~18
3	口腔外科疾患に対する粘度可変型栄養法導入症例の検討	○河合孝真、兼子隆次、澤木 廉、高田里奈	第67回日本農村医学会総会(WEB)	2020.10.15



4	当科におけるHBO（高気圧酸素療法）の有用性	○河合孝真、兼子隆次、澤木 廉、高田里奈	第65回日本口腔外科学会総会（WEB）	2020.11.13
5	当科における顎顔面骨病的骨折の臨床的検討	○澤木 廉、兼子隆次、河合孝真、高田里奈、河辺良介	第65回日本口腔外科学会総会（WEB）	2020.11.13
6	植皮とインプラントによる咬合再建を行った上顎歯肉癌の2例	○兼子隆次、河合孝真、澤木 廉	第24回日本顎顔面インプラント学会総会	2020.12.6
7	治療可能な歯肉がんに対しBSC（Best Supportive Care）が選択された1例	○兼子隆次、河合孝真、澤木 廉	第39回日本口腔腫瘍学会総会	2021.1.28～29

## 講演会等講師

No.	講演会名及び演題名	演者	主催	日付
1	半固形化栄養剤による栄養管理の取り組み	兼子隆次	(株)大塚製薬工場 社内研修会	2020.9.4

## 整形外科

## 著書・論文

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名
1	Discontinuation of concomitant methotrexate in Japanese patients with rheumatoid arthritis treated with tocilizumab: An interventional study	Shuji Asai, Masatoshi Hayashi, Masahiro Hanabayashi, Yasuhide Kanayama, Toki Takemoto, Yuichiro Yabe, Tomone Shioura, Hisato Ishikawa, Yutaka Yoshioka, Takefumi Kato, Yuji Hirano, Takayoshi Fujibayashi, Yosuke Hattori, Tomonori Kobayakawa, Masahiko Ando, Yachiyo Kuwatsuka, Nobunori Takahashi, Takuya Matsumoto, Nobuyuki Asai, Yasumori Sobue, Tsuyoshi Nishiume, Mochihito Suzuki, Naoki Ishiguro, Toshihisa Kojima	Mod Rheumatol. 2020 May;30(3):434-441.
2	Improvement in matrix metalloproteinase-3 independently predicts low disease activity at 52 weeks in bio-switch rheumatoid arthritis patients treated with abatacept	Toki Takemoto, Nobunori Takahashi, Daihei Kida, Atsushi Kaneko, Yuji Hirano, Takayoshi Fujibayashi, Yasuhide Kanayama, Masahiro Hanabayashi, Yuichiro Yabe, Hideki Takagi, Takeshi Oguchi, Takefumi Kato, Koji Funahashi, Takuya Matsumoto, Yasumori Sobue, Tsuyoshi Nishiume, Mochihito Suzuki, Yutaka Yokota, Kenya Terabe, Shuji Asai, Naoki Ishiguro, Toshihisa Kojima	Clin Exp Rheumatol. Sep-Oct 2020;38(5):933-939.
3	A retrospective analysis of the relationship between anti-cyclic citrullinated peptide antibody and the effectiveness of abatacept in rheumatoid arthritis patients	Daihei Kida, Nobunori Takahashi, Atsushi Kaneko, Yuji Hirano, Takayoshi Fujibayashi, Yasuhide Kanayama, Masahiro Hanabayashi, Yuichiro Yabe, Hideki Takagi, Takeshi Oguchi, Takefumi Kato, Koji Funahashi, Takuya Matsumoto, Masahiko Ando, Yachiyo Kuwatsuka, Eiichi Tanaka, Hidekata Yasuoka, Yuko Kaneko, Shintaro Hirata, Kosaku Murakami, Yasumori Sobue, Tsuyoshi Nishiume, Mochihito Suzuki, Yutaka Yokota, Kenya Terabe, Shuji Asai, Naoki Ishiguro, Toshihisa Kojima	Sci Rep. 2020 Nov 12;10(1):19717.



4	Predictors for clinical effectiveness of baricitinib in rheumatoid arthritis patients in routine clinical practice: data from a Japanese multicenter registry	Nobunori Takahashi, Shuji Asai, Tomonori Kobayakawa, Atsushi Kaneko, Tatsuo Watanabe, Takefumi Kato, Tsuyoshi Nishiume, Hisato Ishikawa, Yutaka Yoshioka, Yasuhide Kanayama, Tsuyoshi Watanabe, Yuji Hirano, Masahiro Hanabayashi, Yuichiro Yabe, Yutaka Yokota, Mochihito Suzuki, Yasumori Sobue, Kenya Terabe, Naoki Ishiguro, Toshihisa Kojima	Sci Rep. 2020 Dec 14;10(1):21907.
5	Predictors of disease flare after discontinuation of concomitant methotrexate in Japanese patients with rheumatoid arthritis treated with tocilizumab	Shuji Asai, Nobunori Takahashi, Masatoshi Hayashi, Masahiro Hanabayashi, Yasuhide Kanayama, Toki Takemoto, Yuichiro Yabe, Tomone Shioura, Hisato Ishikawa, Yutaka Yoshioka, Takefumi Kato, Yuji Hirano, Takayoshi Fujibayashi, Yosuke Hattori, Tomonori Kobayakawa, Masahiko Ando, Yachiyo Kuwatsuka, Takuya Matsumoto, Nobuyuki Asai, Yasumori Sobue, Tsuyoshi Nishiume, Mochihito Suzuki, Naoki Ishiguro, Toshihisa Kojima	Joint Bone Spine. 2020 Dec;87(6):596-602.
6	Efficacy of add-on iguratimod in patients with rheumatoid arthritis who inadequately respond to either tocilizumab or tumor necrosis factor alpha inhibitors	Kyosuke Hattori, Yuji Hirano, Yasuhide Kanayama, Yosuke Hattori, Takefumi Kato, Nobunori Takahashi, Naoki Ishiguro, Toshihisa Kojima	Mod Rheumatol. 2021 Jan;31(1):80-87.

学会発表

No.	演題名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	EFFICACY OF ABATACEPT FOR SUPPRESSING RADIOGRAPHIC PROGRESSION OF CERVICAL LESIONS INPATIENTS WITH RHEUMATOID ARTHRITIS COMPARISON WITH METHOTREXATE ; TWO YEARS OF FOLLOWUP~A MULTICENTER REGISTRY STUDY ~	○Yasuhide Kanayama, Toshihisa Kojima, Yuji Hirano, Nobunori Takahashi, Yukiyoishi Oishi and Naoki Ishiguro	第21回欧州リウマチ学会 (EULAR)	2020.6.3 ~6.6
2	Early clinical efficacy of romosozumab in patients with rheumatoid arthritis and primary osteoporosis	○Yasuhide Kanayama, Ryosuke Sugimoto, Taichi Tsuji, Hironobu Inagaki, Naohisa Futamura, Kyotaro Ota, Yui Adachi, Kei Terasawa and Kento Maeda	第21回欧州リウマチ学会 (EULAR)	2020.6.3 ~6
3	AbataceptのRA頸椎病変進行抑制効果について~TBCRにおけるABT、MTX投与例との比較検討~	○金山康秀、小嶋俊久、平野裕司、高橋伸典、大石幸由、石黒直樹	第93回日本整形外科学会学術集会	2020.6.11 ~8.31
4	当科におけるバリシチニブ、TNF製剤投与症例における関節エコー所見改善効果の検討	○金山康秀、永田篤志	第64回日本リウマチ学会総会・学術集会	2020.8.4 ~8.6
5	RA骨粗鬆症患者に対するロモソズマブ投与早期の骨代謝マーカー、補正カルシウム値の変化について	○金山康秀	第64回日本リウマチ学会総会・学術集会	2020.8.4 ~6
6	AbataceptのRA頸椎病変進行抑制効果について~多施設研究登録症例 (TBCR) におけるABT、MTX投与例との比較検討~	○金山康秀、小嶋俊久、平野裕司、高橋伸典、大石幸由、石黒直樹	第64回日本リウマチ学会総会・学術集会	2020.8.4 ~6



7	Short-term of clinical efficacy of romosozumab in patients with rheumatoid arthritis and primary osteoporosis	○Yasuhide Kanayama, Ryosuke Sugimoto, Taichi Tsuji, Hironobu Inagaki, Naohisa Futamura, Kyotaro Ota, Yui Adachi, Kei Terasawa and Kento Maeda	第42回米国骨代謝学会 (ASBMR)	2020.9.11 ～15
8	アダリムマブの効果不十分例に対しセクキヌマブへの変更が有効であった乾癬性関節炎の2例	○前田健登、金山康秀	第135回中部日本整形外科災害外科学会学術集会	2020.10.9
9	当科における原発性骨粗鬆症に対するロモソズマブの短期成績～6ヶ月経過例の検討～	○金山康秀	第20回日本骨粗鬆症学会	2020.10.9
10	高齢発症RA治療における骨粗鬆症評価、治療の重要性について	○金山康秀	第48回日本関節病学会 (シンポジウム6)	2020.10.31
11	Tocilizumab投与症例における関節エコー所見改善効果について～24週経過例におけるTNF製剤との比較検討～	○金山康秀	日本臨床リウマチ学会	2020.11.28
12	MTX低中用量、WoCBAにおけるセルトリズマブペゴルの位置付け	○金山康秀	Tokai RA Forum	2020.12.16
13	実臨床下におけるシムジアの有用性について-TBCRより-	○金山康秀	PRIMERA Kick-off meeting	2021.1.16

## 講演会等講師

	講演会名及び演題名	演者	主催	日付
1	関節リウマチの治療戦略～certolizumab pegolの臨床的意義を考える～	○金山康秀	関節リウマチWEBシンポジウム	2020.6.23
2	関節リウマチ治療におけるIL-6阻害薬の役割	○金山康秀	BONE RESEARCH FORUM IN OSAKA	2020.7.10
3	関節リウマチの治療戦略～certolizumab pegolの臨床的意義を考える～	○金山康秀	第93回日本整形外科学会学術集会ランチョンセミナー	2020.7.21
4	関節リウマチ診療におけるアバタセプトの位置づけと至適症例像について	○金山康秀	第5回東濃地区リウマチセミナー	2020.8.26
5	TBCRから見えてくるシムジアの位置づけ	○金山康秀	Tokai RA Forum 2020～エビデンス/コホートからみえるシムジアのbest use～	2020.9.3
5	乾癬性関節炎治療におけるIL17Aが持つ可能性	○金山康秀	IL-17A WEB Seminar	2020.9.23
6	関節リウマチの最新治療戦略	○金山康秀	第69回日本農村医学会学術総会ランチョンセミナー	2020.10.15 ～11.14
7	豊田加茂地域における新規治療法導入及び紹介～骨粗鬆症性椎体骨折地域連携パスの取り組みなど～	○大田恭太郎	豊田加茂整形外科医会	2020.11.12
8	関節リウマチ治療における薬剤選択について	○金山康秀	エーザイ株式会社社内講演会	2020.11.13
9	関節リウマチの最新治療戦略	○金山康秀	ヤンセンファーマ社内講演会	2020.11.27
10	関節リウマチの治療戦略～実臨床においてどのようにセルトリズマブペゴルの特性を活かすか～	○金山康秀	関節リウマチWEBシンポジウムin 兵庫	2020.12.17
11	RCTからみたテリボンオートインジェクターの展望	○金山康秀	三遠骨粗鬆症講演会	2021.1.28

12	関節リウマチの最新治療戦略	○金山康秀	マイランEPD社内講演会	2021.3.5
13	関節リウマチ治療におけるバリシチニブの可能性～関節エコー評価を含めて～	○金山康秀	静岡県東部リウマチ治療を考える会 オンライン	2021.3.18
14	実臨床における関節リウマチ合併骨粗鬆症患者に対するデノスマブの臨床成績	○金山康秀	Rheumatoid Arthritis Expert Meeting ～関節リウマチ治療におけるデノスマブの役割を再考する～	2021.3.21

会長・司会・座長

No.	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	日付
1	座長	金山康秀	骨粗鬆症フォーラム on Web	2020.5.29
2	座長	金山康秀	リウマチWEBセミナー	2020.7.29
3	座長	金山康秀	第4回RA-BETTER WEB研究会	2020.7.31
4	座長	金山康秀	西三河 RA Expert Meeting	2020.8.29
5	座長	金山康秀	Eisai Immunology Internet Live SeminarIn 東海	2020.9.4
6	座長	金山康秀	第2回臨床JAK Web Meeting	2020.10.20
7	座長	金山康秀	三河RA呼吸器疾患合併研究会	2020.10.28
8	座長	金山康秀	ABC Meeting in MIKAWA	2020.10.29
9	座長	金山康秀	JAKi Expert Seminar	2020.11.20
10	座長	金山康秀	関節リウマチWebセミナー	2020.1.20
11	座長	金山康秀	三河RAエキスパートミーティング	2021.2.17
12	座長	金山康秀	IL-6 RA Meeting in 三河 4th	2021.2.20
13	座長	金山康秀	JAK阻害剤を考える会 In 西三河	2021.2.25
14	座長	金山康秀	三河関節炎フォーラム2021	2021.3.6
15	座長	金山康秀	RA expert seminar in Aichi	2021.3.12
16	座長	金山康秀	RA HOT TOPICS	2021.3.22
17	座長	金山康秀	JAK Frontier in 三河	2021.3.24

形成外科

学会発表

No.	演題名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	毛巣洞切除後に人工真皮を使用した開放療法の治療成績	○茂木公佑、川端明子、今井弘恵、水野玲子、渡邊義輝、栗原里美	第63回日本形成外科学会総会・学術集会	2020.8.26～28
2	開窓時に温存した広背筋を用いた膿胸の一例	○水野玲子、川端明子、茂木公佑、今井弘恵	第63回日本形成外科学会総会・学術集会	2020.8.26～28

皮膚科

著書・論文

No.	演題名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名
1	肝細胞癌診断の契機となった汗孔角化症	○馬淵友久美、足立秀禎、鈴木伸吾、森田 清 (内科)	皮膚病診療42巻8号；698～701,2020
2	皮下結節性脂肪壊死症を契機として膿瘍を発見し根治術に至った1例	○吉川真人、足立秀禎、鈴木伸吾、鳥居直矢 (外科)、中島昭奈 (斉藤病院皮膚科)	臨床皮膚科75巻2号；165～170,2021



## 学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	乾癬と鑑別を要した乾癬性梅毒の1例	○榊原あゆみ、馬淵友久美、足立秀禎、鈴木伸吾	第293回日本皮膚科学会 東海地方会	2020.9.6
2	陰茎部に生じたエクリン汗孔腫の1例	○馬淵友久美、榊原あゆみ、足立秀禎、鈴木伸吾	第293回日本皮膚科学会 東海地方会	2020.9.6
3	冠動脈カテーテル検査後に生じた上肢の皮膚親水性ポリマー塞栓症の2症	○馬淵友久美、榊原あゆみ、足立秀禎、鈴木伸吾、伊藤亮太	第71回日本皮膚科学会 中部支部学術大会	2020.10.11
4	強い腹痛を伴い、ステロイドパルス療法を行ったIgA血管炎と考えられた1例	○馬淵友久美、榊原あゆみ、足立秀禎、鈴木伸吾、平岩厚祐(平岩皮膚科)	第295回日本皮膚科学会 東海地方会	2021.3.21
5	皮膚所見を契機に診断に至った胃梅毒の1例	○馬淵友久美、榊原あゆみ、足立秀禎、鈴木伸吾	第295回日本皮膚科学会 東海地方会	2021.3.21

## 放射線技術科

### 学会・研究会

No.	演題	協同研究者	学会名・雑誌名	日付
1	小児CT検査における最適化に向けた撮影条件の検討	○安藤仁美、柴田英輝、小寺直人	第69回日本農村医学会 学術総会	2020.10.15 ~11.14
2	DOSIRISを用いた実測による当院水晶体被ばくの現状把握	○小林晋也、村山和宏	第69回日本農村医学会 学術総会	2020.10.15 ~11.14
3	Usefulness of AI(Artificial intelligence) in Japan	○柴田英輝	WARLD RADIOGRAPHY DAY 2020 ISRRT SPECIAL EDITION	2020.11.8
4	バイブレーションアンギオシステムTriniasにおけるAblation検査室の構築	○村山和宏、金子鎮二	Trinias Today	2020.12.14
5	造影ゼミナール(頭部領域)	○深田真司	鳥取県診療放射線技師 会	2021.1.27
6	更新に伴うカテーテル室の構築と被曝線量の報告	○村山和宏	Shinshu angiography conference in nagoya	2021.2.27

## 臨床検査技術科

### 著書・論文

No.	演題	協同研究者	学会名・雑誌名
1	「赤血球光溶血試験と赤血球蛍光試験が診断の一助となった骨髄性プロトポルフィリン症の一例」	○藤上卓馬、酒巻尚子、鈴木康太、三澤千鶴、高嶋幹代、中根生弥、梶田光春	医学検査

### 学会・研究会

No.	演題	協同研究者	学会名・雑誌名	日付
1	「若手技師主導型スキルアップ『寺子屋』の取り組み」	○加藤雄大、村山舞花、藤上卓馬、松井貴弘、伊藤彰洋、窄中美帆、中根生弥	第69回日本医学検査学 会(WEB開催)	2020.10.1 ~31
2	「若手技師スキルアップへの道 ~ JA愛知厚生連8病院における緊急臨床検査士資格取得支援事業~」	○加藤雄大、河内 誠、田中浩一、伊藤 肇、舟橋恵二、岡田 元、中根生弥	第69回日本医学検査学 会(WEB開催)	2020.10.1 ~31

3	「ISO15189における病理検査室の環境改善への取り組み」	○藤井優子、榊原達朗、水野里枝、鈴木康太、黒木雅子、田中浩一、中根生弥	第69回日本医学検査学会（WEB開催）	2020.10.1 ～31
4	「行政からの委託によるcovid-19検査事業に参加して」	○永田篤志、加藤雄大、田中浩一、高嶋幹代、中根生弥	第69回日本医学検査学会（WEB開催）	2020.10.1 ～31
5	特別企画「新型コロナウイルスをめぐって～パンティミック・災害に対応できる臨床検査の構築～」	○中根生弥	第69回日本医学検査学会（WEB開催）	2020.10.1 ～31
6	「多職種で取り組む自己血輸血の運用確立」	○木村有里、松井貴弘、高嶋幹代、中根生弥	第69回日本農村医学会学術総会（WEB開催）	2020.10.15 ～11.14
7	「当院における過去5年間のESBL産生菌の検出状況」	○松本美咲、加藤雄大、杉山裕衣、永田悠起、塩谷厚代、田中浩一、中根生弥	第20回愛知県医学検査学会	2021.1.17 ～31
8	「当院で経験した抗NMDA受容体脳炎の一症例」	○高本智史、村山舞花、林 太、下竹美由紀、永田篤志、中根生弥	第20回愛知県医学検査学会	2021.1.17 ～31

### 講演会等講師

No.	講演会名及び演題名	演者	主催	日付
1	2020年度 熊本保健科学大学 臨地実習報告会「卒前・卒後教育および臨地実習教育について」	中根生弥	熊本保健科学大学	2020.4.15
2	2020年度 愛知県技師長協議会 管理運営研修会「臨床検査におけるコロナとの対峙 ～これまでのこと・これからのこと・管理運営から思うこと～」愛知県臨床検査技師会としての関りについて」	中根生弥	愛知県技師長協議会	2020.11.29
3	病理細胞検査研究班11月研究会『病理検査室のマネジメント』	田中浩一	愛知県臨床検査技師会	2020.11.28
4	ロシユ Webセミナー in 東北「ラボマネージャーの視点からみた新規ソリューション導入によるベネフィット」	中根生弥	ロシユ・ダイアグノスティックス	2020.12.12
5	令和2年度 愛臨技 スキルアップ研修会『専門分野が教える豆知識』『遺伝子検査を始めたあなたに -ピットフォールに陥らないために-』	加藤雄大	愛知県臨床検査技師会	2021.2.1 ～14
6	微生物研究班2月研究会『この報告どうしてる？感受性編』	永田悠起	愛知県臨床検査技師会	2021.2.6
7	血液検査研究班2月研究会『精度管理調査報告血液検査部門 形態項目』	藤上卓馬	愛知県臨床検査技師会	2021.2.21 ～3.5
8	第2回ラボデータから読み解く感染症セミナー（CALs）症例②『真夜中の訪問者』	加藤雄大	シスメックス株式会社	2021.3.13

### 会長・司会・座長

No.	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	日付
1	座長	中根生弥	第76回日本輸血・細胞治療学会 東海支部例会 共催セミナー	2021.2.27

### リハビリテーション技術科

#### 学会・研究会

1	演題	協同研究者	学会名・雑誌名	日付
1	緩和ケア病棟入院中の寝たきり末期がん患者に対し段階的離床を行い結果一時自宅退院可能となりQOL向上に有効であった症例	今村祐介	第29回愛知県理学療法学術大会	2020.8.9



2	末期がん患者に対し病棟連携による積極的離床を行ない結果離床時間延長に伴い自宅退院可能となった症例	今村祐介	第69回日本農村医学会	2020.10.15
3	ITB療法後、1日1食経口摂取が可能となった遷延性意識障害・重度痙縮を呈した外傷性脳損傷患者の1例	吹留理香	第69回日本農村医学会	2020.10.15
4	脊損患者の移動動作に対し、多職種による安全で効率の良い環境作りについて	稲吉美枝	第69回日本農村医学会	2020.10.15

## 臨床工学技術科

### 学会・研究会

No.	演題	協同研究者	学会名・雑誌名	日付
1	当院における末梢血管細胞採取の現状	○佐野公俊、中前健二、兵藤好行、沖島正幸、井上宏隆、小川正博、近藤浩史、澤田知広、藤井夕貴、酒出篤弥、辻川圭亮、西山和芳、谷 亮太、太田委住、遠藤泉樹	第30回日本臨床工学会	2020.9.29
2	当院における臨床工学技士の手術室業務の変遷	○遠藤泉樹、中前健二、兵藤好行、沖島正幸、井上宏隆、小川正博、近藤浩史、上村夕貴、酒出篤弥、西山和芳、谷 亮太、太田委住、辻川圭亮、佐野公俊、澤田知広	第30回日本臨床工学会	2020.9.29
3	超音波診断装置を用いた集中治療領域での取り組み	○沖島正幸	第30回日本臨床工学会	2020.9.30
4	腹水濾過濃縮再静注法施行時における回収率について	○中前健二	第30回日本臨床工学会	2020.9.30
5	臨床実習指導による若手技士のスキルアップシステム導入後の指導担当者からの視点	○小川正博、中前健二、兵藤好行、沖島正幸、井上宏隆、近藤浩史、藤井夕貴、酒出篤弥、澤田知広、辻川圭亮、西山和芳、谷 亮太、太田委住、遠藤泉樹、佐野公俊	第30回日本臨床工学会	2020.9.30
6	当院での遠隔モニタリングシステムにおけるデータ受信率増加を目指した取り組み	○近藤浩史、中前健二、兵藤好行、沖島正幸、井上宏隆、小川正博、藤井夕貴、酒出篤弥、澤田知広、辻川圭亮、西山和芳、谷 亮太、太田委住、遠藤泉樹、佐野公俊	第30回日本臨床工学会	2020.9.30
7	重症筋無力症に対して選択的血漿交換が奏功した1症例	○酒出篤弥、中前健二、兵藤好行、沖島正幸、井上宏隆、小川正博、近藤浩史、藤井夕貴、澤田知広、辻川圭亮、西山和芳、谷 亮太、太田委住、遠藤泉樹、佐野公俊、倉田久嗣	第65回日本透析医学会 学術集会・総会	2020.11.2 ～3
8	左脚ペーシングによってCRT-P植込みを回避できた一例	○辻川圭亮、金子鎮二、藤田雅也	第13回植込みデバイス 関連冬季大会	2021.2.5
9	僧帽弁周囲回旋型心房粗動の診断に左房内でのPPIが有用であった一例	○辻川圭亮	第4回日本EPアブ レーション技術研究会 中部地方会	2021.1.22

## 栄養科

### 著書・論文

No.	演題	協同研究者	学会名・雑誌名
1	超実践！高齢者の栄養ケア 介護保険施設の管理栄養士・栄養士のためのスキルアップ講座 第12回 尿とIN・OUT	森 茂雄	Nutrition Care 2020年4月号
2	超実践！高齢者の栄養ケア 介護保険施設の管理栄養士・栄養士のためのスキルアップ講座 第13回 便（下痢・便秘）	森 茂雄	Nutrition Care 2020年5月号
3	超実践！高齢者の栄養ケア 介護保険施設の管理栄養士・栄養士のためのスキルアップ講座 第14回 薬①薬の基礎知識	森 茂雄	Nutrition Care 2020年6月号
4	超実践！高齢者の栄養ケア 介護保険施設の管理栄養士・栄養士のためのスキルアップ講座 第15回 薬②栄養ケアに必要な薬の見方	森 茂雄	Nutrition Care 2020年7月号
5	超実践！高齢者の栄養ケア 介護保険施設の管理栄養士・栄養士のためのスキルアップ講座 第16回 薬③高齢者の薬物療法	森 茂雄	Nutrition Care 2020年8月号
6	超実践！高齢者の栄養ケア 介護保険施設の管理栄養士・栄養士のためのスキルアップ講座 第17回 栄養ケアの問題を防ぐ食事と栄養評価	森 茂雄	Nutrition Care 2020年9月号
7	超実践！高齢者の栄養ケア 介護保険施設の管理栄養士・栄養士のためのスキルアップ講座 第18回 知識の活用① 栄養ケアプロセスという考え方	森 茂雄	Nutrition Care 2020年10月号
8	栄養士応援企画 巣ごもり時代の学習法あたりまえが覆ったその時どう学んでいくのかを見つめる転換期となった	森 茂雄	ヘルスケア・レストラン 2020年11月号
9	超実践！高齢者の栄養ケア 介護保険施設の管理栄養士・栄養士のためのスキルアップ講座 第19回 知識の活用② 原因のリストアップ	森 茂雄	Nutrition Care 2020年11月号
10	超実践！高齢者の栄養ケア 介護保険施設の管理栄養士・栄養士のためのスキルアップ講座 第20回 知識の活用③ 原因の特定1	森 茂雄	Nutrition Care 2020年12月号
11	enjoy 白菜革命 旬の味 あと1品にちょうどいい！「お手軽で体に優しいハクサイレシピ」	加藤早絢	JA AICHI TOYOTA Comunity paper vol.39.2021.1
12	超実践！高齢者の栄養ケア 介護保険施設の管理栄養士・栄養士のためのスキルアップ講座 第21回 知識の活用④ 原因の特定2	森 茂雄	Nutrition Care 2021年1月号
13	超実践！高齢者の栄養ケア 介護保険施設の管理栄養士・栄養士のためのスキルアップ講座 第22回 症例①食欲不振1	森 茂雄	Nutrition Care 2021年2月号
14	超実践！高齢者の栄養ケア 介護保険施設の管理栄養士・栄養士のためのスキルアップ講座 第23回 症例①食欲不振2	森 茂雄	Nutrition Care 2021年3月号

### 学会・研究会

No.	演題	協同研究者	学会名・雑誌名	日付
1	第5回全国栄養経営士のつどい、パネルディスカッション。ポストコロナ時代を乗り切る栄養分野の挑戦	森 茂雄	日本栄養経営実践協会、全国栄養経営士のつどい名古屋大会	2020.6.27
2	当院の摂食嚥下回診対象患者の栄養摂取状況について	○日比祥代、脇阪涼子	第69回日本農村医学会 学術集会	2020.10.15 ～11.14
3	調理師による目前調理を取り入れた入院患者向け集団栄養指導の取り組み	○牛田浩司、水野なつみ	第69回日本農村医学会 学術集会	2020.10.15 ～11.14



## 講演会等講師

No.	講演会名及び演題名	演者	主催	日付
1	WEB配信型栄養トラブルの原因検索	森 茂雄	有限会社ステップアップ教育研修事業部	2020.9.1～ 2021.2.28
2	慢性期の栄養サポート. 大阪開催	森 茂雄	有限会社ステップアップ教育研修事業部	2020.10.11
3	栄養士の役割と連携	森 茂雄	日本福祉大学中央福祉専門学校 介護福祉科	2020.12.3
4	慢性期の栄養サポート. 東京開催	森 茂雄	有限会社ステップアップ教育研修事業部	2020.12.20
5	看取りの栄養ケア	森 茂雄	香川県栄養士会 在宅訪問栄養士研修会	2021.1.13
6	先輩体験報告会	井上 咲	名古屋栄養専門学校	2021.3.12
7	栄養指導力がぐんぐんアップする検査数値の読み解き方	森 茂雄	株式会社日本医療企画 中部支社	2021.3.13

## 薬剤部

### 著書・論文

No.	演題	協同研究者	学会名・雑誌名
1	ゾレドロン酸抵抗性の高カルシウム血症に対しデノスマブが奏功した肝内胆管癌の1例	○近藤 有、村松雅人、安居 円、横山尚美、塩崎沙耶、西村栄輝、植松夏子	日本緩和医学薬学雑誌

### 学会・研究会

No.	演題	協同研究者	学会名・雑誌名	日付
1	肝動脈化学塞栓療法（TACE）における抗がん剤暴露対策への薬剤師の貢献	○間瀬 悟、加藤亜季、加藤 潤、平岩いづみ、古田美里、榊原崇芳、近藤 有、佐々木英雄、三宅芳男	第69回日本農村医学会学術集会	2020.10.15 ～16
2	病棟薬剤師の持参薬報告書作成による看護師の業務負担軽減への取り組み	○加藤 潤、佐々木英雄、間瀬 悟、植松夏子、近藤 有、榊原崇芳、渡邊雅史	第69回日本農村医学会学術集会	2020.10.15 ～16
3	抗インフルエンザ薬院内使用指針作成による処方動向の影響	○酒井幹康、岩瀬 豊、渡口賢隆、駒井博子、永田悠起、三宅芳男	第69回日本農村医学会学術集会	2020.10.15 ～16
4	日本の進行・再発食道がん二次治療におけるニボルマブの費用対効果	○近藤 有、榊原崇芳、加藤 潤、渡邊雅史、西村栄輝、實安健市、下野大貴、間瀬 悟、三宅芳男	第30回日本医療薬学会年会	2020.10.24 ～11.1
5	迅速PCR法導入が黄色ブドウ球菌菌血症患者の抗菌薬処方動向に与える影響	○渡邊雅史、酒井幹康、三宅芳男	第30回日本医療薬学会年会	2020.10.24 ～11.1
6	透析患者への薬物治療エビデンスの適用～ナラティブとの融合を含めて～	○鈴木大介	第65回日本透析医学会学術集会・総会	2020.11.3
7	Cost-utility analysis of olanzapine in Japanese patients treated with cisplatin-containing highly emetogenic chemotherapy	○近藤 有、榊原崇芳、古田美里、加藤 潤、加藤亜季、間瀬 悟、三宅芳男	ESMO Asia 2020 virtual congress	2020.11.22
8	高齢者で腎機能が低下した時の薬物療法の注意点	○鈴木大介	第14回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会	2021.11.28 ～29
9	薬剤師として知っておきたい腹膜透析関連感染症	○鈴木大介	第14回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会	2021.11.28 ～30

## 看護部

### 学会・研究会

No.	演題	協同研究者	学会名・雑誌名	日付
1	周術期看護における自己血輸血の看護ケアの質の評価	○小見山貴代美、金山康秀、辻 太一、大田恭太郎、木村有里	第34回日本自己血輸血・周術期輸血学会総会	2021.3.13



## 事務部

### 学会・研究会

No.	演題	協同研究者	学会名・雑誌名	日付
1	当院における診療録記載率向上の取り組みについて	○宮嶋里歩、富川実帆、澤木勇士	第69回日本農村医学会 (WEB開催)	2020.10.15 ～11.14
2	抗点数査定減少に向けた取り組みと成果	○菅井利真	第69回日本農村医学会 (WEB開催)	2020.10.15 ～11.15
3	自動洗浄装置更新と併せた滅菌物の一部デイスボ化による経費削減について	○濱田秀哉、大藪宏樹、加藤信也、近藤良夫、勝野知子、畠中京子、中村治彦	第69回日本農村医学会 (WEB開催)	2020.10.15 ～11.16
4	付添寝具の貸与契約見直しによる費用削減の取り組み	○鈴木孝騎、河合啓行、川合三世	第69回日本農村医学会 (WEB開催)	2020.10.15 ～11.17

## 地域医療福祉連携部

### 学会発表

No.	演題	協同研究者	学会名・雑誌名	日付
1	2019年度当院におけるがん地域連携パスの現状報告－年間964事例の連携パス継続のための要因－	○一柳容子、館向幸子、森めぐみ、世古口英	第69回日本農村医学会 (WEB)	2020.10.15 ～11.14
2	救急隊とMSWの直接連携のついて－EM-PASSの導入－	○杉村龍也	第69回日本農村医学会 (WEB)	2020.10.15 ～11.14
3	訪問看護師が認識する筋萎縮性側索硬化症療養者の終末期における在宅療養継続の障害－人工呼吸器を希望しない療養者に焦点を当てて－	○古賀智美、池田美穂、伊藤美由起、畠中京子	第48回愛知県看護師会研修会 (WEB)	2020.10.31
4	医療依存度の高い無力感をもつがん終末期患者の自分らしく生きる畿央を見出し支援－その人らしく生きる力に焦点を当てて支援した一事例－	○古賀智美	第10回日本在宅看護学会学術集会 (WEB)	2020.11.14 ～15

## 地域医療連携部

### 講演会等講師

No.	講演会名及び演題名	演者	主催	日付
1	とよた市民後見人養成講座「医療機関と公的医療保険制度について」	杉村龍也	豊田市成年後見支援センター	2021.10.3
2	「がん看護 MSWからみる～地域で支える～」	杉村龍也	豊田訪問看護師育成センター	2021.10.28
3	あいち医療通訳派遣システム養成講座「医療制度の基礎と公的医療保険制度について」	杉村龍也	愛知県	2021.8.16

## 健康管理室

### 学会・研究会

No.	演題	協同研究者	学会名・雑誌名	日付
1	当院における生活習慣病関連項目C判定該当者に対する「フォローアップ健診」への取り組み	○浦野美和子、阿部由紀美、石原清美、深田英樹	第61回日本人間ドック学会学術大会	2020.11.26 ～27

## 2. 院内研修活動

### 1. 全体講演会・全体発表会

No.	題名	講師	主催部署・主催委員会	開催日
1	第31回医療安全全体研修「医療安全概論」	e-ラーニング	医療安全対策委員会	2020.7.1～ 9.30
2	第22回感染対策委員会全体講演会「新型コロナウイルス感染症について」(WEB開催)	感染対策委員会	感染対策委員会	2020.10.1～ 10.31
3	第25回豊田がんフォーラム「在宅緩和ケアにおける便秘治療」(WEB開催)	横浜市立大学大学院医学研究科 肝胆膵消化器病学教室 主任教授 中島淳	緩和ケア委員会	2021.2.10
4	第1回褥瘡予防対策委員会全体講演会「スキンケアから皮膚を守ろう～被膜剤について～」	看護部 福岡沙織	褥瘡予防対策委員会	2021.2.15～ 2.16
5	第12回豊田感染症フォーラム「コロナ時代を生き抜くために」(WEB開催)	感染対策委員会	感染対策委員会	2021.2.22
6	第17回保険診療委員会講演会「保険請求について」(WEB開催)	保険診療委員会	保険診療委員会	2021.3.1～ 3.12
7	第3回認知症サポート委員会講演会「認知症患者がコロナで入院したら・・・」	看護係長 石川雅恵	認知症サポート委員会	2021.3.8～ 3.19
8	第18回保険診療委員会講演会「重症度、医療・看護必要度について」	保険診療委員会	保険診療委員会	2021.3.15～ 3.26
9	第1回脳死下臓器提供ビデオ研修	臓器移植倫理委員会	臓器移植倫理委員会	2021.3.1,3.15

## 2. 研修会・勉強会

No.	題名	講師	主催部署・主催委員会	開催日
1	令和2年度4月新入職員研修	豊田厚生病院職員	教育委員会	2020.4.2~4.3
2	第152回救急症例検討会	救急科外来部長 畑田 剛	救命救急センター 外来委員会	2020.4.15
3	第53回豊田厚生病院ICLS講習会 「BLS/モニター・電気ショック/ 気道管理など」	救命救急センター長 小林修一	救命救急センター 外来委員会	2020.4.25
4	第85回BLS/AED講習会「1次救命が必要な患者の発見から処置までのデモンストレーション」	看護部 岩永 香 看護部 溝渕智恵	救命救急センター 外来委員会	2020.6.11
5	第153回救急症例検討会	救急科外来部長 畑田 剛	救命救急センター 外来委員会	2020.6.17
6	第54回豊田厚生病院ICLS講習会 「BLS/モニター・電気ショック/ 気道管理など」	救命救急センター長 小林修一	救命救急センター 外来委員会	2020.7.23
7	第7回豊田INARSコース研修「心停止を未然に防ぐためのシミュレーション教育」	救急科外来部長 小林修一	救命救急センター 外来委員会	2020.7.24
8	第85回令和2年8月薬剤師勉強会 「B細胞リンパ腫について」	血液内科代表部長 平賀潤二	薬剤部	2020.8.13
9	第154回救急症例検討会	救急科外来部長 畑田 剛	救命救急センター 外来委員会	2020.8.19
10	第86回BLS/AED講習会「1次救命が必要な患者の発見から処置までのデモンストレーション」	看護部 岩永 香 看護部 溝渕智恵	救命救急センター 外来委員会	2020.9.10
11	第55回豊田厚生病院ICLS講習会 「BLS/モニター・電気ショック/ 気道管理など」	救命救急センター長 小林修一	救命救急センター 外来委員会	2020.10.3
12	第1回放射線安全管理講習会	放射線診断科代表部長 松田 譲 放射線技術科 柴田英輝	放射線技術科	2021.10.13
13	第155回救急症例検討会	救急科外来部長 畑田 剛	救命救急センター 外来委員会	2020.10.21
14	第87回BLS/AED講習会「2次救命が必要な患者の発見から処置までのデモンストレーション」	看護部 岩永 香 看護部 溝渕智恵	救命救急センター 外来委員会	2020.12.10
15	第6回がん看護基礎研修会	薬剤部病棟業務課長 間瀬 悟 看護課長 古橋美直子、林真千子、 中王子美保 看護係長 吉田栄里、佐藤修秀 看護部 藤本 歩、古賀智美、 稲熊幸子、安居 円	がん診療連携推進 委員会	2020.12.12~ 13
16	第156回救急症例検討会	救急科外来部長 畑田 剛	救命救急センター 外来委員会	2020.12.19

No.	題 名	講 師	主催部署・主催委員会	開催日
17	第55回豊田厚生病院ICLS講習会 「BLS／モニター・電気ショック／ 気道管理など」	救命救急センター長 小林修一	救命救急センター 外来委員会	2021.1.9
18	第85回令和3年2月薬剤師勉強会 「乳がん補助化学療法とその支持 療法」	薬剤課長 佐々木英雄	薬剤部	2021.2.4
19	第157回救急症例検討会	救急科外来部長 畑田 剛	救命救急センター 外来委員会	2021.2.17
20	第88回BLS／AED講習会「3次救 命が必要な患者の発見から処置ま でのデモンストレーション」	看護部 岩永 香 看護部 溝渕智恵	救命救急センター 外来委員会	2021.3.11
21	第57回豊田厚生病院ICLS講習会 「BLS／モニター・電気ショック／ 気道管理など」	救命救急センター長 小林修一	救命救急センター 外来委員会	2021.3.27

### 3. 市民講座・市民公開講座

No.	題名	講師	主催部署・主催委員会	開催日
1	第64回糖尿病バイキング教室	内科 澤井喜邦 栄養科 脇阪涼子	栄養科	2020.6.10
2	第56回入院食ワンポイント講座	栄養科 牛田浩司 栄養科 水野なつみ	栄養科	2020.7.22
3	第64回東洋病教室	内分泌・代謝内科代表部長 澤井善邦 栄養科 水野なつみ	栄養科	2020.9.9

## IV 委員会活動

---



## 1. 委員会一覧

令和3年3月末現在

名 称	設置 年月日	目的	開催回数
栄養食事委員会(法)(保)	S63.4.1	豊田厚生病院の行う患者の食事療養と及び、賄食に関する必要な事項を検討協議する	4回
治験倫理審査委員会(法)	H9.4.1	委員会は病院長の諮問に応じ、審査の対象とされる治験及び臨床研究等が倫理的及び科学的に妥当であるかを審査することを目的とする。医療の倫理性と患者の人権保護に関する基本的事項を審議及び検討することを目的とする	6回
輸血療法委員会	H10.6.1	「輸血療法の適正化に関するガイドライン」に示された望ましい輸血の管理体制に基づいた適切な輸血療法を推進する（厚生省健康政策局通知健政発第502号、平成元年9月19日制定「輸血療法の適正化に関するガイドライン」）	6回
臓器移植倫理委員会	H14.4.1	医の倫理に基づき検討し、適正に実施する（平成9年法律第104号臓器移植に関する法律（平成9年10月16日施行））	6回
診療録管理委員会(保)	H12.4.20	豊田厚生病院の診療録(電子カルテ含む)および印刷物に関する事項について協議し、診療録の内容の向上と適切な管理を行う	12回
研修管理委員会(法)	H11.5.1	豊田厚生病院および関連病院、関連施設における医師臨床研修を統括管理する	3回
臨床研修委員会(法)	H27.4.1	研修医がプライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度、技能、知識）を身につけ、『患者に適切な医療を提供』できるようになる為に、臨床研修医プログラム、各部署、各職種間との連携及び研修医の処遇などを充実させる	12回
歯科医師研修管理委員会(法)	H24.4.1	歯科研修医が『歯科医師として患者を全人的な視点に配慮した上で、基本的・総合的な臨床能力を修得し、患者や家族の信頼に応じられる姿勢を身に付ける』ことを主旨として、歯科医師臨床研修医プログラム、各部署、各職種間との連携及び研修医の処遇などを充実させる	3回
栄養サポート委員会	H15.5.1	入院患者の栄養の評価と栄養改善に関する提言を行い、栄養教育を支援する	11回
褥瘡予防対策委員会	H15.5.1	入院患者の褥瘡の発生の予防をし、既造の褥瘡の治療を集約的に行う	7回
摂食・嚥下推進委員会	H16.4.1	豊田厚生病院における摂食・嚥下障害を有する患者の機能評価および機能回復の推進に関する事項について協議する	12回
クリニカルパス委員会	H11.8.6	医療資源の効率的な活用と医療の質の向上を図り、クリニカルパスの作成とその運用についての協議を行い、病院の発展に寄与する	6回
化学療法委員会	H15.10.17	豊田厚生病院の化学療法の安全かつ適正な運用を図り、診療内容の向上に寄与する	12回

診療関連



名 称		設置 年月日	目的	開催回数
診療関連	緩和ケア委員会	H16.4.1	患者のQOLに配慮して様々な苦痛や症状の緩和を図ることを検討し、緩和医療の適応基準や緩和プログラムの具体的な支援について協議する	12回
	がん診療連携推進委員会	H19.4.1	患者や家族の相談にあたる他、がんに関する専門的、学術的または総合的な研究を推進するとともに、がんの予防、診断、治療等に係る技術の向上、その他、がん医療を提供する体制の整備を図る	6回
	電子カルテ運用委員会	H20.2.1	豊田厚生病院における医療情報システムを円滑に運用する	6回
	認知症サポート委員会	H28.10.1	認知症の容態に応じた適時・適切な医療を提供するため、職員へ認知症患者のサポートに関する提言を行い、認知症対応能力の向上を目的とする	6回
教育・広報	教育委員会	H15.4.1	職員の知識および患者サービス向上を目的とする	6回
	ボランティア委員会	H6.4.1	職員とボランティアの協議により、地域の人たちのための病院づくりの活動をする	6回
安全管理関連	防災対策委員会(法)	H1.4.1	地震・火災・その他の災害が発生した場合に人的、物的被害を最小限に防止するため防災管理対策を徹底することを目的とする。また、災害拠点病院として常に行動できるよう調整する。	7回
	医療ガス安全管理委員会(法)	H2.4.1	医療ガス(医療の用に供する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医用圧縮空気、窒素等をいう)設備の安全管理を図り、患者の安全を確保する	1回
	廃棄物管理委員会(法)	H10.8.1	病院としての特殊性に鑑み、廃棄物処理法及び廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアルに従って、主として感染性廃棄物を中心に、加えて一般廃棄物および産業廃棄物について、厚生連廃棄物処理規程に基づき必要な事項を定め、適正な処理を確保し、もって生活環境の保全及び公衆衛生の向上、推進を図る	1回
	感染対策委員会(保)	H3.4.1	豊田厚生病院における院内感染防止に関する事項について協議し、感染対策を立案、実施する	12回
	医療安全対策委員会(保)	H12.4.1	医療事故・再発防止・対策などを検討及び具体化して、患者に安全で質の高い医療を提供する	12回
	医療事故防止対策委員会	H14.4.1	重大な医療事故への具体的対応を行い、併せて再発防止策を検討し、患者に安心と安全な診療を提供する	1回
	虐待対応委員会	H12.11.1	この委員会は、子ども虐待、高齢者虐待、障害者虐待、配偶者暴力(DV)の予防及び早期発見と被虐待児、被虐待者の救済を目的とする	6回
	透析機器安全管理委員会(保)	H22.4.1	血液浄化療法を安全に運用するため、関連機器の管理ならびに使用する透析液水質管理をする	2回
	コンプライアンス委員会	H25.4.1	この委員会は、コンプライアンスに関する意識の向上とコンプライアンス態勢の確立を図ることを目的とする	4回
	業務改善	患者サービス向上委員会	H13.2.6	医療はサービス業であるとの認識を持って患者により良いサービスを提供する
業務分担推進委員会		H24.4.1	病院勤務医、看護職員・負担の軽減及び処遇の改善を検討することを目的とする	3回



	名 称	設置 年月日	目的	開催回数
経営関連	薬 事 委 員 会	S55.4.22	医薬品その他薬品の管理、適正使用、医療内容の向上および病院経営の発展に寄与する	6回
	医 療 材 料 委 員 会	H16.4.1	医療材料・検査試薬の管理及び適正合理化を図り、医療内容の向上、病院経営の発展に寄与する	6回
	購 買 委 員 会	H8.12.12	事業年度における固定資産枠内取得品目の選定を適正かつ円滑に行う	1回
	保 険 診 療 委 員 会	H12.4.1	診療報酬の効率的な算定、返戻・査定減に関する事項、DPCの運用、適切なコーディングに関する事項および病床管理について協議を行い、病院診療の運営に寄与する	6回
各部門運営関連	放 射 線 安 全 委 員 会 (法)	S60.10.1	法律に基づき、放射線発生装置の取扱いによる放射線障害の発生を防止すると共に、公共の安全を確保する	1回
	中 央 放 射 線 部 運 営 委 員 会	H13.6.1	中央放射線部の適正な活用と質の向上を目的とし、その運営について協議し、病院の発展に寄与する	6回
	臨 床 検 査 運 営 委 員 会 (保)	H12.4.1	臨床検査の適正な活用と臨床検査の質の向上を目的とする	6回
	救 命 救 急 セ ン タ ー 外 来 委 員 会	H15.4.8	救命救急センター外来に係る諸問題を検討し、円滑な救急医療ができる体制を整える	12回
	救 命 救 急 セ ン タ ー 病 棟 委 員 会	H15.4.1	豊田厚生病院におけるICU・HCUの利用状況を把握し、問題点などを検討及び協議する	6回
	中 央 手 術 室 運 営 委 員 会	H14.4.1	手術室の運営に関わる諸問題を検討し、円滑な手術室の運営ができる体制を整える	6回
	外 来 運 営 委 員 会	H20.9.26	外来の運営に関わる諸事項を検討し、円滑な外来診療ができる体制を整える	6回
	入 退 院 支 援 セ ン タ ー 運 営 委 員 会	H24.8.1	入退院支援センターの円滑な運営に資する	11回
	供 給 委 員 会	H27.10.1	豊田厚生病院における薬品、医療材料及び物品の適正な供給と管理を目的とする	6回
職員関連	安 全 衛 生 委 員 会 (法)	H1.4.1	豊田厚生病院における職員の安全と健康を確保し、業務の向上と円滑な遂行を図る	12回
	保 育 委 員 会 (法)	H5.4.1	愛知県健康性農業協同組合連合会 保育所管理要領第4条第3項の規程に基づき、院内保育所、病児保育室、小児病棟、その他附帯する業務の円滑な運営を行う	6回
	総 務 委 員 会 (法)	H10.4.1	愛知県厚生農業協同組合連合会の規程改訂及び病院業務運営の改善向上に関する意見を集約し病院長に具申する	1回
	厚 生 委 員 会	H10.8.1	職員の親睦ならびに資質の向上と、健全明朗な環境を作り上げ、豊田厚生病院の繁栄に寄与する	12回
	人 事 考 課 制 度 推 進 委 員 会	H12.4.1	事業所における人事考課制度の実施・推進を目的とし、人事考課制度の円滑な運用を図る	2回
	看 護 職 確 保 対 策 委 員 会	H25.4.1	看護職の確保に係ることについて検討することを目的とする	12回

(法)：法律に基づく設置

(保)：診療報酬に基づく設置

豊田厚生病院 令和2年度年報

2021年10月 発行

発行・編集 愛知県厚生農業協同組合連合会  
豊田厚生病院

〒470-0396

愛知県豊田市浄水町伊保原500-1

TEL (0565)43-5000

印刷部数 260部

印刷 ニチモウ印刷株式会社